

# 公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事

(1期)

(建築)

2018年 3月



株式会社 双星設計  
SOUSEI SEKKEI ARCHITECTS & ENGINEERS



建築改修工事仕様書

I 工事概要

1. 工事名 公立小松大学 粟津キャンパス 校舎整備工事 (建築)
2. 工事場所 石川県小松市四丁町1番地3
3. 工事種目

Table with 2 columns: 内装改修工事, 塗装改修工事, 建具工事. Includes rows for 内装改修工事, 塗装改修工事, 建具工事, and 別途工事.

4. 工事期間 平成 30年 11月 22日 ~ 平成 31年 3月 29日
5. 別契約関連工事
・ 屋外付帯工事 ・ 植栽工事
・ 電気設備工事 ・ 給排水衛生設備工事
・ 暖房設備工事 ・ 冷房設備工事
・ 換気設備工事 ・ 空調設備工事
・ エレベーター設備工事 ⊙ 電話設備工事
・ 浄化槽設備工事 ・ 合併処理設備工事

II 建築工事仕様

- 1 共通仕様
1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版」(以下「改修仕様」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下「解体共仕」という。 )及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版」(以下「標仕」という。)による。
2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は( / )図、機械設備工事の工事仕様書は( / )図による。
3) 防音工事の仕様については、防音省地方協力局「防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書」による。
2 特記仕様
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の( . . . )内表示番号は、「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) (別図 . . . )は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。
5) 特記事項に記載の[ . . . ]内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版」(以下「改修標仕」という。 )の当該項目、当該図又は当該表を示す。
6) [G印]は、「図等による環境物品等の調達に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するよう努める。
7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、( )内は製品名を示す。
8) 斜線で消去した章は適用しない。

Table with 2 columns: 章 項目, 特記事項

① 適用基準等
設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。※下記の図書は工事契約時点の改定版に替り読み適用する。
○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成22年版)
○建築構造設計基準の資料(国土交通省大臣官房官庁営繕部 平成27年通知)のうち第3章
○営繕工事写真撮影要領(平成24年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)
○営繕工事電子納品要領(国土交通大臣官房官庁営繕部 平成24年度版)
・木造建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成22年版)
・屋根瓦工事共通仕様書(石川県土木部営繕課監修 平成21年版)
○鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修)
・壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修)
・鉄骨構造標準図(石川県土木部営繕課監修)
○石川県バリアフリー社会の推進に関する条例(施設整備の手引き)

② 工事実績情報の登録
※工電録する(但し工事請負代金額1,000万円以上の。)

③ 発生材の処理
1) 産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。
また、処分の際には産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。
2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。
イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所 ・引渡を要するもの ・引渡し場所
ロ) 特別管理産業廃棄物の有無 ・有 ○無
ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照
3) 発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは下記による。
・現場で再利用を図るもの
・再資源化を図るもの
4) せつこうボードの処理(有害物質非含有のものに限る)
・最終処分 ・再資源化

5) PCB含有シーリング材 [1.3.8]
分析調査 ・する ※しない

6) 建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無。
○有(OREAS データディスクを含む) ・無

④ 電気保安技術者 [1.3.3]
⑤ 施工条件 [1.3.5]
※適用する
○別途工事計画図、工程表による。

⑥ 施工調査 [1.5.2]
施工数量調査
調査範囲
調査方法
調査破壊部分の補修方法 [1.5.3]

⑦ 建築材料等
1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。
①「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新年版)」( (社)公共建築協会)によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。
② J I S又はJ A Sマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ) からへ)の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用する場合は、監督員の承諾を受ける者とする。
イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
ハ) 安定的な供給が可能であること。
ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。
ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
2) 請負契約約款第6条の2第4項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、 工事後後は地元産品について「使用材料報告書」を提出すること。
3) 請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。
※杭 ・型枠類 ・防水材料 ・石材 ・木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。
4) 請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調査等を使用すべき工事材料は次のものとする。
※高強度コンクリート試し練り
5) 請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。
・金属製品 ・合成樹脂製品 ・木製建具 ・塗装
・家具及び家具の金物 ・畳 ・内外装材料 ・屋根材料
なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。
6) 本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないこと。(「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行令について」(厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月)参照)化学物質等安全データシート(MSDS)等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。
「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑧ 特別な材料の工法
⑨ 技能士等 [1.6.2]
※技能士
通用工事種別 技能検定作業

Table with 2 columns: 仮設工事, 鉄筋工事, 鉄骨工事, ブロックALCパネル工事, 防水工事, 石工事, タイル工事, 木工事, 屋根及びびとい工事, 金属工事, 左官工事, 建具工事, カーテンウォール工事, 塗装工事, 内装工事, 排水工事, 植栽工事. Lists various construction tasks and their corresponding skill categories.

⑩ 完成図等
※作成する [1.8.1~1.8.3]表[1.8.1]
イ) 工事完成図は、製本1部、A3版製本3部提出する。
ロ) O-R又はDVRに、CADで設計したものはOJデータ、手描きの場合はラスターデータとして記録し、1部提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
※ラスターデータ:画像データでT I F F形式、原図大で300dpi密度以上とする。
・作成しない
屋外付帯工事実測図 ※提出しない ・提出する(1部)
保金に関する資料 ※提出しない ・提出する(1部)
保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物の建築物の保全の手引き」(改訂版(財)建築保全センター)に建物の構造、機器、保安業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
なお別契約の設備工事等がある場合は、連携の上作成する。

⑪ 工事写真等の記録
1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(平成24年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。各区分の写真は、A4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。
区分 分類 規格 撮影枚数 部数
着工前 ※カラー ・ ※サービス版 ※10景以上 ※1部
工事中 ※カラー ・ ※サービス版 「営繕工事写真撮影要領」による ※1部
完成時 ※カラー ・ ※キャビス版 ・サービス版 ※20景以上 ※1部

2) 完成写真の撮影 ・専門業者の撮影(撮影者を明記) ・専門業者以外の撮影
3) 原版の使用権を次の者に移譲すること。 ※発注者 ・設計者
移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。
4) 中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下請負人の連帯責任とし、保証書を提出する。工事の進捗度表、作業員の出勤報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。
1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所等は、下記による。

Table with 2 columns: 位置ノサイズ, 100mm, 125mm, 150mm, 175mm, 200mm. Includes rows for 梁, 壁, 床.

鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。
軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ) 天井部分 箇所 ロ) 壁部分 箇所

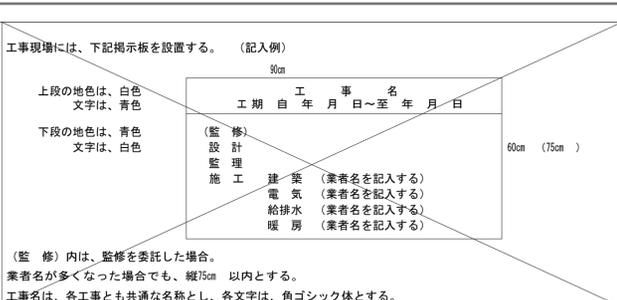
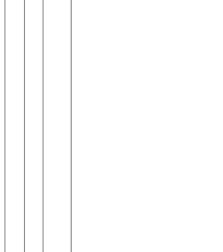
Table with 4 columns: 他工事との取合い, 建築工事, 電気工事, 機械工事, 備考. Lists various equipment and materials like 機器の基礎, 梁, 床, 壁貫通部の補強, etc.

⑮ 設計GL ※図示 ・設計GL=現状GL

⑯ 建築基準法に基づき指定する条件
・地区の区分に応じた風速(V(m/sec)) 3.0(県内全域) [1.2.2]
・地表面積区分 I ・ II ○ III ・ IV
・多雪地域の指定 垂直積雪量 1.0m(29N/m2/cm)

改訂 平成14年4月1日 平成27年4月1日
履歴 平成15年7月1日 平成28年4月1日
平成15年10月1日
平成16年4月1日
平成17年4月1日
平成17年6月1日
平成18年4月12日
平成18年7月3日
平成19年10月1日
平成20年4月1日
平成21年4月1日
平成21年8月1日
平成22年4月6日
平成23年4月1日
平成24年4月1日
平成25年4月1日
平成26年4月1日

Table with 4 columns: 特記事項, 確認日, 確認者, 代表, 設計監理部長, 検証者, 主担当, 作成, 縮尺, 年月日, 図面名称, 図面番号. Includes details for 雙星設計 and project information.

	<p>① 工事現場の掲示板</p> <p>工事現場には、下記掲示板を設置する。（記入例）</p>  <p>② 公共事業労務調査等に対する協力</p> <p>・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。</li> <li>調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になつた場合には、その実施に協力しなければならない。</li> <li>正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。</li> <li>対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。</li> </ol> <p>・本工事が「建設副産物実態調査」の対象である場合、工事了後速やかに調査票を作成し、監督員に提出しなければならない。</p>	<p>③ 室内空気汚染対策</p> <p>室内空気の汚染対策の実施 ※実施する ・実施しない [1.6.9]</p> <p>1) 測定の有無等 測定する場合は、下記の通り揮発性有機化合物について室内濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。</p> <p>イ) 測定の有無 ※有 ・無 ロ) 測定対象室</p> <p>測定は原則として、内装仕上げ材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。 内装改修等を行った居室について測定を行う。</p> <table border="1" data-bbox="421 1050 1038 1134"> <tr> <td>ハ) 1室当たりの測定箇所数</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>室の床面積 A (m<sup>2</sup>)</td> <td>A ≤ 50</td> <td>50 &lt; A ≤ 200</td> <td>200 &lt; A ≤ 500</td> <td>500 &lt; A</td> </tr> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="5">全ての測定箇所において、ニ)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。</td> </tr> </table> <p>ニ) 測定対象化学物質及び測定方法 測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パンプ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課長通知（平成15年4月1日 国営建第1号）「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。</p> <p>ホ) 測定時期 測定は下記の時期に行うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。</li> <li>別途工事又は家具の設置等が行われる前。</li> <li>内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。</li> <li>中央式空調設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。</li> </ol> <p>ヘ) 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置 測定結果が厚生省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。</p> <p>ト) その他、採取、測定及び分析の方法は、上記二)の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。</p> <p>2) 施工中・施工後の通風、換気 接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にを行い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図るものとする。</p> <p>3) 引き渡し時 室内空気中に化学物質を放散するおそれのある建築材料等の使用状況の一覧表を提出する。</p> <p>4) 揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ)からホ)の事項を満たすものとする。</p> <p>イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>ハ) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>ホ) 上記のイ)、ハ)、ニ)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。</p>	ハ) 1室当たりの測定箇所数					室の床面積 A (m <sup>2</sup> )	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1	2	3	4	全ての測定箇所において、ニ)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。					<p>24. 名札の着帯</p> <p>現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。（但し、請負額100万円以上の工事）</p>  <p>(注意事項) ①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりとする。 ②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。 ③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。</p> <p>②⑤ 施工体制台帳の作成等</p> <p>26. 排出ガス対策型建設機械 G <input type="checkbox"/></p> <p>②⑦ 創意工夫等</p> <p>②⑧ 保険の付与及び事故の補償</p> <p>②⑨ 電子納品</p> <p>○行う（「電子納品仕様書」による。） ・行わない</p> <p>電子納品仕様書</p> <table border="1" data-bbox="1038 1302 1261 1543"> <tr> <th>名 称</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>営繕工事電子納品要領</td> <td>平成24年 4月</td> </tr> <tr> <td>営繕工事写真撮影要領（平成24年版）</td> <td>平成24年 4月</td> </tr> <tr> <td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年度版）</td> <td>平成24年 4月</td> </tr> </table> <p>基準・要領類のダウンロード <a href="http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_siryu24.html">http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_siryu24.html</a></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R又はDVD-Rで1部納品する。なお、工事写真については、カラープリンターで出力したものでよい。</li> <li>工事着手時は、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。</li> <li>発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力をを行うものとする。</li> <li>工事完成図書は以下の項目を確認するものとする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>電子成果物作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認すること。 入手先 <a href="http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_sysv3.html">http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_sysv3.html</a></li> <li>最新のウイルスチェックソフトで、提出物にウイルスが混合していないことを確認すること。</li> </ol> </li> <li>電子納品の媒体は、CD-R又はDVD-Rを利用することとする。</li> </ol>	名 称	摘 要	営繕工事電子納品要領	平成24年 4月	営繕工事写真撮影要領（平成24年版）	平成24年 4月	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年度版）	平成24年 4月	<p>②⑩ 騒音振動の防止</p> <p>31. 隣接建物又は工作物の調査</p> <p>32. 敷地の状況確認</p> <p>③③ 総合評価時における技術提案</p> <p>③④ ダンプトラック等による過積載等の防止</p> <p>③⑤ 景観への配慮</p> <p>③⑥ 近接工事の諸経費調整</p> <p>2. 仮設</p> <p>① 工 事 用 水</p> <p>② 工 事 用 電 力</p> <p>③ 工 事 用 道 路</p> <p>4. 指 定 仮 設</p> <p>5. 足 場 そ の 他</p> <p>⑥ 既存部分の養生</p> <p>7. 仮 設 間 仕 切</p> <p>低騒音（G）、低振動型建設機械を使用する。 ※行う ・行わない</p> <p>着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。</p> <p>「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。</li> <li>さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。</li> <li>過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けること等、過積載を助長することのないようすること。</li> <li>取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。</li> <li>建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようすること。</li> <li>「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。</li> <li>1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。</li> </ol> <p>当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。</p> <p>この工事の受注者が、近接する区域（概ね100m）において、工期が重複する小松市発注の工事を受注している場合には、全工事との合計額により定まる率によって諸経費を再計算し、これにより変更契約（減額）する。 ※「工期が重複する」とは、開札日が近接する工事の完成届を受理した日以前の場合をいう。</p> <p>構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない</p> <p>構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない</p> <p>工事用道路（敷地内外）は良好なる維持管理を行い、使用後は請負員において速やかに原形に復旧すること。</p> <p>仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散等しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承認を得ること。</p> <p>イ) 材料 ・鋼板 ・垂鉛波形状鉄板 ロ) 高さ 1.0m 2.0m 3.0m ハ) 塗装 ・する ・しない ニ) 延長 ・ n ・図示</p> <p>1) 外部足場 [2.2.1] (1) 種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 [表2.2.1] (2) 枠組本足場の種類 ※枠組本足場（手すり先行足場）</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について、(厚生労働省平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置又は③手すり先行専用足場方式により行うこと。 ・枠組本足場</p> <table border="1" data-bbox="1261 1218 1914 1333"> <tr> <td rowspan="2">(3) 建枠・布枠</td> <td>建 枠</td> <td>布 枠</td> </tr> <tr> <td>・1,200 枠</td> <td>500 布枠×2枚</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 防護シート等による養生 ※設置する</td> <td>・900 枠</td> <td>※500 +240 布枠 ・500 布枠×1枚</td> </tr> <tr> <td>・600 枠</td> <td>500 布枠×1枚</td> </tr> </table> <p>・設置しない</p> <p>2) 内部足場 [2.2.1] 種別 ・ ※きやたつ、足場板等</p> <p>3) 材料、撤去材の運搬方法 [2.2.1] [表2.2.2] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種</p> <p>⑥ 既存部分の養生 [3.1.1] 既存部分の養生方法 ・ ※ビニールシート等 既存家具等の養生 ※ビニールシート等 既存ブラインド・カーテン等の養生方法、保管場所 ・ 図示 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 行う（図示）</p> <p>1) 仮設間仕切り種別 [2.3.2] [表2.3.1]</p> <table border="1" data-bbox="1261 1575 1914 1680"> <tr> <th>種 別</th> <th>下 地</th> <th>仕上げ材（厚さmm）</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※軽量鉄骨</td> <td>※せつこうボード（※3.5）</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・木造</td> <td>・合板（※9）</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防炎シート</td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※木製扉</td> <td>合板張り程度</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1261 1690 1914 1795"> <tr> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>厚さ（ ）</td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>・行う</td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td>厚さ（ ）</td> <td>・片面</td> </tr> </table>	(3) 建枠・布枠	建 枠	布 枠	・1,200 枠	500 布枠×2枚	(4) 防護シート等による養生 ※設置する	・900 枠	※500 +240 布枠 ・500 布枠×1枚	・600 枠	500 布枠×1枚	種 別	下 地	仕上げ材（厚さmm）	・A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード（※3.5）	・B種	・木造	・合板（※9）	※C種	単管	防炎シート	仮設扉	※木製扉	合板張り程度	充填材(mm)	塗装	厚さ（ ）	※無し		・片面	・行う	※無し	厚さ（ ）	・片面	<p>②⑩ 騒音振動の防止</p> <p>31. 隣接建物又は工作物の調査</p> <p>32. 敷地の状況確認</p> <p>③③ 総合評価時における技術提案</p> <p>③④ ダンプトラック等による過積載等の防止</p> <p>③⑤ 景観への配慮</p> <p>③⑥ 近接工事の諸経費調整</p> <p>2. 仮設</p> <p>① 工 事 用 水</p> <p>② 工 事 用 電 力</p> <p>③ 工 事 用 道 路</p> <p>4. 指 定 仮 設</p> <p>5. 足 場 そ の 他</p> <p>⑥ 既存部分の養生</p> <p>7. 仮 設 間 仕 切</p> <p>低騒音（G）、低振動型建設機械を使用する。 ※行う ・行わない</p> <p>着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。</p> <p>「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。</li> <li>さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。</li> <li>過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けること等、過積載を助長することのないようすること。</li> <li>取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。</li> <li>建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようすること。</li> <li>「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。</li> <li>1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。</li> </ol> <p>当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。</p> <p>この工事の受注者が、近接する区域（概ね100m）において、工期が重複する小松市発注の工事を受注している場合には、全工事との合計額により定まる率によって諸経費を再計算し、これにより変更契約（減額）する。 ※「工期が重複する」とは、開札日が近接する工事の完成届を受理した日以前の場合をいう。</p> <p>構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない</p> <p>構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない</p> <p>工事用道路（敷地内外）は良好なる維持管理を行い、使用後は請負員において速やかに原形に復旧すること。</p> <p>仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散等しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承認を得ること。</p> <p>イ) 材料 ・鋼板 ・垂鉛波形状鉄板 ロ) 高さ 1.0m 2.0m 3.0m ハ) 塗装 ・する ・しない ニ) 延長 ・ n ・図示</p> <p>1) 外部足場 [2.2.1] (1) 種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 [表2.2.1] (2) 枠組本足場の種類 ※枠組本足場（手すり先行足場）</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について、(厚生労働省平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置又は③手すり先行専用足場方式により行うこと。 ・枠組本足場</p> <table border="1" data-bbox="1914 1218 2887 1333"> <tr> <td rowspan="2">(3) 建枠・布枠</td> <td>建 枠</td> <td>布 枠</td> </tr> <tr> <td>・1,200 枠</td> <td>500 布枠×2枚</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 防護シート等による養生 ※設置する</td> <td>・900 枠</td> <td>※500 +240 布枠 ・500 布枠×1枚</td> </tr> <tr> <td>・600 枠</td> <td>500 布枠×1枚</td> </tr> </table> <p>・設置しない</p> <p>2) 内部足場 [2.2.1] 種別 ・ ※きやたつ、足場板等</p> <p>3) 材料、撤去材の運搬方法 [2.2.1] [表2.2.2] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種</p> <p>⑥ 既存部分の養生 [3.1.1] 既存部分の養生方法 ・ ※ビニールシート等 既存家具等の養生 ※ビニールシート等 既存ブラインド・カーテン等の養生方法、保管場所 ・ 図示 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 行う（図示）</p> <p>1) 仮設間仕切り種別 [2.3.2] [表2.3.1]</p> <table border="1" data-bbox="1914 1575 2887 1680"> <tr> <th>種 別</th> <th>下 地</th> <th>仕上げ材（厚さmm）</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※軽量鉄骨</td> <td>※せつこうボード（※3.5）</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・木造</td> <td>・合板（※9）</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防炎シート</td> </tr> <tr> <td>仮設扉</td> <td>※木製扉</td> <td>合板張り程度</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1914 1690 2887 1795"> <tr> <th>充填材(mm)</th> <th>塗装</th> </tr> <tr> <td>厚さ（ ）</td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・片面</td> </tr> <tr> <td>・行う</td> <td>※無し</td> </tr> <tr> <td>厚さ（ ）</td> <td>・片面</td> </tr> </table>	(3) 建枠・布枠	建 枠	布 枠	・1,200 枠	500 布枠×2枚	(4) 防護シート等による養生 ※設置する	・900 枠	※500 +240 布枠 ・500 布枠×1枚	・600 枠	500 布枠×1枚	種 別	下 地	仕上げ材（厚さmm）	・A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード（※3.5）	・B種	・木造	・合板（※9）	※C種	単管	防炎シート	仮設扉	※木製扉	合板張り程度	充填材(mm)	塗装	厚さ（ ）	※無し		・片面	・行う	※無し	厚さ（ ）	・片面
ハ) 1室当たりの測定箇所数																																																																																																							
室の床面積 A (m <sup>2</sup> )	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A																																																																																																			
測定箇所数	1	2	3	4																																																																																																			
全ての測定箇所において、ニ)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。																																																																																																							
名 称	摘 要																																																																																																						
営繕工事電子納品要領	平成24年 4月																																																																																																						
営繕工事写真撮影要領（平成24年版）	平成24年 4月																																																																																																						
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（平成24年度版）	平成24年 4月																																																																																																						
(3) 建枠・布枠	建 枠	布 枠																																																																																																					
	・1,200 枠	500 布枠×2枚																																																																																																					
(4) 防護シート等による養生 ※設置する	・900 枠	※500 +240 布枠 ・500 布枠×1枚																																																																																																					
	・600 枠	500 布枠×1枚																																																																																																					
種 別	下 地	仕上げ材（厚さmm）																																																																																																					
・A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード（※3.5）																																																																																																					
・B種	・木造	・合板（※9）																																																																																																					
※C種	単管	防炎シート																																																																																																					
仮設扉	※木製扉	合板張り程度																																																																																																					
充填材(mm)	塗装																																																																																																						
厚さ（ ）	※無し																																																																																																						
	・片面																																																																																																						
・行う	※無し																																																																																																						
厚さ（ ）	・片面																																																																																																						
(3) 建枠・布枠	建 枠	布 枠																																																																																																					
	・1,200 枠	500 布枠×2枚																																																																																																					
(4) 防護シート等による養生 ※設置する	・900 枠	※500 +240 布枠 ・500 布枠×1枚																																																																																																					
	・600 枠	500 布枠×1枚																																																																																																					
種 別	下 地	仕上げ材（厚さmm）																																																																																																					
・A種	※軽量鉄骨	※せつこうボード（※3.5）																																																																																																					
・B種	・木造	・合板（※9）																																																																																																					
※C種	単管	防炎シート																																																																																																					
仮設扉	※木製扉	合板張り程度																																																																																																					
充填材(mm)	塗装																																																																																																						
厚さ（ ）	※無し																																																																																																						
	・片面																																																																																																						
・行う	※無し																																																																																																						
厚さ（ ）	・片面																																																																																																						
特記事項			確認日	<p>一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士（登録番号30319号） 構造設計一級建築士（登録番号2423号） 酒井 勲</p> <p>確認者</p> <p>設備設計一級建築士 塚原 直（登録番号2462号）</p>	<p>一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 中村 武嗣（登録番号174376号）</p> <p>代表 設計監理部長 検証者 主担当 作成</p>	<p>工事名称（プロジェクトNo. 160613） 公立小松大学 粟津キャンパス校舎整備工事（1期）（建築）</p> <p>縮尺 年月日 2018 . 03 .</p>	<p>図面名称 建築改修工事仕様書(2)</p> <p>図面番号 A-02</p>																																																																																																





⑬ ガラス

ガラスの厚さ・構成等については建表により、その他ガラス性能等は下記による。 [5.13.2]

・合わせガラス  
特性による種類 ※Ⅰ～Ⅲ類 (JIS R 3205)

・強化ガラス  
材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類 (JIS R 3206)

※フロート強化ガラス  
Ⅲ類 (曲面はⅠ類)

・熱線吸収板ガラス  
板ガラスによる種類 日射熱取得率 色調  
※熱線吸収フロート板ガラス 2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン

・複層ガラス  
種 類 断熱性、日射遮へい性による区分  
・断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2  
・日射熱遮へい複層ガラス ・E4 ・E5

・熱線反射板ガラス  
品 種 反射膜面 材料板ガラスの種類 色調 映像調整  
※熱線反射ガラス ※内面 ・外面 ・フロート板ガラス ・ブルー ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・シルバー ・行わない ・行う  
・高性能熱線反射ガラス 内面 熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス

・倍強度ガラス  
材料板ガラスによる種類の名称 色調  
※フロート倍強度ガラス  
・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ

⑭ ガラス留め材

建具の種類 種類 [5.13.2] [表3.7.1]

アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット (F I X部はシーリング材)  
鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材  
ステンレス製 ※シーリング材

⑮ ガラス溝

板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.13.3]  
※「改修標仕」表5.12.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

19. ガラスブロック積み

ガラスブロック [5.13.5]

寸法 (mm)	表面形状		性能等		
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア		※無し	※無し

壁用金属枠及び補強材 [5.13.5]

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	※改修共仕5.2.3のアルミニウム製建具の材料による

化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 [5.13.5]

シーリング材料  
下表以外は改修標仕表3.7.1による [5.13.5] [3.7.2] [表3.7.1]

被着体の組合せ	シーリング材の種類		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は、認定を受けた条件による。

20. ガラス用フィルム

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
品質 JIS A5759 による			

6. 内 装 改 修 工 事

① 床改修一般事項 [6.2.2]

1) 工 法 [6.2.2]

(1) ビニル床シート等の除去  
※仕上げ材のみ (接着剤とも)  
・下地モルタルとも (※図示の範囲 ・除去範囲全て)  
合成樹脂塗床材の除去工法  
・機械的除去工法  
・目荒工法

(2) 改修後の床清掃範囲 ※改修箇所の室内

② 壁改修一般事項 [6.1.3] [6.3.2]

1) 工 法 [6.1.3] [6.3.2]

(1) 既存壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲  
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う  
・図示の範囲

(2) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲  
※壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う  
・図示の範囲

(3) 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
※図示  
・モルタル塗り  
仕上げ厚又は全塗厚が25mm を超える場合の処置  
・適用する (範囲は図示)  
※ ステンレス製アンカーピンを縦横200mm 程度の間隔に打ち込み、ステンレス等を張る。  
・図示

2) 新設壁下地 ・木製壁下地 ○軽量鉄骨壁下地 [6.1.4]

③ 天井改修一般事項 [6.1.3] [6.4.1]

1) 工 法 [6.1.3] [6.4.1]

(1) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修  
※既存のまま  
・図示の範囲

2) 新設天井下地 ・木製天井下地 ○軽量鉄骨天井下地 [6.1.4]

④ 下床張り [G]

材料 [6.8.2]

種 類	JIS の記号	色 柄	厚さ・高さ (mm)
※発泡層のないもの	※FS	※無地 ・マーブル柄	※2.0 2.5
・発泡層のあるもの	・HS	※柄物 ・無地	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・ビニル幅木			※60

工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所: ) [6.8.3]

5. 下床張り [G]

材料 [6.8.2]

ビニル床タイル

種 類	JIS の記号	厚さ・高さ (mm)
※コンポジションビニル床タイル (半硬質)	K T	※2
・複層ビニル床タイル	F T	・
・		
・ビニル幅木		※60

視覚障がい者用床タイル  
※塩化ビニル系 ※300×300 ブロックパターンは JIS T 9251 による  
・磁器又はせり器タイル

帯電防止床タイル

種 類	厚さ	性 能
・コンポジションビニル床タイル	※2.0	体積抵抗値 (JIS K 6911 による)
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下、または、漏えい抵抗値 (JIS A 1454 による) 1.0×10 <sup>10</sup> Ω未満

木工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。 [6.5.2]

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 [6.11.5]  
※規制対象外 ・第三種 [6.14.2]

ホルムアルデヒドの放散量 [6.5.2]  
※規制対象外 ・第三種

下張り用床板及び畳下床板の材料 [6.5.2] [表6.5.10]

使用区分	材 料	厚さ (mm)
下張り用床板の材料	※合 板 [G]	※12
畳下床板	・パーティクルボード [G] ・繊維板 (MDF) [G]	・

[6.10.3] [表6.10.3 ~ 表6.10.8]

種 別	仕上げの種類
厚膜型	・弾性ウレタン塗り床材 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗り床材 ※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ (※平滑 ・防汚) ・樹脂モルタル仕上げ (※平滑 ・防汚)
薄膜型	・エポキシ樹脂塗り床材 ※平滑仕上げ

9. フローリング張り [G]

材料、工法 [6.11.2] ~ [6.11.7] [表6.11.1] ~ [表6.11.6]

品 名	樹 種	工 法	厚さ (mm)	大きさ寸法 (mm)	種 別
・フローリング	※なら	釘留め工法	15		
・フローリング	・ひのき	糊埋込み工法	・ ※15	巾75 長さ500 以上	
・フローリング	・ふな	・釘留め工法 (根太張) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	・ A種 ・ B種 ※C種		

材 料 [6.9.2] [6.9.3]

防火性能は、消防法で定める防火性能を有し、登録されたものとする。  
・織じゅうたん [表6.9.1] [表6.9.2]

織り方	種別	パイル形状	色 柄	帯電性
・タタミ	・A種	・カットパイル	※単一色 (無地)	人体帯電圧 ※3kV以下
・タタミ	・B種	・ループパイル	・柄物 (標準色)	・
・タタミ	・C種	・カット、ループ併用	・	・

・タフテッドカーペット [表6.9.2]

パイル形状	パイル長 (mm)	工 法	帯電性
・カットパイル	※5~7	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループパイル	※4~6	・グリッパー工法	※3kV以下
・レベルループパイル	※4		・
・カット、ループ併用	・		・

○タイルカーペット [表6.9.2]

種別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	帯電性
※第一種	※ループパイル	※500×500	※6.5	人体帯電圧
・第二種	・カットパイル	・	・	※3kV以下
	・タタミ	・	・	・

12. 木 下 地 等 [G]

1) 県産材の使用 [6.5.2]  
能登ヒバ、杉は、県産材とし、代用樹種は認めない  
2) 木材の品質 ※「改修標仕」6.5.2による ・市販品 [6.5.2] [表6.5.2] [表6.5.3]  
保存処理木材の適用箇所は「改修標仕」6.5.3(a)(2) による

樹種	土台、水掛り枠	見え掛り部分	見え隠れ部分	備 考
下地材 (柱等を含む)	・檜・能登ヒバ・草楨	・松 ・檜 ・杉	・松 ・杉	
造作材	・檜・能登ヒバ・草楨	・松 ・檜 ・杉		・ラワン材 防虫処理
板 材	・	・	・	

代用樹種 (県産材を除く) ※「改修標仕」表6.5.4による [6.5.2] [表6.5.4]  
・代用樹種を適用しない箇所 ( )

3) 集成材 [6.5.2] [表6.5.1]  
造作用集成材

品 名	見付け材面の品質	樹 種 名
	※1等 ・2等	※たも ・なら ・しおじ

化粧ばり造作用集成材

品 名	見付け材面の品質	化粧薄板樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)
	※1等 ・2等		

造作用単板積層材

品 名	表面の品質	防虫処理
	・天然化粧化粧 ・塗装加工あり ・化粧加工なし ( 等)	・する ・しない

4) 防菌・防蟻処理 [6.5.5]  
防菌処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲 )  
防蟻処理 ・薬剤加圧注入 ・薬剤塗布 (適用範囲 )  
防菌・防蟻剤は、クロロピリホス等含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。  
防菌・防蟻処理の方法  
現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

5) 防虫処理 [6.5.2]  
ラワン材を使用する場合は、「製材の日本農林規格」の「広葉樹製材の規格」の保存処理材の規格品とする

6) 県産材使用証明 [G] [6.5.2]  
木材及び合板等は、品質や出荷量等を記録した出荷証明書を提出する。  
また、設計図書において、県産材の使用が明記されている場合は、工事受注者 (資材の発注者) は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」 (合法木材団体認定番号及び産地名が (石川県産) と明記されたもの) を監督員に提出するものとする。

⑬ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.3]

1) 形式及び寸法 ダブル野縁 ・ mm  
ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を1.2.2 [施工計画書] による品質計画で定める。 [6.6.4]

2) 工 法 [6.6.4]  
引抜き試験 ・適用する ・適用しない  
屋外の場合の試験  
荷重 ・400N  
箇所数 ・当該階において3箇所程度 ・図示 [6.6.4]  
天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う 補強箇所 ※ 図示 ・  
補強方法 ※ 図示

⑭ 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]

1) 形式及び寸法 [6.7.3] [表6.7.1]  
スタッド、ランナーの種類 50形 65形 90形 100形  
※スタッドの高さによる区分に応じた種類

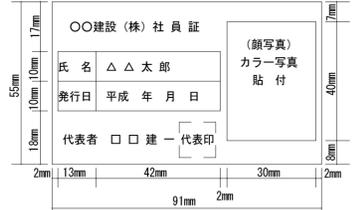
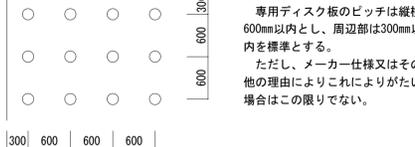
種 類	JIS の記号	厚さ (mm) ・規格等
・硬質木毛セメント板 [G]	HW	・15 ・20 ・25 再生の木質材又は植物繊維の質量比割合が50% 以上である
・普通木毛セメント板 [G]	NW	・15 ・20 ・25 以下の接着剤、混和剤等の質量は除くことができる。
・強化電子繊維強化ボード [G]	MDF	・
・パーティクルボード [G]		・
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2 (無石綿)
○ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ (※9 ・12 ・ ) ・凹凸タイプ (※12 ・15 ・19 ・ )
・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)		※フラットタイプ9 ( (個) 不燃) ・凹凸タイプ (※12 ・15) ( (個) 不燃)
○せっこうボード	GB-R	12.5 (不燃) (テーバーエッジボード施工箇所は図示)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)
○シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 ( (個) 不燃)
○強化せっこうボード	GB-F	※12.5 (不燃) 15.0 (不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材付き
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903 による 厚さ12
・難燃合板 [G]		
・メラミン樹脂不燃化粧板		3 (不燃)
○化粧けい酸カルシウム板		6 (不燃)

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 [6.13.2] [表3.7.1]  
※適用する ・適用しない

特記事項		確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号30019 号) 構造設計一級建築士 (登録番号2423 号) 酒井 勲	業 務 双 星 設 計 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 (プロジェクトNo. 160613 ) 公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)	図面名称 建築改修工事仕様書(5)
		確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号2462 号)	代表 設計監理部長 検証者 主担当 作成	縮尺 年月日 2018 . 03 .	図面番号 A-05

7・塗装 改修工事	⑬ 壁紙張り	施工 [6.14.3] 下地調整 [表7.2.4] [表7.2.7] 下地の種類 モルタル及びプラスター面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 せっこうボード面 ・RA種 ※RB種 ・RC種	7 塗装改修工事 11. 劣化樹脂は塗り (UC) 塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.12.2] [表7.12.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種 12. 木材保護塗料塗り (WP) 種類 ・A種 ※B種 ・C種 [7.14.2] [表7.14.1]	9 環境配慮改修工事 1. アスベスト含有吹き付け材の処理 1) 処理を行う吹き付けアスベストの仕様等 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 ※図示 2) 処理工法 ※除去工法 ・封じ込め工法 ・囲い込み工法 [9.1.1] 3) 吹き付けアスベストの施工調査 ※行う (「改修標仕」9.1.1(d)による) [9.1.1] 4) 分析によるアスベスト含有調査 ※行わない ・行う (調査箇所は図示) [9.1.1] 5) アスベスト粉じん濃度測定 ・行う (下表による) ・行わない [9.1.1] 測定室 ( ) 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・各2点 ・各3点 (注1) 測定2 施工区画周辺又は敷地境界 ・各2点 (大気) 測定3 処理作業室内 ・各2点 測定4 セキュリティゾーン入口 ・各1点 測定5 負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室の場合) 出口吹出し風速1m/sec 以下の位置 ・各1点 測定6 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 測定7 処理作業後 (隔離シート撤去前) 処理作業室内 ・各2点 測定8 施工区画周辺又は敷地境界 ・4方向各1点 (大気) (注1) 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。アスベスト粉じん濃度の測定方法は、「改修標仕」表9.1.1 (e)による。 6) 作業管理者 (a) 作業管理者は資格証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出し、承諾を受ける。(b) 作業管理者は作業員に対して事前にアスベストに関する教育を行い、十分理解させる。(c) 作業管理者は除去工事に使用する負圧・除じん装置の管理、呼吸用の保護具、作業衣、保護衣等の管理を行う。 7) 特別管理産業廃棄物管理責任者 排出業者は資格証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出し、承諾を受ける。 8) 安全衛生管理 (a) 除去作業者 アスベストの除去作業者は、石綿則に基づく特殊健康診断 (6ヶ月以内に1回定期に受診)及びじん肺健康診断に基づくじん肺健康診断 (3年以内に1回)を受診した者とし、診断の結果、肺機能に異常がない者とする。(b) 負圧除じん装置の設置 負圧除じん装置が適切な運転状態となるように、スモークテスター等による気流の確認やU字マンメーターに等による維持確認などを行う。(c) プラスチックシートの仕様 床 : 厚さ0.15m以上、2層張り 壁その他 : 厚さ0.08m以上 接合部の重ね長さ : 30cm以上 (d) セキュリティゾーン 高性能真空掃除機を設置し、保護衣、カバー、保護手袋等に付着しているアスベストを十分吸引して取り除くこと。セキュリティゾーン内は、作業場外にアスベストが飛散しないよう関係法令等に規定された掃除等を行う。 9) アスベストの除去 除去作業中に粉じんの発生が多い場合は、適宜エアレス構造の器具を用いて散水、または飛散防止剤等を噴霧し、粉じんの飛散を防止する。なお、アスベストを含んだ排水は他の場所へ満水しないよう十分に止水したうえで、HEPA フィルタ等でろかして適切に処理する。 10) 除去したアスベストの処分 [6.3.3] ※埋立処分 ・中間処理 11) アスベストの封じ込め工事 劣化の著しい部分、下地との接着が不良な部分については「改修標仕」9.1.2により除去し、粉じん飛散防止処理剤を用いて封じ込め処理を行う。封じ込めの工法は施工業者の仕様により、除去物及び汚染物質の処理等は「改修標仕」9.1.3(b)(c)(d)による。なお、施工にあたっては、「改修標仕」9.1.1(d) 施工調査、施工計画、(c) 安全衛生管理、9.1.3(d) 検査及び後片付けを適用する。 12) 官公署その他への手続き 「改修標仕」によるほか、次の必要な手続きを行う。(1) 建築物解体等作業届 (所管労働基準監督署) (2) 特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書 (都道府県知事又は市長)	2. アスベスト含有保温材・成形成板の処理等 [9.1.5] 1) 処理を行うアスベスト含有保温材・成形成板の仕様等 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 ※図示 2) 官公署その他への手続き (レベル3を除く) 「改修標仕」によるほか、次の必要な手続きを行う。(1) 建築物解体等作業届 (所管労働基準監督署) (2) 特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書 (都道府県知事又は市長) 3) 洗浄設備 (1) 洗眼、うがいの設備を設ける。(2) 更衣設備等を設ける。 4) 表示・掲示 「改修標仕」9.1.2 (f)による表示・掲示を行う。 5) 除去物及び汚染物の処分等 (a) 密封処理する場合 プラスチック袋 : 厚さ0.15m以上 (b) 固化した物の圧縮強度 : 10Kg/cm <sup>2</sup> 以上 (c) 処分 ※埋立処分 (安定型) ・中間処理 上記1. 2. のほか、アスベスト含有建材の処理工事については、「改修標仕」9章1節及び「解体共仕」6章に基づき、適切に行う。 [9.1.1] ~ [9.1.5]	⑩ リサイクル製品の使用 1) リサイクル製品を使用するものは「石川県リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。石川県リサイクル認定製品 ○使用する 使用箇所 製品 備考 「石川県リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。 http://www.pref.ishikawa.jp/ (石川県 環境部 廃棄物対策課) 2) その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。 3) 建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの) 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。 この建築工事ではリサイクル製品として ○○○○○○○○、○○○○○○○○ を使用しています。 R 建設副産物リサイクルシンボルマーク 石川県土木部営繕課 (注) 建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること
	17. モルタル塗り	既製目地材 ※適用しない ・適用する [6.15.3]				
	① 材 料	屋内の壁・天井仕上げ材は、防火材料とする。				
	② 下 地 調 整	既存塗膜の除去範囲 (「改修標仕」表7.2.1~表7.2.7のRB種の場合) [7.2.1] ※塗替え面積の30% 下地調整 下地の種類 種 別 施工箇所 木部 ・RA種 ※RB種 RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 RC種 亜鉛めっき鋼面 ・RA種 ※RB種 RC種 モルタル及びプラスター面 ・RA種 ※RB種 RC種 コンクリート面等 ・RA種 ※RB種 RC種 せっこうボード及びその他のボード面 ・RA種 ※RB種 RC種 既存モルタル下地等のひび割れ部の補修 ・行う (補修範囲及び補修方法は図示) ※行わない [7.3.3] [表7.3.3] [表7.3.4] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 鉄鋼面 ・A種 B種 ※C種 見え掛り ※A種 B種 見え隠れ ・A種 ※B種 亜鉛めっき面 ・A種 B種 ※C種 鋼製建具等 ※A種 B種 その他 ・A種 ※B種 [7.4.3] ~ [7.4.5] [表7.4.1] ~ [表7.4.3] 下地の種類 塗替えの種類 新規塗りの種類 木部 ・A種 ※B種 C種 ※A種 B種 下地調整は各表の注意書きによる 鉄鋼面 ・A種 ※B種 C種 ・A種 ※B種 亜鉛めっき面 鋼製建具 ※A種 B種 C種 ※A種 B種 その他 ・A種 ※B種 C種 [表7.8.1~3] 下地の種類 工程等 塗替えの種類 新規塗りの場合 ・鉄鋼面 下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 「塗装その他」の欄による 塗り種別 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・亜鉛めっき鋼面 下地調整 塗り種別 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・コンクリート面 下地調整 ※RB種 ・RC種 「塗装その他」の欄による 押出成形セメント板面 塗り種別 ・A-1種 ・A-2種 ※A種 ・B種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 [7.9.2~5] [表7.9.1~4] 下地の種類 工程等 塗替えの種類 新規塗りの場合 ・コンクリート面、モルタル面、その他のボード面 下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 「塗装その他」の欄による 塗り種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種 ・木部 下地調整 ※RB種 ・RC種 「塗装その他」の欄による 塗り種別 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・鉄鋼面 下地調整 ・RC種 (C種の場合) 「塗装その他」の欄による 塗り種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種 ・亜鉛めっき鋼面 下地調整 ・RC種 (C種の場合) 「塗装その他」の欄による 塗り種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種 [7.10.2] [表7.10.1] 塗替えの種類 ・A種 ※B種 ・C種 [7.11.2] [表7.11.1] 下地調整 塗替えの場合 新規塗りの種類 既存塗膜 下地調整 塗替えの種類 ・A種 ※B種 ・RB種 A種 下地調整は各表の注意書きによる 同一塗料塗り面 ・RC種 C種 ・RB種 ・A種 ※B種 その他の塗料塗り面 ・RC種 ・C種				
	④ 合成樹脂調合ペイント (SOP)					
	5. 別行か塗り (CL)	塗替えの種類 ・A種 ※B種 [7.5.2] [表7.5.1] 新規塗りの種類 ・A種 ※B種				
	6. 樹脂系非水分散形塗料 (NAD)					
	7. 耐候性塗料塗り (DP)					
	⑧ つや有合成樹脂エポキシ樹脂 (EP-G)					
	⑨ 合成樹脂エポキシ樹脂 (EP)					
10. 合成樹脂エポキシ樹脂模倣塗料塗り (EP-T)						

特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号30319号) 構造設計一級建築士 (登録番号2423号) 酒井 勲	代表 設計監理部長 検証者 主担当 作成 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 (プロジェクトNo. 160613) 公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)	図面名称 建築改修工事仕様書(6)
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号2462号)	縮尺 年月日 2018 . 03 .	図面番号 A-06	

<p>工事仕様書（別紙）</p> <p>1) 次の特記事項に該当する事項は、下記の事項に読み替えるものとする。ただし、該当する事項がない場合は、追加事項として扱うものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> <tr> <td>① 適用基準等</td> <td> <p>1) 環境法令等遵守し、環境負荷の低減に努めること。</p> <p>2) 請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時点で所定の様式により提出することができる。</p> <p>3) 低入札価格調査制度を適用した場合  1. 調査基準価格を下回る価格で落札した場合には、請負者は、所管課長の求めに応じて、建設法（昭和24年法律第100号）第24条の7に規定する施工体制台帳を所管課長に提出しなければならない。  また、その内容のヒアリングを所管課長から求められたときは、請負者はこれに応じなければならない。  2. 調査基準価格を下回る価格で落札した場合には、請負者は、共通仕様書に基づく施工計画書の提出に際してその内容のヒアリングを所管課長から求められたときは、これに応じなければならない。</p> </td> </tr> <tr> <td>② 現場代理人及び監理技術者（主任技術者）の専任を要しない期間等</td> <td> <p>&lt;通常工事の場合&gt;  現場代理人及び監理技術者（主任技術者）の専任を要しない期間  ・ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。また、現場代理人においても工事現場への常駐を要しない。尚、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打ち合わせにおいて定める。</p> <p>・ 工事完成後、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。また、現場代理人においても工事現場への常駐を要しない。尚、工事完成後は、発注者が工事完成届を受理した日とする。</p> </td> </tr> <tr> <td>③ 建築材料等</td> <td> <p>1) 小松市が発注する公共工事においては、地域経済の活性化に配慮し、工事材料及び建設機械の使用について次のとおり努めること。  1. 土木・建築資材等調達する工事材料は、小松市産とする。  （小松市産建築資材有効活用制度実施要領に基づく小松市産建築資材を含む）  2. 建設機械を使用する場合は、小松市内に工場等を有する企業が製造する建設機械を使用すること。  3. 工事着手前に使用材料確認又は施工計画書を提出し、工事完了後は使用結果の実施状況報告を行うこと。</p> <p>2) 小松市が発注する公共工事においては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。略称「グリーン購入法」という。）」及び下記要綱等の趣旨を踏まえ、工事全体の環境負荷の少ない製品・材料等の利用促進に努めること。  1. 対象製品等  ・ 石川県エコ・リサイクル製品利用推進要綱における「石川県リサイクル認定製品」  ・ 石川県内の公共建築物・公共土木工事における木材利用方針における県産材  2. 手続き等  工事の着手前に使用材料確認を提出し、工事完了後は使用材料等の結果報告を行うこと。</p> <p>3) 小松市建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。  ※杭 ・ 打ち放し型枠 ・ 防水材料 ・ 木材（構造材、造作材のみ）  ・ 防音工事用建具 ・ 防音工事用内装材（ロックウール吸音材、ロックウール化粧吸音材、グラスウール吸音材、吸音用穴あき石膏ボード、吸音用軟質繊維板、石膏ボード、合板、穿孔合板、紙布裏地植毛品、壁クロス等）  ・ 配分電盤  ・ 空調機器 ・ 送風機、排風機 ・ ダクト類（保温材等も含む） ・ ボイラー  ・ し尿浄化槽  ・ その他、監督員が指定したもの  但し、杭以外のJIS規格品は除く。</p> <p>4) 上記の建築材料等を使用する場合は、施工前に市担当者（監督員）へ主要材料納入業者選任届その他市担当者（監督員）が指示する各種関係書類を提出すること。</p> </td> </tr> <tr> <td>④ 工事写真等の記録</td> <td> <p>工事写真に使用するカメラは、下記のとおりとする。</p> <p>1. 画像をフィルムに記録する銀塩カメラ</p> <p>2. 画像を電気信号からデジタル信号化して内蔵するハードディスク等に記録するデジタルカメラ  a. 有効画素数については200万画素以上とする。  （必要な文字、数値等の判読ができる機能、精度を確保できること）  b. 記録形式についてはJPEGとする。  c. プリンターはフルカラー300dpi以上とする。</p> <p>3. 銀塩カメラとデジタルカメラとの混合はやむを得ない場合を除き認めない。  a. 工事写真は工事完成後見ることができない箇所（出来形確認等の資料となるものであること）から工事施工中の情報を鮮明に記録すること。</p> </td> </tr> <tr> <td>⑤ 工事現場の標示板</td> <td> <p>工事現場には、下記標示板を設置する。（記入例）</p> <p>工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、丸ゴシック体とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>地色 2.5Y8/2 文字 2.5G3/5</td> <td>(工事名)</td> <td>2/7A</td> </tr> <tr> <td>基本計画 監修 実施設計 工事監理</td> <td>           事業主体 小松市            監修 小松市都市創造部建築住宅課            設計監理 建築（事業者名を記入する）            設備（事業者名を記入する）            施工 建築（事業者名を記入する）            電気（事業者名を記入する）            機械（事業者名を記入する）         </td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地色 2.5G4/5 文字 N9.0（白）</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 第1号 1200×2400 特に目玉となる大規模な工事  ・ 第2号 900×1800 一般的な工事（学校など）  ・ 第3号 600×1200 一般的な工事（学供など）  ・ 第4号 450×900 学供など小規模な工事で特に敷地が狭い場合  ・ 特符号 1800×3600 宅地造成など特に大規模な工事</p> </td> </tr> </table>	項目	特記事項	① 適用基準等	<p>1) 環境法令等遵守し、環境負荷の低減に努めること。</p> <p>2) 請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時点で所定の様式により提出することができる。</p> <p>3) 低入札価格調査制度を適用した場合  1. 調査基準価格を下回る価格で落札した場合には、請負者は、所管課長の求めに応じて、建設法（昭和24年法律第100号）第24条の7に規定する施工体制台帳を所管課長に提出しなければならない。  また、その内容のヒアリングを所管課長から求められたときは、請負者はこれに応じなければならない。  2. 調査基準価格を下回る価格で落札した場合には、請負者は、共通仕様書に基づく施工計画書の提出に際してその内容のヒアリングを所管課長から求められたときは、これに応じなければならない。</p>	② 現場代理人及び監理技術者（主任技術者）の専任を要しない期間等	<p>&lt;通常工事の場合&gt;  現場代理人及び監理技術者（主任技術者）の専任を要しない期間  ・ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。また、現場代理人においても工事現場への常駐を要しない。尚、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打ち合わせにおいて定める。</p> <p>・ 工事完成後、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。また、現場代理人においても工事現場への常駐を要しない。尚、工事完成後は、発注者が工事完成届を受理した日とする。</p>	③ 建築材料等	<p>1) 小松市が発注する公共工事においては、地域経済の活性化に配慮し、工事材料及び建設機械の使用について次のとおり努めること。  1. 土木・建築資材等調達する工事材料は、小松市産とする。  （小松市産建築資材有効活用制度実施要領に基づく小松市産建築資材を含む）  2. 建設機械を使用する場合は、小松市内に工場等を有する企業が製造する建設機械を使用すること。  3. 工事着手前に使用材料確認又は施工計画書を提出し、工事完了後は使用結果の実施状況報告を行うこと。</p> <p>2) 小松市が発注する公共工事においては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。略称「グリーン購入法」という。）」及び下記要綱等の趣旨を踏まえ、工事全体の環境負荷の少ない製品・材料等の利用促進に努めること。  1. 対象製品等  ・ 石川県エコ・リサイクル製品利用推進要綱における「石川県リサイクル認定製品」  ・ 石川県内の公共建築物・公共土木工事における木材利用方針における県産材  2. 手続き等  工事の着手前に使用材料確認を提出し、工事完了後は使用材料等の結果報告を行うこと。</p> <p>3) 小松市建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。  ※杭 ・ 打ち放し型枠 ・ 防水材料 ・ 木材（構造材、造作材のみ）  ・ 防音工事用建具 ・ 防音工事用内装材（ロックウール吸音材、ロックウール化粧吸音材、グラスウール吸音材、吸音用穴あき石膏ボード、吸音用軟質繊維板、石膏ボード、合板、穿孔合板、紙布裏地植毛品、壁クロス等）  ・ 配分電盤  ・ 空調機器 ・ 送風機、排風機 ・ ダクト類（保温材等も含む） ・ ボイラー  ・ し尿浄化槽  ・ その他、監督員が指定したもの  但し、杭以外のJIS規格品は除く。</p> <p>4) 上記の建築材料等を使用する場合は、施工前に市担当者（監督員）へ主要材料納入業者選任届その他市担当者（監督員）が指示する各種関係書類を提出すること。</p>	④ 工事写真等の記録	<p>工事写真に使用するカメラは、下記のとおりとする。</p> <p>1. 画像をフィルムに記録する銀塩カメラ</p> <p>2. 画像を電気信号からデジタル信号化して内蔵するハードディスク等に記録するデジタルカメラ  a. 有効画素数については200万画素以上とする。  （必要な文字、数値等の判読ができる機能、精度を確保できること）  b. 記録形式についてはJPEGとする。  c. プリンターはフルカラー300dpi以上とする。</p> <p>3. 銀塩カメラとデジタルカメラとの混合はやむを得ない場合を除き認めない。  a. 工事写真は工事完成後見ることができない箇所（出来形確認等の資料となるものであること）から工事施工中の情報を鮮明に記録すること。</p>	⑤ 工事現場の標示板	<p>工事現場には、下記標示板を設置する。（記入例）</p> <p>工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、丸ゴシック体とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>地色 2.5Y8/2 文字 2.5G3/5</td> <td>(工事名)</td> <td>2/7A</td> </tr> <tr> <td>基本計画 監修 実施設計 工事監理</td> <td>           事業主体 小松市            監修 小松市都市創造部建築住宅課            設計監理 建築（事業者名を記入する）            設備（事業者名を記入する）            施工 建築（事業者名を記入する）            電気（事業者名を記入する）            機械（事業者名を記入する）         </td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地色 2.5G4/5 文字 N9.0（白）</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 第1号 1200×2400 特に目玉となる大規模な工事  ・ 第2号 900×1800 一般的な工事（学校など）  ・ 第3号 600×1200 一般的な工事（学供など）  ・ 第4号 450×900 学供など小規模な工事で特に敷地が狭い場合  ・ 特符号 1800×3600 宅地造成など特に大規模な工事</p>	地色 2.5Y8/2 文字 2.5G3/5	(工事名)	2/7A	基本計画 監修 実施設計 工事監理	事業主体 小松市 監修 小松市都市創造部建築住宅課 設計監理 建築（事業者名を記入する） 設備（事業者名を記入する） 施工 建築（事業者名を記入する） 電気（事業者名を記入する） 機械（事業者名を記入する）	A		地色 2.5G4/5 文字 N9.0（白）		<p>6 室内空気汚染対策</p> <p>7 名札の着帯</p> <p>8 竣工後の検査等</p> <p>9 監督職員事務所</p> <p>10 定礎</p> <p>11 竣工図の装丁</p> <p>12 合成高分子系ルーフィングシート防水</p>	<p>1) 測定対象室数は、居室数の2割を標準とする。  学校の教室等で仕上げが同じ室が多数ある場合は、代表する1室を測定対象室とする。  ただし、公営住宅の場合は建設戸数の1割以上、各住戸2室以上で測定する。</p> <p>2) 測定箇所数</p> <table border="1"> <tr> <th>室の床面積 A (㎡)</th> <th>A ≤ 200</th> <th>200 &lt; A ≤ 500</th> <th>500 &lt; A</th> </tr> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>現場代理人及び主任（監理）技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。</p>  <p>(注意事項)  ①名札として使用する用紙（台紙）は白色、寸法は上図（名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm）のとおりとする。  ②顔写真（カラー写真）の寸法は縦4.0cm×横3.0cm、また撮影する部分は胸から上の上半身とする。  ③ケースの寸法は上記①の用紙（台紙）が入る大きさとする。  ④工事名が長い場合、簡略化してもよいものとする。  ⑤現場代理人及び主任（監理）技術者が変更となった場合は、直ちに作成すること。  ⑥名札の有効期限は、発行日より2年間とする。</p> <p>1) 点検の対象施設は、関連工事の全体工事設計額の合計が1億5千万円以上（発注の分離形態は問わない）の施設とする。</p> <p>2) 点検の時期は、原則として工事引渡後、概ね1年とする。</p> <p>監督職員事務所に設ける備品等  ※洗面設備 ※原因図及びA3縮小の設計図面製本各2部 ※黒板 ※ロッカー  ※机 ※椅子 ※検査用具 ※安全帯 ※保護帽 ※長靴 ※羽子  ※軍手 ※懐中電灯 ・ 書棚 ・ 寒暖計</p> <p>定礎の設置等は、下記による。  (イ) 設置 ・ 設置する ・ 設置しない  (ロ) 材料、大きさ ・ 影石水磨き仕上げ (W450×H300×D30程度) 文字は影り込みとする。</p> <p>竣工図の装丁は、下記による。  (イ) 背表紙に装丁テープ無しとする。  (ロ) 製本記載例</p> <table border="1"> <tr> <td>(表紙)</td> <td>(背表紙)</td> </tr> <tr> <td>平成 年度</td> <td>平成 年度</td> </tr> <tr> <td>竣工 図</td> <td>工 事 名</td> </tr> <tr> <td>( 工 事 名 )</td> <td>( )</td> </tr> <tr> <td>工期 着工 平成 年 月 日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完成 平成 年 月 日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>監 修 小松市都市創造部建築住宅課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計監理 (建築・設備事務所共に記入する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施 工 建築 (業者名を記入する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気 (業者名を記入する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給排水 (業者名を記入する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空調 (業者名を記入する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合併処理 (業者名を記入する)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昇降機 (業者名を記入する)</td> <td></td> </tr> </table> <p>塩ビシート防水（絶縁工法）のディスク板の施工方法は、下図のとおりとする。</p>  <p>専用ディスク板のピッチは縦横600mm以内とし、周辺部は300mm以内を標準とする。  ただし、メーカー仕様又はその他の理由によりこれより大きい場合はこの限りでない。</p>	室の床面積 A (㎡)	A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1	2	3	(表紙)	(背表紙)	平成 年度	平成 年度	竣工 図	工 事 名	( 工 事 名 )	( )	工期 着工 平成 年 月 日		完成 平成 年 月 日		監 修 小松市都市創造部建築住宅課		設計監理 (建築・設備事務所共に記入する)		施 工 建築 (業者名を記入する)		電気 (業者名を記入する)		給排水 (業者名を記入する)		空調 (業者名を記入する)		合併処理 (業者名を記入する)		昇降機 (業者名を記入する)		<p>13 小松市産建築資材</p> <p>設計図書に定める小松市産建築資材は、「小松市産建築資材有効活用制度実施要領」に基づき登録された下表によるものとし、所要の品質及び性能を有するものとする。</p> <p>「小松市産建築資材有効活用制度実施要領」に基づき登録されている小松市産建築資材の一覧</p> <table border="1"> <tr> <th>No.</th> <th>製品名</th> <th>用途</th> <th>製造・販売企業</th> <th>考察</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>粘土瓦(小松瓦)</td> <td>屋根葺材</td> <td>製造企業：小松協栄瓦 企業組合 販売企業：小松製瓦（株）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>破砕瓦</td> <td>簡易舗装材等</td> <td>製造販売企業：小松協栄瓦 企業組合 製造販売企業：（有）北陸調製土</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>日華(観音下)石</td> <td>内外装材等</td> <td>製造販売企業：観音下石材（有）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>大杉の里石</td> <td>内外装材等</td> <td>製造販売企業：宮石材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>滝ヶ原石</td> <td>内外装材等</td> <td>製造販売企業：石材荒谷商店</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>畳(小松産畳表)</td> <td>内装材</td> <td>製造販売企業：島内畳工業 製造企業：宮本隆史 販売企業：たたみのかおり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>一般建築用木材</td> <td>構造材、下地材、造作材等</td> <td>製造販売企業：かが森林組合 製造販売企業：南加賀木材協同組合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>カーテン</td> <td>内装材</td> <td>製造企業：北出ジャガード織物 販売企業：（株）サンゲツ他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>九谷焼陶板</td> <td>陶壁、館名板、室名札等</td> <td>製造販売企業：（株）陶朱洞 製造販売企業：西 長峰堂 製造販売企業：ボースリヤワタ 製造販売企業：西田昇電堂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>高性能屋上緑化システム(グリーンビズG)</td> <td>屋上緑化材</td> <td>製造販売企業：（株）トーケン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>可動開仕切等</td> <td>間仕切壁等</td> <td>製造企業：小松ウォール工業（株） 販売企業：小松ウォールアイティ（株）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>移動パーテーション等</td> <td>間仕切壁等</td> <td>製造企業：コマニー（株） 販売企業：コマニー（株）金沢営業所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>マシルームレスエレベーター他</td> <td>昇降機</td> <td>製造企業：クマリフト（株） 販売企業：（株）クマリフトコーポレーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>建築用上生漆及び塗塗り造作材</td> <td>内装材</td> <td>製造販売企業：（有）沢幸漆店</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>超保水性・透水性イノトナクアロク(グリーンビズG)</td> <td>舗装材等</td> <td>製造企業：小松精練（株） 販売企業：（株）トーケン</td> <td></td> </tr> </table>	No.	製品名	用途	製造・販売企業	考察	1	粘土瓦(小松瓦)	屋根葺材	製造企業：小松協栄瓦 企業組合 販売企業：小松製瓦（株）		2	破砕瓦	簡易舗装材等	製造販売企業：小松協栄瓦 企業組合 製造販売企業：（有）北陸調製土		3	日華(観音下)石	内外装材等	製造販売企業：観音下石材（有）		4	大杉の里石	内外装材等	製造販売企業：宮石材		5	滝ヶ原石	内外装材等	製造販売企業：石材荒谷商店		6	畳(小松産畳表)	内装材	製造販売企業：島内畳工業 製造企業：宮本隆史 販売企業：たたみのかおり		7	一般建築用木材	構造材、下地材、造作材等	製造販売企業：かが森林組合 製造販売企業：南加賀木材協同組合		8	カーテン	内装材	製造企業：北出ジャガード織物 販売企業：（株）サンゲツ他		9	九谷焼陶板	陶壁、館名板、室名札等	製造販売企業：（株）陶朱洞 製造販売企業：西 長峰堂 製造販売企業：ボースリヤワタ 製造販売企業：西田昇電堂		10	高性能屋上緑化システム(グリーンビズG)	屋上緑化材	製造販売企業：（株）トーケン		11	可動開仕切等	間仕切壁等	製造企業：小松ウォール工業（株） 販売企業：小松ウォールアイティ（株）		12	移動パーテーション等	間仕切壁等	製造企業：コマニー（株） 販売企業：コマニー（株）金沢営業所		13	マシルームレスエレベーター他	昇降機	製造企業：クマリフト（株） 販売企業：（株）クマリフトコーポレーション		14	建築用上生漆及び塗塗り造作材	内装材	製造販売企業：（有）沢幸漆店		15	超保水性・透水性イノトナクアロク(グリーンビズG)	舗装材等	製造企業：小松精練（株） 販売企業：（株）トーケン		<p>14 ワンデレレスボンス</p> <p>○行う ・ 行わない  1) この工事はワンデレレスボンス試行工事である。  「ワンデレレスボンス」とは、  ①工事発注に先立ち、事前に想定される手持ちとなる要因を確認すること。  ②受注者との綿密な打合せと情報共有  ③受注者からの協議等に対してその日のうちに「速やかに」回答。対外協議、検討が必要な場合においても回答予定日をその日のうちに回答。  以上により現場の手待ちを減少し、効率的な現場施工を実施する取組である。</p> <p>2) 受注者は、計画工程表の提出にあたり、工程上支障となる事項等を監督員と共に確認するものとする。また、施工段階においては前もって問題点の抽出に努め、事前に計画を立て早めの協議を行うものとする。</p> <p>3) 受注者は、工事施工中に発生する様々な問題について、受注者の意見・資料を付して速やかに監督員へ報告するものとする。また、併せて回答希望日を報告するものとする。</p>	<p>15 契約後VE工事</p> <p>1) 定義  「VE提案」とは、小松市建設工事標準請負契約約款（以下「約款」という。）第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事的目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者（申請者）が発注者に行う提案をいう。</p> <p>2) VE提案の意義及び範囲  (1) 受注者（申請者）がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち、工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として、工事的目的物の変更を伴わないものとする。  (2) 以下の提案は、VE提案の範囲に含まれないものとする。  ①工期の延長等施工条件の変更を伴う提案  ②条件変更が確認された後の提案  ③入札時に入札参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料又は施工方法等の変更の提案  ④入札時における総合評価方式に係る技術提案の範囲</p> <p>3) VE提案書の提出  (1) 受注者（申請者）は、前項のVE提案を行う場合は、VE提案書に次に掲げる事項を記載した書類を添付し、発注者に提出しなければならない。  ①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由  ②VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）  ③VE提案が採用された場合の請負代金額の概算低減額及び算出根拠  ④発注者が別途発注する関連工事との関係  ⑤工業所有権を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項  ⑥その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項  (2) 受注者は、提出されたVE提案書に関する追加的な資料、図面その他の書類の提出を受注者（申請者）に求めることができる。  (3) 受注者（申請者）は、前項のVE提案を契約の締結日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する35日前までに、発注者に提出できるものとする。  (4) VE提案に関する費用は、受注者（申請者）の負担とする。</p> <p>4) VE提案の審査  VE提案の審査にあたっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。</p> <p>5) VE提案の採否の通知  (1) 発注者はVE提案の採否について、VE提案の受領後14日以内に受注者（申請者）に通知しなければならない。ただし、その期間内に通知できないやむをえない理由があるときは、あらかじめ受注者（申請者）の同意を得た上で、この期間を延長することができるものとする。  (2) 提出されたVE提案が適正と認められなかった場合の前項の通知は、採用しない理由を付して行うものとする。</p> <p>6) VE提案が適正と認められた場合の変更設計等  (1) 発注者は、約款第19条の2の規定に基づき、VE提案による設計図書を変更し、請負代金額を変更する場合は、約款第24条の規定により、請負代金額の変更を行うものとする。  (2) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額（以下「VE管理費」という。）を計上するものとする。  (3) VE提案を採用した後、約款第18条の条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更を求めた場合、受注者（申請者）はこれに応じるものとする。  (4) 発注者は、約款第18条の条件変更が生じた場合には、約款第24条第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE提案を採用した後、約款第18条の条件変更が生じた場合の前記（2）のVE管理費については、変更しないものとする。  (5) 双方の責に帰することができない事由（不可抗力や予測することが不可能な事由等）により、工事の続行が不可能、又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者（申請者）が協議して定めるものとする。  (6) VE管理費に関する部分支払は、VE提案に関する部分が完了（完成）したと認められる場合に支払い対象とする。</p> <p>7) VE提案の保証  VE提案については、その後の工事において、その内容が一般的（標準歩掛）に使用されている状態となった場合は、無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りでない。</p> <p>8) 責任の所在  発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者（申請者）の責任が否定されるものではない。</p>	<p>16 グッドマナーこまつ フローラルこまつ</p> <p>1) 目的  ひと・まちのイメージアップや交流人口・定住人口拡大、花と緑が美しいまちを次世代に引き継ぐために市民総参加で「グッドマナーこまつ」、「フローラルこまつ」に取り組む。  このため、小松市が発注する公共工事においては、「グッドマナーこまつ」「フローラルこまつ」の趣旨を踏まえ、工事全体において積極的な取り組みに努めること。</p> <p>2) 取組内容  ■グッドマナーこまつ各種ロゴ等を活用した工事現場でのグッドマナーの推進。  ・ おもてなし力の向上：気持ちのよいあいさつ、笑顔でコミュニケーション  ・ 交通マナーアップ：運転マナーの向上の徹底、通行車両、通行人の交通安全の徹底。（交通マナーロゴを利用したステッカーによる意識啓発等）  ・ 美しいまちづくり：工事現場周辺の美化活動の推進。（工事看板等に取組ステッカー貼り付けによる意識啓発等）  ■フローラルこまつをPRする工事現場周辺の花装飾等。</p> <p>3) 手続き等  工事の着手前に担当監督員に取組内容を報告し、必要なロゴデータ等を借用する。  工事完了後は取組結果報告を行うこと。</p>
項目	特記事項																																																																																																																																														
① 適用基準等	<p>1) 環境法令等遵守し、環境負荷の低減に努めること。</p> <p>2) 請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時点で所定の様式により提出することができる。</p> <p>3) 低入札価格調査制度を適用した場合  1. 調査基準価格を下回る価格で落札した場合には、請負者は、所管課長の求めに応じて、建設法（昭和24年法律第100号）第24条の7に規定する施工体制台帳を所管課長に提出しなければならない。  また、その内容のヒアリングを所管課長から求められたときは、請負者はこれに応じなければならない。  2. 調査基準価格を下回る価格で落札した場合には、請負者は、共通仕様書に基づく施工計画書の提出に際してその内容のヒアリングを所管課長から求められたときは、これに応じなければならない。</p>																																																																																																																																														
② 現場代理人及び監理技術者（主任技術者）の専任を要しない期間等	<p>&lt;通常工事の場合&gt;  現場代理人及び監理技術者（主任技術者）の専任を要しない期間  ・ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。また、現場代理人においても工事現場への常駐を要しない。尚、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打ち合わせにおいて定める。</p> <p>・ 工事完成後、事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。また、現場代理人においても工事現場への常駐を要しない。尚、工事完成後は、発注者が工事完成届を受理した日とする。</p>																																																																																																																																														
③ 建築材料等	<p>1) 小松市が発注する公共工事においては、地域経済の活性化に配慮し、工事材料及び建設機械の使用について次のとおり努めること。  1. 土木・建築資材等調達する工事材料は、小松市産とする。  （小松市産建築資材有効活用制度実施要領に基づく小松市産建築資材を含む）  2. 建設機械を使用する場合は、小松市内に工場等を有する企業が製造する建設機械を使用すること。  3. 工事着手前に使用材料確認又は施工計画書を提出し、工事完了後は使用結果の実施状況報告を行うこと。</p> <p>2) 小松市が発注する公共工事においては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。略称「グリーン購入法」という。）」及び下記要綱等の趣旨を踏まえ、工事全体の環境負荷の少ない製品・材料等の利用促進に努めること。  1. 対象製品等  ・ 石川県エコ・リサイクル製品利用推進要綱における「石川県リサイクル認定製品」  ・ 石川県内の公共建築物・公共土木工事における木材利用方針における県産材  2. 手続き等  工事の着手前に使用材料確認を提出し、工事完了後は使用材料等の結果報告を行うこと。</p> <p>3) 小松市建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。  ※杭 ・ 打ち放し型枠 ・ 防水材料 ・ 木材（構造材、造作材のみ）  ・ 防音工事用建具 ・ 防音工事用内装材（ロックウール吸音材、ロックウール化粧吸音材、グラスウール吸音材、吸音用穴あき石膏ボード、吸音用軟質繊維板、石膏ボード、合板、穿孔合板、紙布裏地植毛品、壁クロス等）  ・ 配分電盤  ・ 空調機器 ・ 送風機、排風機 ・ ダクト類（保温材等も含む） ・ ボイラー  ・ し尿浄化槽  ・ その他、監督員が指定したもの  但し、杭以外のJIS規格品は除く。</p> <p>4) 上記の建築材料等を使用する場合は、施工前に市担当者（監督員）へ主要材料納入業者選任届その他市担当者（監督員）が指示する各種関係書類を提出すること。</p>																																																																																																																																														
④ 工事写真等の記録	<p>工事写真に使用するカメラは、下記のとおりとする。</p> <p>1. 画像をフィルムに記録する銀塩カメラ</p> <p>2. 画像を電気信号からデジタル信号化して内蔵するハードディスク等に記録するデジタルカメラ  a. 有効画素数については200万画素以上とする。  （必要な文字、数値等の判読ができる機能、精度を確保できること）  b. 記録形式についてはJPEGとする。  c. プリンターはフルカラー300dpi以上とする。</p> <p>3. 銀塩カメラとデジタルカメラとの混合はやむを得ない場合を除き認めない。  a. 工事写真は工事完成後見ることができない箇所（出来形確認等の資料となるものであること）から工事施工中の情報を鮮明に記録すること。</p>																																																																																																																																														
⑤ 工事現場の標示板	<p>工事現場には、下記標示板を設置する。（記入例）</p> <p>工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、丸ゴシック体とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>地色 2.5Y8/2 文字 2.5G3/5</td> <td>(工事名)</td> <td>2/7A</td> </tr> <tr> <td>基本計画 監修 実施設計 工事監理</td> <td>           事業主体 小松市            監修 小松市都市創造部建築住宅課            設計監理 建築（事業者名を記入する）            設備（事業者名を記入する）            施工 建築（事業者名を記入する）            電気（事業者名を記入する）            機械（事業者名を記入する）         </td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地色 2.5G4/5 文字 N9.0（白）</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 第1号 1200×2400 特に目玉となる大規模な工事  ・ 第2号 900×1800 一般的な工事（学校など）  ・ 第3号 600×1200 一般的な工事（学供など）  ・ 第4号 450×900 学供など小規模な工事で特に敷地が狭い場合  ・ 特符号 1800×3600 宅地造成など特に大規模な工事</p>	地色 2.5Y8/2 文字 2.5G3/5	(工事名)	2/7A	基本計画 監修 実施設計 工事監理	事業主体 小松市 監修 小松市都市創造部建築住宅課 設計監理 建築（事業者名を記入する） 設備（事業者名を記入する） 施工 建築（事業者名を記入する） 電気（事業者名を記入する） 機械（事業者名を記入する）	A		地色 2.5G4/5 文字 N9.0（白）																																																																																																																																						
地色 2.5Y8/2 文字 2.5G3/5	(工事名)	2/7A																																																																																																																																													
基本計画 監修 実施設計 工事監理	事業主体 小松市 監修 小松市都市創造部建築住宅課 設計監理 建築（事業者名を記入する） 設備（事業者名を記入する） 施工 建築（事業者名を記入する） 電気（事業者名を記入する） 機械（事業者名を記入する）	A																																																																																																																																													
	地色 2.5G4/5 文字 N9.0（白）																																																																																																																																														
室の床面積 A (㎡)	A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A																																																																																																																																												
測定箇所数	1	2	3																																																																																																																																												
(表紙)	(背表紙)																																																																																																																																														
平成 年度	平成 年度																																																																																																																																														
竣工 図	工 事 名																																																																																																																																														
( 工 事 名 )	( )																																																																																																																																														
工期 着工 平成 年 月 日																																																																																																																																															
完成 平成 年 月 日																																																																																																																																															
監 修 小松市都市創造部建築住宅課																																																																																																																																															
設計監理 (建築・設備事務所共に記入する)																																																																																																																																															
施 工 建築 (業者名を記入する)																																																																																																																																															
電気 (業者名を記入する)																																																																																																																																															
給排水 (業者名を記入する)																																																																																																																																															
空調 (業者名を記入する)																																																																																																																																															
合併処理 (業者名を記入する)																																																																																																																																															
昇降機 (業者名を記入する)																																																																																																																																															
No.	製品名	用途	製造・販売企業	考察																																																																																																																																											
1	粘土瓦(小松瓦)	屋根葺材	製造企業：小松協栄瓦 企業組合 販売企業：小松製瓦（株）																																																																																																																																												
2	破砕瓦	簡易舗装材等	製造販売企業：小松協栄瓦 企業組合 製造販売企業：（有）北陸調製土																																																																																																																																												
3	日華(観音下)石	内外装材等	製造販売企業：観音下石材（有）																																																																																																																																												
4	大杉の里石	内外装材等	製造販売企業：宮石材																																																																																																																																												
5	滝ヶ原石	内外装材等	製造販売企業：石材荒谷商店																																																																																																																																												
6	畳(小松産畳表)	内装材	製造販売企業：島内畳工業 製造企業：宮本隆史 販売企業：たたみのかおり																																																																																																																																												
7	一般建築用木材	構造材、下地材、造作材等	製造販売企業：かが森林組合 製造販売企業：南加賀木材協同組合																																																																																																																																												
8	カーテン	内装材	製造企業：北出ジャガード織物 販売企業：（株）サンゲツ他																																																																																																																																												
9	九谷焼陶板	陶壁、館名板、室名札等	製造販売企業：（株）陶朱洞 製造販売企業：西 長峰堂 製造販売企業：ボースリヤワタ 製造販売企業：西田昇電堂																																																																																																																																												
10	高性能屋上緑化システム(グリーンビズG)	屋上緑化材	製造販売企業：（株）トーケン																																																																																																																																												
11	可動開仕切等	間仕切壁等	製造企業：小松ウォール工業（株） 販売企業：小松ウォールアイティ（株）																																																																																																																																												
12	移動パーテーション等	間仕切壁等	製造企業：コマニー（株） 販売企業：コマニー（株）金沢営業所																																																																																																																																												
13	マシルームレスエレベーター他	昇降機	製造企業：クマリフト（株） 販売企業：（株）クマリフトコーポレーション																																																																																																																																												
14	建築用上生漆及び塗塗り造作材	内装材	製造販売企業：（有）沢幸漆店																																																																																																																																												
15	超保水性・透水性イノトナクアロク(グリーンビズG)	舗装材等	製造企業：小松精練（株） 販売企業：（株）トーケン																																																																																																																																												
<p>特記事項</p>	<p>確認日</p> <p>確認者</p> <p>代表</p> <p>作成</p> <p>年月日</p> <p>2018 . 03 .</p>	<p>工事名称（プロジェクトNo. 160613）</p> <p>公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事（1期）（建築）</p> <p>図面名称</p> <p>建築改修工事仕様書(7)</p> <p>図面番号</p> <p>A-07</p>																																																																																																																																													

■ 共通凡例

□ 内装制限 凡例		□ 略記号 凡例				□ 略記号 凡例 (防火認定番号)				□ 耐火認定番号				□ 共通事項		
(不)	下地共不燃材	(表示事項)	(略記号)	(表示事項)	(略記号)	(材料名称)	(略記号)	(認定番号)	(材料名称)	(略記号)	(認定番号)	(部位)	(耐火性能)	(部材構成)	(認定番号)	・使用材料は、J I S、J A S、F ☆☆☆、規制対象外を使用
(不)	不燃材	基準地盤面	GL	鉄筋コンクリート	RC	せっこうボードt9.5	GB-Rt9.5	QM-9828	合成樹脂エマルジョンペイント	EP	QM-9816	間仕切壁	1時間耐火	LGS + GB-Ft12.5 + GB-Ft12.5 (両面張り) S12 (同等品)	FP060NP-0174	・異なる材料の取合い部にはSUS製異形部を設置
(準)	下地共準不燃材以上	基準床面	FL	鉄骨	S	せっこうボードt12.5	GB-Rt12.5	NM-8619	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	EP-G		間仕切壁	1時間耐火	LGS + GB-Ft15 + GB-Ft15 (両面張り) B15 (同等品)	FP060NP-0174	・【】内の数字は建築工事標準詳細図の分類番号を示す
(準)	準不燃材以上	ベンチマーク	BM	木	W	強化せっこうボードt12.5	GB-Ft12.5	NM-8615	合成樹脂調合ペイント	SOP	QM-9816	間仕切壁	1時間耐火	LGS + GB-Ft21 + GB-Ft21 (片面貼り) Sウォール (同等品)	FP060NP-0007	
(難)	難燃材以上	仮ベンチマーク	KBM	軽量鉄骨	LGS	普通硬質せっこうボードt9.5	GB-R-Ht9.5	NM-1908	クリヤラッカー	CL		遮音間仕切壁	1時間耐火	LGS + 音響絶縁材t12.5 + GB-Ft12.5 + GB-Ft12.5 (両面張り)	FP060NP-0174	
		天井高さ	CH	コンクリート	Con	シーリングせっこうボードt12.5	GB-St12.5	QM-9826、NM-9639	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	複層塗材E				遮音壁TLD44 S12-P (同等品)		
				モルタル	Mo	ケイカル板 t 6.0	FKt6	NM-1217	防水型合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	防水型複層塗材E				LGS + 敷目板t12.5 + GB-Ft12.5 + GB-Ft12.5 (両面張り)	FP060NP-0175	
														遮音壁TLD50 S12 + W1 敷目板タイプ (同等品)		
(自)	自然排煙	コンクリート壁(非耐力壁)	CW	コンクリートブロック	CB	化粧ケイカル板 t 6.0	FK-Dt6	NM-8577、NM-8579	耐水性塗料塗り	DP						
(機)	機械排煙	コンクリート壁(耐力壁)	EW	スチール	St	メラミン不燃化粧板t3.0	Mkt3	NM-1453、NM-3468	グラスウール	GW		柱	1時間耐火	ロックウール吹付けt25	FP060CN-9460	
(2)	告示1436号ニ(2)	パイプスペース	PS	ステンレス	SUS	ロックウール吸音板t9.0	DRt9.0	NM-8599	ポリスチレンフォーム保温板	PF		柱	1時間耐火	耐火塗料 (S K タイカコート同等品)	FP060CM-9472	
(4)	告示1436号ニ(4)	ダクトスペース	DS	アルミ	Al	化粧せっこうボードt9.5	GB-Dt9.5	QM-9824	現場発泡硬質ウレタンフォーム	UF		梁	1時間耐火	ロックウール吹付けt25	FP060BM-9408	
		電気配線スペース	EPS	ガルバリウム	GL	化粧せっこうボードt12.5	GB-Dt12.5	NM-0128				梁	1時間耐火	耐火塗料	FP060BM-9419	
		エレベーター	EV	フラットバー	FB	不燃積層せっこうボードt9.5	GB-NCt9.5	NM-0441	押出成型セメント板	ECP						
		ルーフトレン	RD	プレート	PL	吸音用穴あきせっこうボードt9.5	GB-Pt9.5	NM-0879	軽量気泡コンクリートパネル	ALC						(適合証番号)
		横引きルーフトレン	RSD			ビニルクロス	VC	NM-1415	硬質ポリ塩化ビニル管	VP		EXP. J	1時間耐火	耐火帯 t12.5	EAJ-防災-3013	
		壁柱	DP	幅	W											
				長さ	L				アスファルト	As						
				高さ	H				カラーアスファルト	As-C						
				直径	φ				インターロッキングブロック	ILB						
				半径	R											
				厚さ	t											
				間隔	@											

□ 材料仕様 (※図面に記載の材料は仕様等の記載がない限り以下による。※メーカー・製品名は仕様の程度を示すものであり、特記無き限り、同等品以上とする。)											
(材料名称)	(仕様)	(メーカー・製品名)	(材料名称)	(仕様)	(メーカー・製品名)	(材料名称)	(仕様)	(メーカー・製品名)	(材料名称)	(仕様)	(メーカー・製品名)
アルミ笠木	-	-	ロックウール吸音板t9.0	-	吉野石膏「ソーラントンタルカ」	消火器ボックス (床置き)	スチール製	ユニオン「UFB-3F-2802」	汚垂石	抗菌加工600×900	LIXIL「リキックステップ」
タラップ	SUS製	-	化粧せっこうボードt9.5	-	吉野石膏「ジプトン」	消火器ボックス (壁面埋込み)	スチール製	ユニオン「UFB-1F-2720」	汚垂タイル	抗菌加工タイル600×900	TOTO「ハイドレック707厚型タイプ」
目隠しルーバー	-	-	化粧ケイカル板 t 6.0	カラーレージョン30色程度	DIC「DIC」	屋内消火栓 (消火器組込型)	スチール製 (一部アルミ製)	ユニオン「UFB-1F-2060」	荷物掛けフック	アルミ製	TOTO「YKH52AR」
押出成型セメント板	工場塗装品	ノザワ「アスロック」	ビニルクロス	-	-	-	-	-	小便器用手摺	アルミ製	TOTO「T1120U2」
Exp. Jカバ	屋外：アルミ製、屋内：樹脂製	A B C商会	メラミン不燃化粧板t3.0	-	アイカ「セラール」	天井点検口	アルミ製、目地枠タイプ	ナカ工業「ハイハッチ」	洗面カウンター	アルミ製	TOTO「マープライクタンクレス」
庇	アルミ製、積雪1m仕様	アルフィン	メラミン化粧板カウンター	合板耐水MDFの上メラミン化粧板	アイカ「ネストフォーメーター」	壁点検口	-	-	-	-	-
アルミスバンドレル	アルミ製t1.2、電解二次着色	理研軽金属工業	ビニル床シートt2.0	複層、ノックス	東リ「ノックスリュ-ANW」	床点検口	-	-	ミニキッチン	HIコンロ付き	サカキ「Glacio」
アルミ製壁柱	アルミ製、バンドレスタイプ	井上商事	ビニル床シートt2.0 (防汚タイプ)	-	東リ「消臭NS9LW」	耐火塗料	吹付塗り、膜厚0.75~4.5mm	エスケー化研「SK9化研」	手摺	塩ビ製、34φ、	ナカ工業「ビニレーション」
カラーVP	排水管カバー付き、標準色 (5色程度)	積水化学工業「エロンカラーパイ」	ビニル床タイルt3.0	-	東リ「ロイヤルウッド・ストーン」	フッ素樹脂塗装	3F系FEVE	AGC「ネッソロン」	ノンスリップ	SUS製、フラットエンドタイプ	ナカ工業「ハイステップスリム」
			SUS巾木	SUS HL 出入隅折曲げ加工	タキメック「タキメック-SK」	防水複層塗材	弾性フッ素系	-	インターロッキングブロック	保水・透水性	小松精練「グリーンビズG」
			OAフロア	-	-	-	-	-	-	-	-
			タイルカーペットt6.5	ナイロンタイル	東リ「GA-100」	-	-	-	-	-	-
			磁器質タイル300角	-	-	-	-	-	-	-	-
			磁器質タイル600角	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 建具関連共通事項 (※建具については特記なき限り下記事項に準ずる。)

<p>■ 略記号凡例</p> <p>〈ドア・シャッター〉 SD.....鋼製ドア LSD.....鋼製軽量ドア SSD.....ステンレス製ドア AD.....アルミ製ドア WD.....木製ドア SS.....鋼製重畳シャッター LS.....鋼製軽量シャッター SF.....鋼製枠 SP.....鋼製パーティション GP.....ガラスパーティション OS.....オーバースライダー TB.....トイレブース</p> <p>〈窓・カーテンウォール〉 AW.....アルミ製窓 ACW.....アルミ製カーテンウォール</p> <p>〈ガラス〉 AG.....アルミ製ガラス</p> <p>〈その他〉 FH.....フロアヘンジ PH.....ピボットヘンジ T.....ステンレス丁番 AH.....オートヘンジ DC.....ドアクローザー AS.....アームストッパー F.....フランチ落し S.....シリンドー本錠錠 SH.....シリンドー箱錠 LH.....レバーハンドル BH.....バーハンドル PLH.....プレートハンドル KH.....ケースハンドル HH.....扉ハンドル TA.....タテ当り SK.....SUS音響 AM.....アルミ水切り CR.....クレセント</p> <p>〈塗装〉 OP.....油性ペイント VP.....ビニル系ペイント CL.....クリアラッカー OS.....油性ステイン EP.....合成樹脂エマルジョンペイント MP.....マリンペイント SOP.....合成樹脂調合ペイント OSCL.....オイルステインクリアラッカー</p> <p>〈ガラス〉 P.....透明ガラス F.....型板ガラス NP.....納入磨きガラス NF.....納入型板ガラス L.....合わせガラス T.....強化ガラス IG.....複層ガラス</p>	<p>■ 枠形式 (d...枠見込) ※図示による</p> <p>■ 窓摺形式</p> <p>■ 鋼製建具等の性能</p> <p>鋼製建具等の防錆塗料はJISK5629を用いる ただし亜鉛メッキ面はJISK5627とする</p> <p>■ 建具金物</p> <p>材質・仕上げ・機構は係員に見本品を提出し確認を受けること</p>	<p>■ 戸当たり・ドアクローザー等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>上図の場合、戸当たりを設ける</li> <li>親子、両開きのドアクローザーは1ヶ所とする</li> <li>ドアクローザーは室内を原則とする</li> <li>親子、両開きの上げおとしは上下2ヶ所とする</li> <li>ドアクローザー付は壁面から150mm離隔する</li> </ol>	<p>■ 外部鋼製建具等の性能</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>強さ 耐風圧</li> <li>気密性</li> <li>水密性</li> <li>遮音等級</li> <li>断熱性</li> <li>防火</li> </ol> <p>特：特定防火設備 防：防火設備</p> <p>(※防音認定サッシは特記による)</p>	<p>註)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出入口 音響は、ステンレス 2mm 曲げ加工とする。</li> <li>網入りガラスの取付はバテ (JIS A5752の2種金属建具用ガラスバテ) 又は、認定製品を使用する。</li> <li>ドアーチェックは、ストップ付きとする。(防火戸は除く)</li> <li>引違い窓のクレセントは、鍵付きとする。</li> <li>網入りガラスの小口は、防錆処理を行うこと。</li> <li>はめ殺しサッシについて、水抜き穴を設ける。</li> <li>オペレーター (隠蔽型) 及び挿挿用サッシのクレセントハンドル取付位置 FL+800~1500とする。</li> <li>扉枠・窓額縁は、特記なき限りスチール製 (アクリル焼付塗装) を取り付ける。室内間に有るサッシは両面額縁とする。</li> <li>アルミの表面処理は、特記なき限り被膜は14Lまたは9KLとする。</li> <li>アルミサッシの合成樹脂被膜は屋外では原則用いない。</li> <li>塗膜は特記なき限り下塗り1回2ペーコートとし、1回の塗膜厚は15~20μmとする。</li> <li>突き出し窓の開き角度は60°とする。</li> <li>サッシ強度、ガラス厚は強度計算書を提出し現場係員の承認を受けること。</li> </ul> <p>■ 特記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扉の明窓、ガラスは枠無しタイプとする。</li> <li>扉枠上部の壁柱上面には全てひび割れ防止目地を設ける。</li> <li>外部サッシは全て網戸付きとする。(防音サッシを除く)</li> <li>引違い、片引き窓 可動式網戸 高窓、ランマ窓：ケンドン式網戸 開き窓、チャペリ出し窓：フリーツ式網戸</li> <li>ガラスはチャンバー付き、防鳥網付きとする。</li> </ul>	<p>□ 材料仕様</p> <p>※図面に記載の材料は仕様等の記載がない限り以下による。 ※メーカー・製品名は仕様の程度を示すものであり、特記無き限り、同等品以上とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(材料名称)</th> <th>(仕様)</th> <th>(メーカー・製品名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防音建具</td> <td>防音省 一級防音仕様</td> <td>防音省</td> </tr> <tr> <td>アルミサッシ</td> <td>YKK「SISTEMA31」</td> <td>YKK</td> </tr> <tr> <td>軽鋼製ドア</td> <td>小松「カムドア」</td> <td>小松精練</td> </tr> <tr> <td>防火シャッター</td> <td>文化シャッター「レスクリーン」</td> <td>文化シャッター</td> </tr> <tr> <td>ガラスパーティション</td> <td>コマネー「ブリディア」</td> <td>コマネー</td> </tr> <tr> <td>スチールパーティション</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>トイレブース</td> <td>汎用化粧張り小口具、目地ジョイント、非常錠</td> <td>アイカ「メタクアブラス」</td> </tr> <tr> <td>レバーハンドル</td> <td>SUS HL</td> <td>SUS HL</td> </tr> <tr> <td>バーハンドル</td> <td>SUS HL</td> <td>SUS HL</td> </tr> <tr> <td>プレートハンドル</td> <td>ユニオン「UT215」</td> <td>ユニオン</td> </tr> <tr> <td>シリンドー付扉ハンドル</td> <td>ユニオン「ULS2840」</td> <td>ユニオン</td> </tr> </tbody> </table>	(材料名称)	(仕様)	(メーカー・製品名)	防音建具	防音省 一級防音仕様	防音省	アルミサッシ	YKK「SISTEMA31」	YKK	軽鋼製ドア	小松「カムドア」	小松精練	防火シャッター	文化シャッター「レスクリーン」	文化シャッター	ガラスパーティション	コマネー「ブリディア」	コマネー	スチールパーティション	-	-	トイレブース	汎用化粧張り小口具、目地ジョイント、非常錠	アイカ「メタクアブラス」	レバーハンドル	SUS HL	SUS HL	バーハンドル	SUS HL	SUS HL	プレートハンドル	ユニオン「UT215」	ユニオン	シリンドー付扉ハンドル	ユニオン「ULS2840」	ユニオン
(材料名称)	(仕様)	(メーカー・製品名)																																							
防音建具	防音省 一級防音仕様	防音省																																							
アルミサッシ	YKK「SISTEMA31」	YKK																																							
軽鋼製ドア	小松「カムドア」	小松精練																																							
防火シャッター	文化シャッター「レスクリーン」	文化シャッター																																							
ガラスパーティション	コマネー「ブリディア」	コマネー																																							
スチールパーティション	-	-																																							
トイレブース	汎用化粧張り小口具、目地ジョイント、非常錠	アイカ「メタクアブラス」																																							
レバーハンドル	SUS HL	SUS HL																																							
バーハンドル	SUS HL	SUS HL																																							
プレートハンドル	ユニオン「UT215」	ユニオン																																							
シリンドー付扉ハンドル	ユニオン「ULS2840」	ユニオン																																							

特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号30319号) 構造設計一級建築士 (登録番号2423号) 酒井 勲	代表	設計監理部長	検査者	主担当	作成	工事名称 (プロジェクトNo)	160613	図面名称	共通凡例・仕様
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号2462号)						縮尺	年月日	図面番号	A-08
									2018 . 03 .		



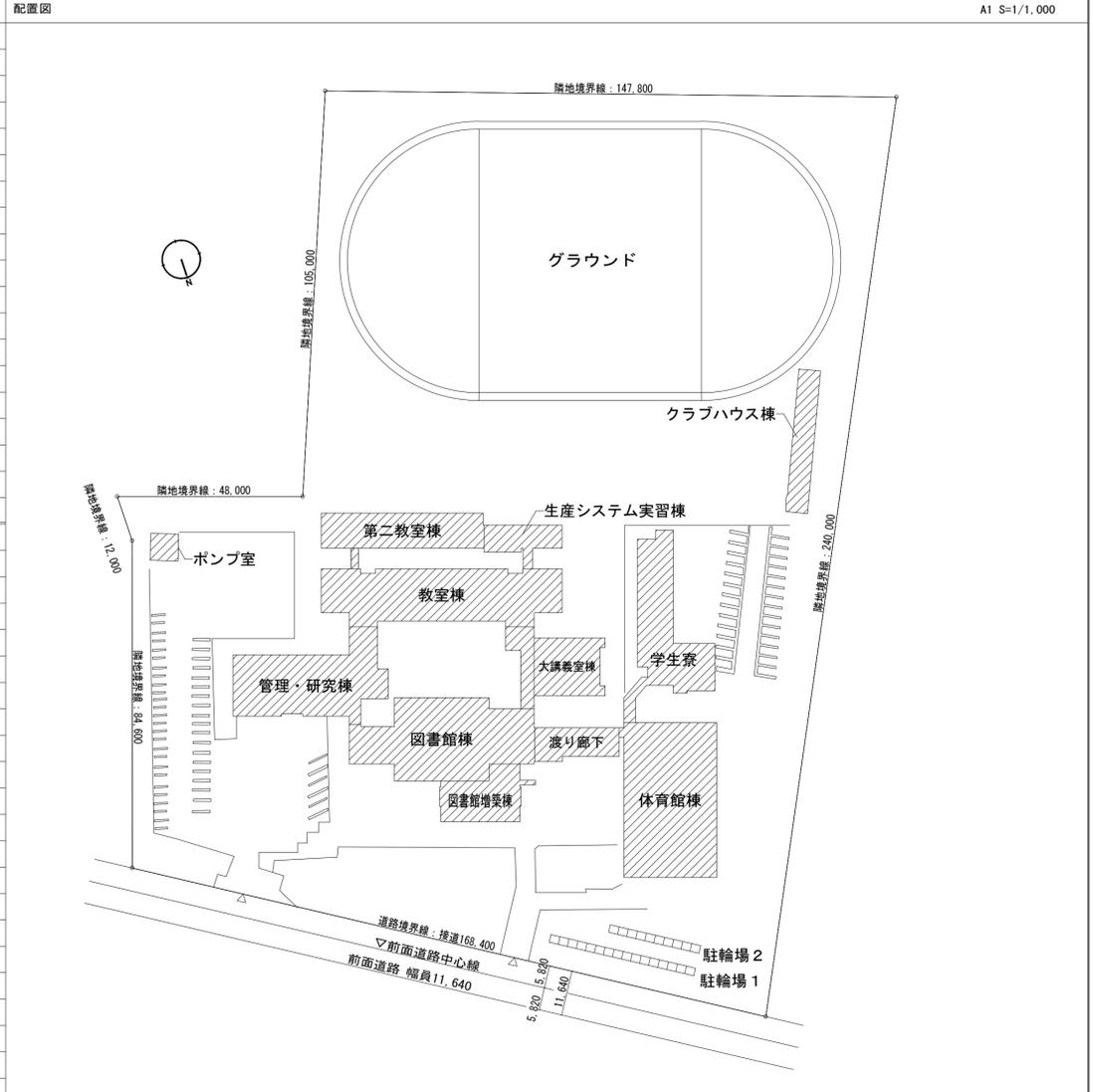
設計概要

一般事項	
工事名称	公立小松大学 栗津キャンパス 校舎整備工事
敷地位置	石川県小松市四町丁1番地3
用途地域	・第1種低層住専 第2種低層住専 第1種中高層住専 ・第2種中高層住専 第1種住居 第2種住居 準住居 ・近隣商業・商業 準工業 工業 工業専用(指定なし)
防火地域	・防火 準防火 法22条の地域 路線防火 指定なし ・2つの地域にわたる場合 (防火 準防火) m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
その他の指定	・美観地区 風致地区(国定公園) 駐車場整備地区 ・土地区画整理事業地区 宅地造成工事規制地区 砂防地区 ・総合的設計による(団地 特定街区 住居系指向地区 ・特別用途地区(第一種特別工業地区) ○景観地域(景観計画地域、白山眺望景観保全区域形成重要地域)
道路巾員	11.640m(接道:168.40m)
敷地面積	33,680.00m <sup>2</sup>
建築面積	5,447.29m <sup>2</sup> (増築部分:20.45m <sup>2</sup> 、既設部分:5,426.84m <sup>2</sup> 、解体部分:14.23m <sup>2</sup> )
本工事部分	増築部分: 59.25m <sup>2</sup> (解体部分:16.57m <sup>2</sup> 、面積増加:42.68m <sup>2</sup> )
本工事以外の部分	既設部分:9,561.16m <sup>2</sup> (解体部分:16.57m <sup>2</sup> を除く)
合計	9,620.41m <sup>2</sup>

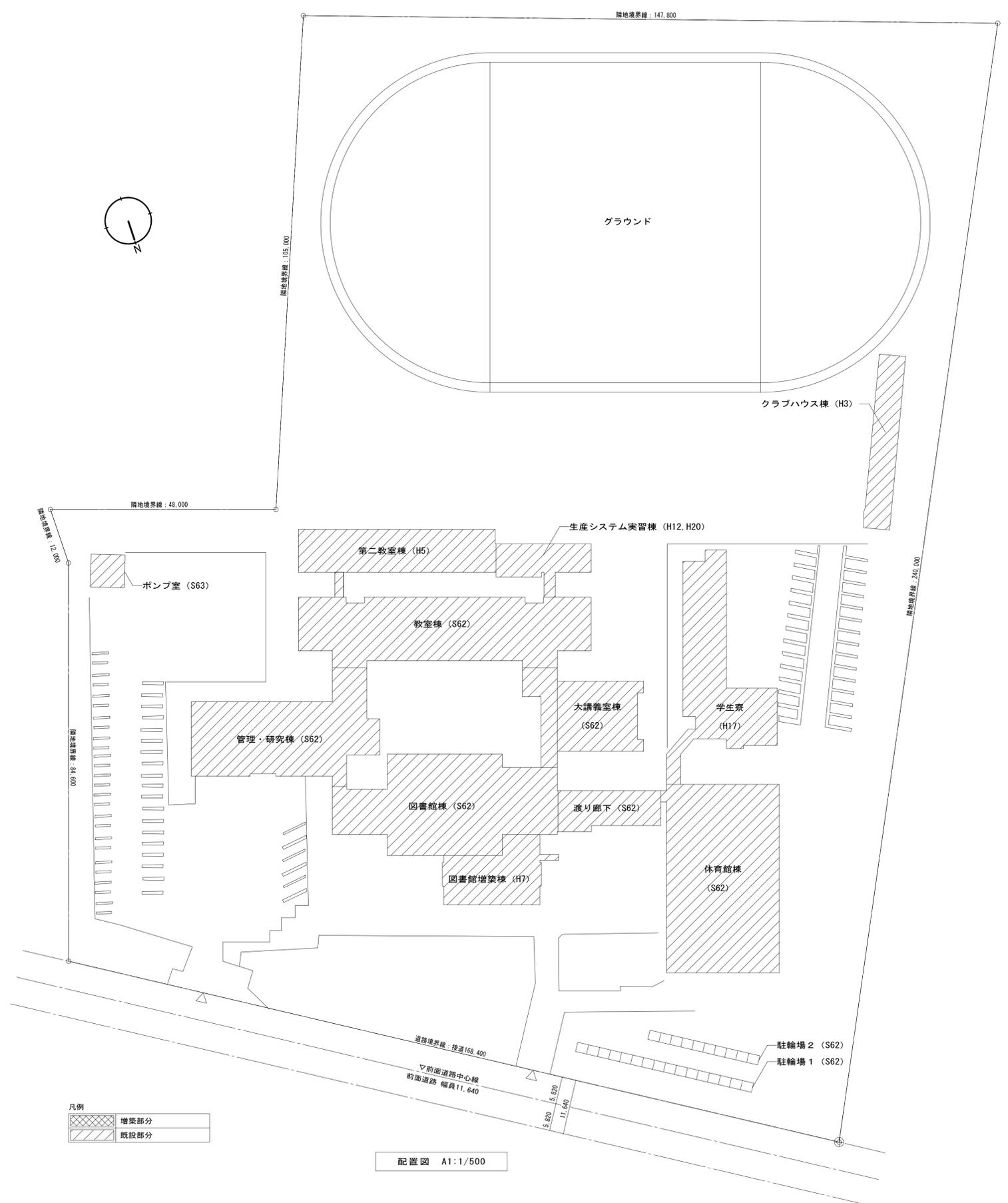
建築主	小松市長 和田 慎司 小松市小馬出町91番地
工事種別	・新築 ○増築 別棟増築・増改築・改築・移転 ・用途変更 大規模の修繕 大規模の模様替え ○改修
主要用途	大学
駐車場等	—
工作物等	—
工期予定	2018年11月1日~2019年3月31日
高度地区	—
高度利用地区	—
斜線規制	○道路斜線 ○隣地境界斜線 北側斜線
総合設計	—
建ぺい率	60%
容積率	200%
日影規制	—



建築物概要(棟別)											
棟名	EV棟	第二教室渡り廊下棟	既設棟名	管理・研究棟	教室棟	大講義室棟	体育館棟	渡り廊下	図書館棟		
建物用途	大学	大学	建物用途	大学	大学	大学	大学	大学	大学		
防火対象物	(7)大学	(7)大学	防火対象物	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学		
工事種別	増築	解体	工事種別	改修	改修	既設	既設	既設	改修		
構造・規模	S造・3階建て	軽量鉄骨造・平屋建て	構造・規模	RC造・3階建て	RC造・3階建て	RC造・2階建て	SRC造・平屋建て	S造・平屋建て	RC造(一部S造)・2階建て		
耐火性能	耐火建築物	準耐火建築物ロ-2	耐火性能	耐火建築物	耐火建築物	耐火建築物	耐火建築物	耐火建築物	耐火建築物		
基礎・杭	直接基礎	直接基礎	建築面積	4,100.25m <sup>2</sup>	管理・研究棟に含む	管理・研究棟に含む	管理・研究棟に含む	管理・研究棟に含む	管理・研究棟に含む		
屋根	シート防水	折版屋根	延べ面積	1,710.25m <sup>2</sup>	2,257.80m <sup>2</sup>	401.20m <sup>2</sup>	960.00m <sup>2</sup>	181.47m <sup>2</sup>	1,560.03m <sup>2</sup>	▽食堂増築	
外壁	押出成形セメント板	GL鋼板	確認済証番号	小松市第5186号	同左	同左	同左	同左	同左	小松5076号	
軒裏	-	-	確認済証年月日	S62-3-19	同左	同左	同左	同左	同左	H7-7-26	
建築面積	20.45m <sup>2</sup>	(14.23m <sup>2</sup> )	検査済証番号	-	同左	同左	同左	同左	同左	132号	
延べ面積	59.25m <sup>2</sup>	(16.57m <sup>2</sup> )	検査済証年月日	S63-2-25	同左	同左	同左	同左	同左	H7-11-8	
各階床面積	階	床面積 m <sup>2</sup>	階高 m	床面積 m <sup>2</sup>	階高 m	各階床面積	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>
	PH	-	-	PH	-	32.41	-	-	-	-	-
	3	18.62	3.270	-	-	28.55	-	-	-	-	-
	2	18.62	4.000	-	-	518.75	747.33	-	-	-	-
	1	22.01	4.000	(16.57)	-	591.17	752.59	44.70	-	-	560.82
合計( ) m <sup>2</sup>	59.25	(16.57)			623.17	757.88	356.50	960.00	181.47	1,560.03	
						合計	1,794.05	2,257.80	401.20	960.00	181.47
						9,182.64					
高さ	イ. 設計GLの指定	教室棟1FL-500	-	既設棟名	生産システム実習棟	第二教室棟	学生寮	クラブハウス棟	ポンプ室	駐輪場1	駐輪場2
	ロ. 標準地盤面の設計	教室棟1FL-500	-	建物用途	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学
	ハ. 建築物の高さ(桁上(床下))	GL+12.070m	-	防火対象物	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学	(7)大学
	ニ. 軒高	GL+11.770m	-	工事種別	改修	改修	既設	既設	既設	既設	既設
	ホ. 最高高さ	GL+12.070m	-	構造・規模	S造・平屋建て	軽量鉄骨造・平屋建て	RC造・4階建て	RC造・平屋建て	軽量鉄骨造・平屋建て	S造・平屋建て	S造・平屋建て
	ヘ. 基礎深さ	GL-1.600m	-	耐火性能	準耐火建築物ロ-2	準耐火建築物ロ-2	耐火建築物	耐火建築物	-	-	-
				建築面積	159.08m <sup>2</sup>	380.92m <sup>2</sup>	467.64m <sup>2</sup>	210.31m <sup>2</sup>	46.24m <sup>2</sup>	62.40m <sup>2</sup>	駐輪場1に含む
				延べ面積	156.58m <sup>2</sup>	▽実習室増築 380.92m <sup>2</sup>	1,490.59m <sup>2</sup>	207.48m <sup>2</sup>	46.24m <sup>2</sup>	76.80m <sup>2</sup>	48.00m <sup>2</sup>
				確認済証番号	小松000228号	小松00053号	小松市第5084号	第H17確更建築石川小松00018号	-	-	小松市第5186号
				確認済証年月日	H12-6-16	H22-6-17	H5-8-3	H17-8-17	H7-7-26	S63-3-3	S62-3-19
備考			検査済証番号	小松市第406号	小松市第00053号	小松市第89号	小松市第195号	-	-	-	
確認済証番号	-	第H17確更建築石川小松00018号	検査済証年月日	H12-9-21	H22-8-23	H5-9-24	H17-8-26	H7-11-8	S63-4-1	S63-2-25	
確認済証年月日	-	H17-8-17	各階床面積	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	床面積 m <sup>2</sup>	
検査済証番号	-	小松市第195号	PH	-	-	4階:347.85	-	-	-	-	
検査済証年月日	-	H17-8-26	3	-	-	347.85	-	-	-	-	
			2	-	-	347.85	-	-	-	-	
			1	156.58	380.92	447.04	207.48	46.24	76.80	48.00	
			合計	156.58	380.92	1,490.59	207.48	46.24	76.80	48.00	
			上段に含む						378.52		



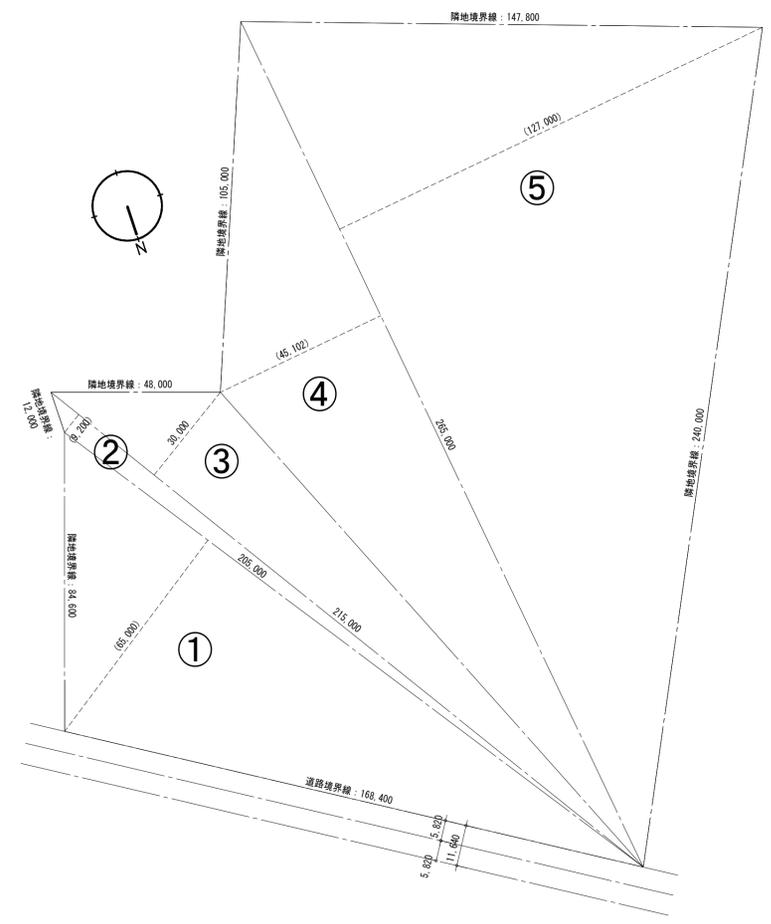
特記事項		確認日	2018.03.03	設計者	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士(登録番号30019号) 構造設計一級建築士(登録番号2423号) 酒井 勲	代表	設計監理部長	確認者	主担当	作成	縮尺	年月日	2018.03.03	図面名称	設計概要	図面番号	A-09
		確認者	一級建築士 設備設計一級建築士 塚原 直(登録番号2462号)	代表	設計監理部長	確認者	主担当	作成	縮尺	年月日	2018.03.03	図面名称	設計概要	図面番号	A-09		



配置図 A1:1/500

凡例

	増築部分
	既設部分



敷地面積求積図 A1:1/250

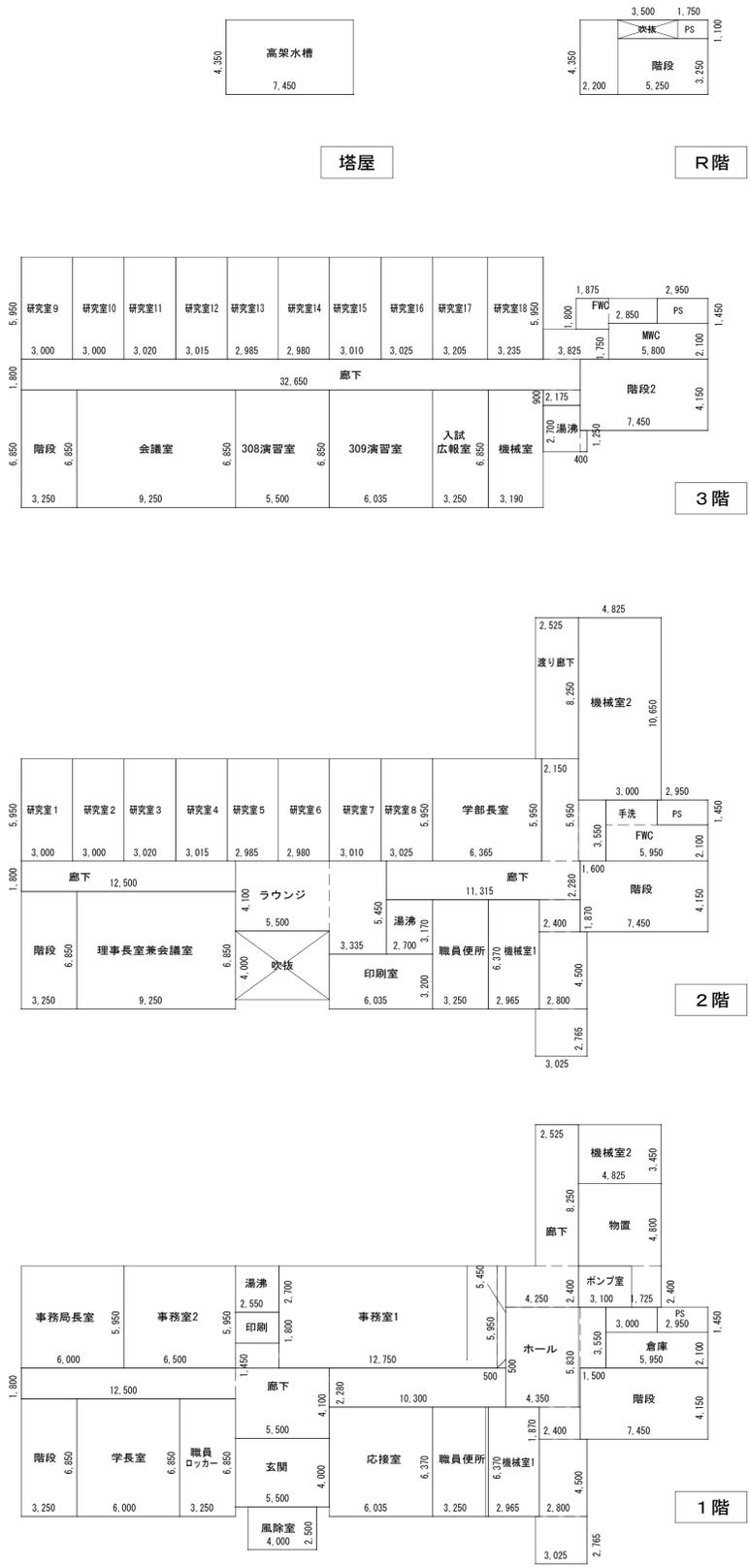
敷地面積求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	215,000	30,000	6,450.000000	3,225.000000
②	205,000	65,000	13,325.000000	6,662.500000
③	215,000	9,200	1,978.000000	989.000000
④	265,000	45,102	11,952.000000	5,976.000000
⑤	265,000	127,000	33,655.000000	16,827.500000
合計				33,680.000000
敷地面積				33,680.00 m <sup>2</sup>

特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号20319号) 構造設計一級建築士 (登録番号2423号) 酒井 聡	代表	設計室長部長	検証者	主担当	作成	縮尺	年月日	図面名称
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 亘 (登録番号2462号)								

<b>雙星設計</b>		工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	図面名称
一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)		公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)	配置図・敷地求積図
		年月日	図面番号
		A1: 1/500 A3: 1/1,000	A-10
		2018 . 03 .	

【管理・研究棟 求積図】



【室面積表 3、R階、塔屋】

階	室名	計算式	面積 (㎡)
塔屋	高架水槽	7.450 × 4.350	32.41
小計			32.41

階	室名	計算式	面積 (㎡)
R階	ホール	2.200 × 4.350	9.57
	階段	5.250 × 3.250	17.06
	P S	1.750 × 1.100	1.92
小計			28.55

階	室名	計算式	面積 (㎡)
3階	研究室9	3.000 × 5.950	17.85
	研究室10	3.000 × 5.950	17.85
	研究室11	3.020 × 5.950	17.97
	研究室12	3.015 × 5.950	17.94
	研究室13	2.985 × 5.950	17.76
	研究室14	2.980 × 5.950	17.73
	研究室15	3.010 × 5.950	17.91
	研究室16	3.025 × 5.950	18.00
	研究室17	3.205 × 5.950	19.07
	研究室18	3.235 × 5.950	19.25
	階段	3.250 × 6.850	22.26
	会議室	9.250 × 6.850	63.36
	308演習室	5.500 × 6.850	37.67
	309演習室	6.035 × 6.850	41.34
	入試広報室	3.250 × 6.850	22.26
	機械室	3.190 × 6.850	21.85
	湯沸	2.700 × 2.700 + 0.400 × 1.250	6.37
	廊下	32.650 × 1.800 + 3.825 × 1.750 + 2.175 × 0.900	67.42
階段	7.450 × 4.150	30.92	
MVC	5.800 × 2.100	12.18	
FWC	2.850 × 1.450 + 1.875 × 1.800	7.51	
P S	2.950 × 1.450	4.28	
小計			518.75

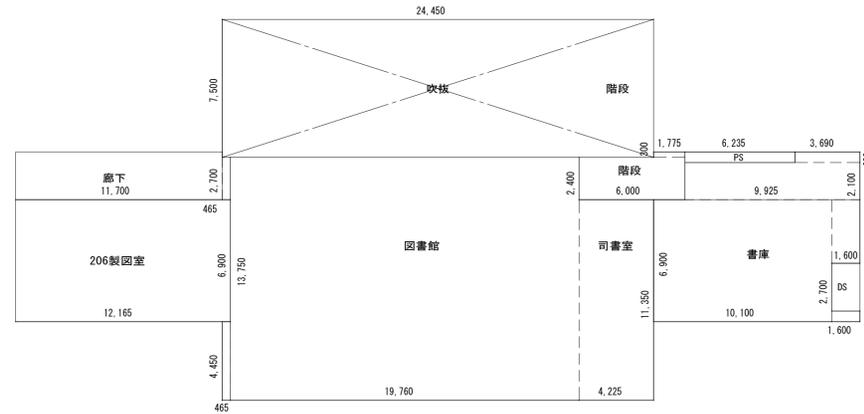
【室面積表 1、2階】

階	室名	計算式	面積 (㎡)
2階	研究室1	3.000 × 5.950	17.85
	研究室2	3.000 × 5.950	17.85
	研究室3	3.020 × 5.950	17.97
	研究室4	3.015 × 5.950	17.94
	研究室5	2.985 × 5.950	17.76
	研究室6	2.980 × 5.950	17.73
	研究室7	3.010 × 5.950	17.91
	研究室8	3.025 × 5.950	18.00
	学部長室	6.365 × 5.950	37.87
	廊下	12.500 × 1.800	22.50
	階段	3.250 × 6.850	22.26
	理事長室兼会議室	9.250 × 6.850	63.36
	ラウンジ	5.500 × 4.100 + 3.335 × 5.450	40.73
	印刷室	6.035 × 3.200	19.31
湯沸	2.700 × 3.170	8.56	
職員便所	3.250 × 6.370	20.70	
機械室	2.965 × 6.370	18.89	
廊下・渡り廊下	11.315 × 2.280 + 2.400 × 1.870 + 2.800 × 4.500 + 3.025 × 2.765 + 1.600 × 3.550 + 2.150 × 5.950 + 2.525 × 8.250	90.55	
機械室2	4.825 × 10.650	51.39	
階段	7.450 × 4.150	30.92	
FWC	5.950 × 2.100 + 3.000 × 1.450	16.84	
P S	2.950 × 1.450	4.28	
小計			591.17

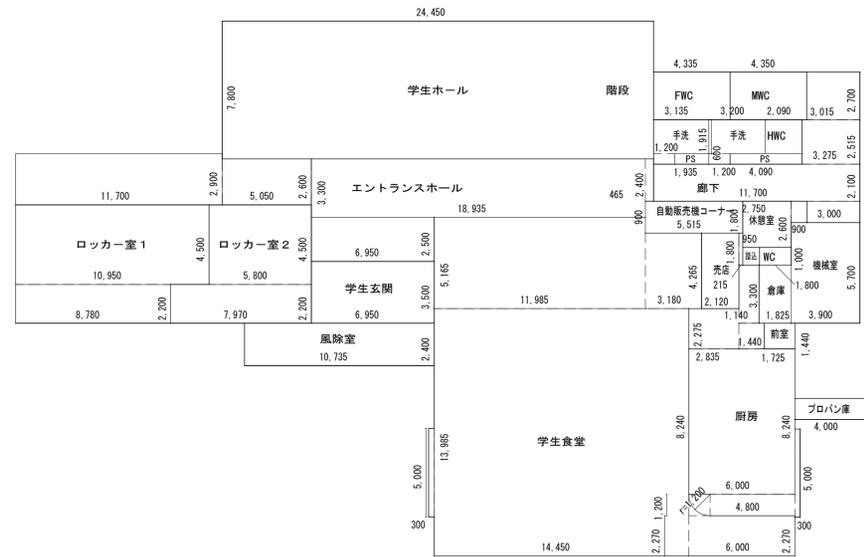
階	室名	計算式	面積 (㎡)
1階	風除室	4.000 × 2.500	10.00
	玄関	5.500 × 4.000	22.00
	廊下	5.500 × 4.100 + 12.500 × 1.800 + 10.300 × 2.280 + 0.500 × 0.500 ÷ 2	68.66
	事務局長室	6.000 × 5.950	35.70
	事務室1	12.750 × 5.950 + 2.550 × 1.450 + ( 5.950 + 5.450 ) × 0.500 ÷ 2	82.41
	事務室2	6.500 × 5.950	38.68
	湯沸	2.550 × 2.700	6.88
	印刷	2.550 × 1.800	4.59
	階段	3.250 × 6.850	22.26
	学長室	6.000 × 6.850	41.10
	職員ロッカー	3.250 × 6.850	22.26
	応接室	6.035 × 6.370	38.44
	職員便所	3.250 × 6.370	20.70
	機械室1	2.965 × 6.370	18.89
	ホール・廊下	4.350 × 5.830 + 2.400 × 1.870 + 2.800 × 4.500 + 1.500 × 3.550 + 4.250 × 2.400 + 2.525 × 8.250	87.17
	階段	7.450 × 4.150	30.92
	倉庫	5.950 × 2.100 + 3.000 × 1.450	16.84
P S	2.950 × 1.450	4.28	
ポンプ室	3.100 × 2.400	7.44	
物置	4.825 × 4.800 + 1.725 × 2.400	27.30	
機械室2	4.825 × 3.450	16.65	
小計			623.17

合計	1794.05
----	---------

【図書館棟 求積図】



2階



1階

【室面積表】

階	室名	計算式	面積 (㎡)
2階	図書館・司書室	19.760 × 13.750 + 0.465 × 4.450	321.72
		+ 4.225 × 11.350	
	書庫	10.100 × 6.900 + 9.925 × 2.100	99.47
		+ 3.690 × 0.600 + 1.600 × 3.600	
		+ 1.600 × 0.600	
	PS	6.235 × 0.600	3.74
	D S	1.600 × 2.700	4.32
	階段	6.000 × 2.400 + 1.775 × 0.300	14.93
	206製図書	12.165 × 6.900	83.94
	廊下	11.700 × 2.700 + 0.465 × 2.400	32.70
	小計		560.82

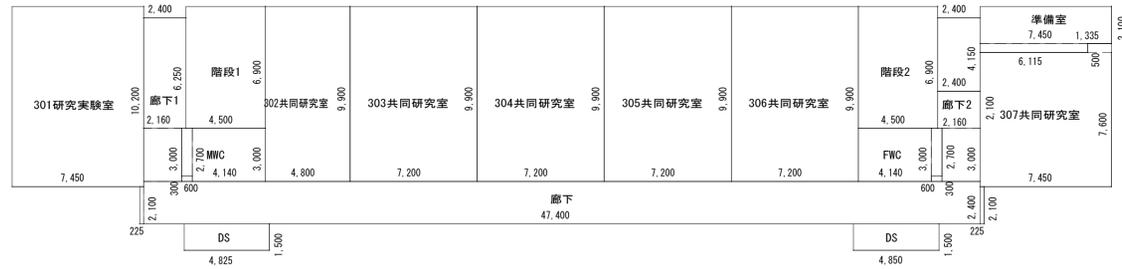
1階	風除室	10.735 × 2.400	25.76
	学生玄関	6.950 × 3.500	24.32
	エントランスホール	11.700 × 2.900 + 5.050 × 2.600 + 18.935 × 3.300 + 0.465 × 2.400 + 6.950 × 2.500	128.04
	学生ホール	24.450 × 7.800	190.71
	ロッカー室1	10.950 × 4.500 + 8.780 × 2.200	68.59
	ロッカー室2	5.800 × 4.500 + 7.970 × 2.200	43.64
	学生食堂	14.450 × 13.985 + 0.300 × 5.000 + 11.985 × 5.165 + 3.180 × 4.265 + 6.000 × 2.270 + 1.200 × 1.200 - 1.200 × 1.200 × 3.140 ÷ 4	292.98
	厨房	6.000 × 8.240 + 2.835 × 2.275 + 1.440 × 1.440 + 1.140 × 3.300 + 0.300 × 5.000 + 4.800 × 1.200 + 1.200 × 1.200 × 3.140 ÷ 4	70.12
	前室	1.725 × 1.440	2.49
	倉庫	1.825 × 3.300	6.02
	踏込	0.950 × 1.000	0.95
	WC	1.800 × 1.000	1.80
	休憩室	2.750 × 2.600 + 0.900 × 1.200	8.23
	売店	2.120 × 4.265 + 0.215 × 1.800	9.43
	自販機コーナー	5.515 × 1.800	9.93
	機械室	3.900 × 5.700	22.23
	プロパン庫	4.000 × 1.200	4.80
	廊下	11.700 × 2.100 + 3.000 × 1.200 3.275 × 2.515 + 3.015 × 2.700	44.55
	FWC	4.335 × 2.700	11.70
	手洗	3.135 × 1.915 + 1.200 × 0.600	6.72
	MWC	4.350 × 2.700	11.74
	手洗	3.200 × 1.915 + 1.200 × 0.600	6.85
	HWC	2.090 × 1.915	4.00
	P S	1.935 × 0.600	1.16
	P S	4.090 × 0.600	2.45
	小計		999.21

合計	1560.03
----	---------

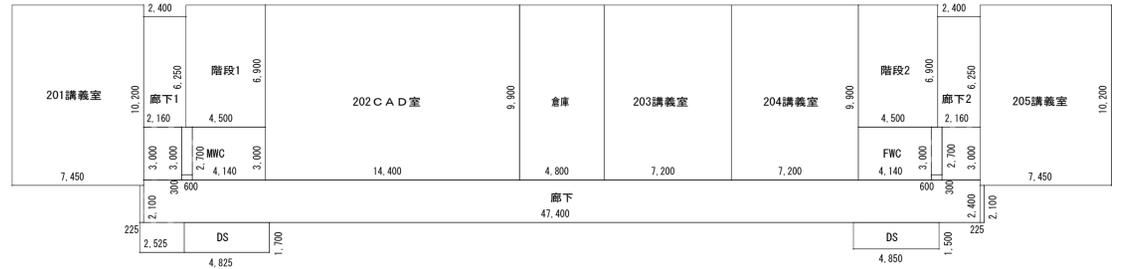
※H22.6.17 生産システム実習棟増築工事 確認申請の延べ床面積にはH7.7.26 図書館棟食堂増築工事の増築面積が反映されていないため、面積を加算して延べ床面積を修正  
 ※H7.7.26 図書館棟食堂増築工事 確認申請の面積算定に誤りがあるため、増築面積を22.92㎡⇒221.32㎡に修正

特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号30319号) 構造設計一級建築士 (登録番号2423号) 酒井 勲		工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	図面名称
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号2462号)		代表 設計監理部長 検証者 主担当 作成	公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)
				縮尺 年月日	図面番号
				A1 : 1/200 A3 : 1/400 2018 . 03 .	A-12

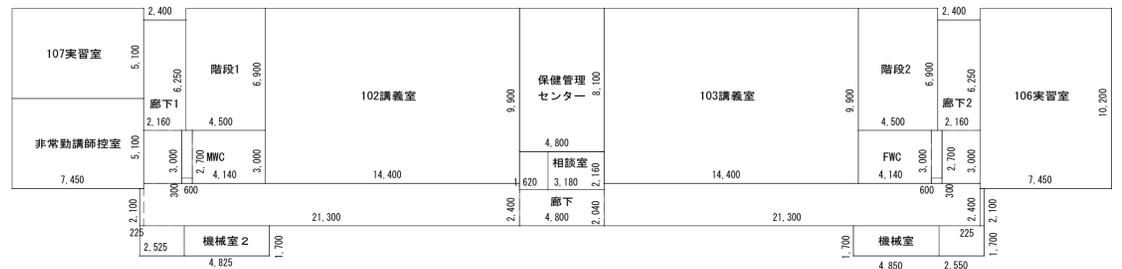
【教室棟 求積図】



3階



2階



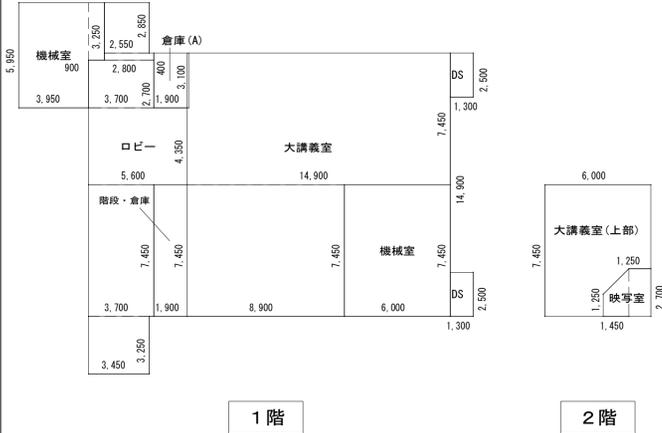
1階

【室面積表】

階	室名	計算式	面積 [㎡]
			既設部
3階	廊下 1	$2.400 \times 6.250 + 2.160 \times 3.000 + 0.600 \times 0.300$	21.66
	廊下 2	$2.400 \times 2.100 + 2.160 \times 3.000 + 0.600 \times 0.300$	11.70
	廊下	$47.400 \times 2.400 + 0.225 \times 2.100 \times 2$	114.71
	301研究実験室	$7.450 \times 10.200$	75.99
	302共同研究室	$4.800 \times 9.900$	47.52
	303共同研究室	$7.200 \times 9.900$	71.28
	304共同研究室	$7.200 \times 9.900$	71.28
	305共同研究室	$7.200 \times 9.900$	71.28
	306共同研究室	$7.200 \times 9.900$	71.28
	準備室	$7.450 \times 2.100 + 6.115 \times 0.500 + 2.400 \times 4.150$	28.66
	307共同研究室	$7.450 \times 7.600 + 0.500 \times 1.335$	57.29
	階段 (東側)	$4.500 \times 6.900$	31.05
	階段 (西側)	$4.500 \times 6.900$	31.05
	MWC	$0.600 \times 2.700 + 4.140 \times 3.000$	14.04
	FWC	$0.600 \times 2.700 + 4.140 \times 3.000$	14.04
	DS (東側)	$4.825 \times 1.500$	7.23
	DS (西側)	$4.850 \times 1.500$	7.27
小計		747.33	
2階	廊下 1	$2.400 \times 6.250 + 2.160 \times 3.000 + 0.600 \times 0.300$	21.66
	廊下 2	$2.400 \times 6.250 + 2.160 \times 3.000 + 0.600 \times 0.300$	21.66
	廊下	$47.400 \times 2.400 + 0.225 \times 2.100 \times 2 + 2.525 \times 1.700$	119.00
	小講義室 1	$7.450 \times 10.200$	75.99
	202CAD室	$14.400 \times 9.900$	142.56
	倉庫	$4.800 \times 9.900$	47.52
	203講義室	$7.200 \times 9.900$	71.28
	204講義室	$7.200 \times 9.900$	71.28
	205講義室	$7.450 \times 10.200$	75.99
	階段 (東側)	$4.500 \times 6.900$	31.05
	階段 (西側)	$4.500 \times 6.900$	31.05
	MWC	$0.600 \times 2.700 + 4.140 \times 3.000$	14.04
	FWC	$0.600 \times 2.700 + 4.140 \times 3.000$	14.04
	DS (東側)	$4.825 \times 1.700$	8.20
	DS (西側)	$4.850 \times 1.500$	7.27
	小計		752.59
	1階	廊下 1	$2.400 \times 6.250 + 2.160 \times 3.000 + 0.600 \times 0.300$
廊下 2		$2.400 \times 6.250 + 2.160 \times 3.000 + 0.600 \times 0.300$	21.66
廊下		$2.525 \times 1.700 + 0.225 \times 2.100 + 21.300 \times 2.400 + 4.800 \times 2.040 + 1.620 \times 2.160 + 21.300 \times 2.400 + 0.225 \times 2.100 + 2.550 \times 1.700$	125.10
107実習室		$7.450 \times 5.100$	37.99
非常勤講師控室		$7.450 \times 5.100$	37.99
102講義室		$14.400 \times 9.900$	142.56
保健管理センター		$4.800 \times 8.100$	38.88
相談室		$3.180 \times 2.160$	6.87
103講義室		$14.400 \times 9.900$	142.56
106実習室		$7.450 \times 10.200$	75.99
階段 (東側)		$4.500 \times 6.900$	31.05
階段 (西側)		$4.500 \times 6.900$	31.05
MWC		$0.600 \times 2.700 + 4.140 \times 3.000$	14.04
FWC		$0.600 \times 2.700 + 4.140 \times 3.000$	14.04
機械室 2		$4.825 \times 1.700$	8.20
機械室		$4.850 \times 1.700$	8.24
小計			757.88
合計		2257.80	

特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号 30318 号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号) 酒井 勲		工事名称 (プロジェクトNo. 160613 ) 公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)	図面名称 求積図・面積表 (3)
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462 号)		代表   設計監理部長   検証者   主担当   作成	縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400

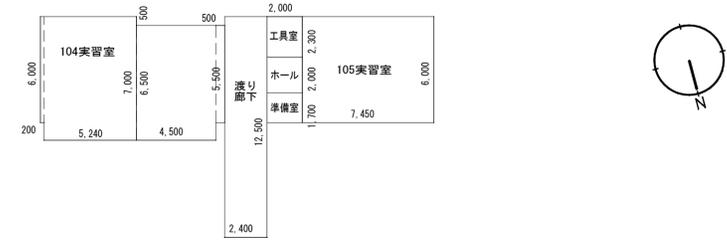
【大講義室棟 求積図】



【室面積表】

階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
2階	大講義室(上部)	$6.000 \times 7.450 - 6.24$	38.46
	映写室	$1.250 \times 2.700 + (1.250 + 2.700) \times 1.450 / 2$	6.24
	小計		44.70
1階	ロビー	$2.550 \times 2.850 + 2.800 \times 0.400 + 3.700 \times 2.700 + 5.600 \times 4.350 + 3.700 \times 7.45 + 3.450 \times 3.250$	81.52
	倉庫(A)	$1.900 \times 3.100$	5.89
	階段・倉庫	$1.900 \times 7.450$	14.16
	大講義室	$14.900 \times 7.450 + 8.900 \times 7.450$	177.31
	(大講義室下)機械室	$6.000 \times 7.450$	44.70
	DS	$1.300 \times 2.500$	3.25
	DS	$1.300 \times 2.500$	3.25
	機械室	$3.950 \times 5.950 + 0.900 \times 3.250$	26.42
小計		356.50	
合計		401.20	

【生産システム実習棟 求積図】



【室面積表】

階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
1階	渡り廊下	$2.400 \times 12.500$	30.00
	104実習室	$0.200 \times 6.000 + 5.240 \times 7.000 + 4.500 \times 6.500 + 0.500 \times 5.500$	69.88
	105実習室	$7.450 \times 6.000$	44.70
	工具室	$2.000 \times 2.300$	4.60
	ホール	$2.000 \times 2.000$	4.00
	準備室	$2.000 \times 1.700$	3.40
合計		156.58	

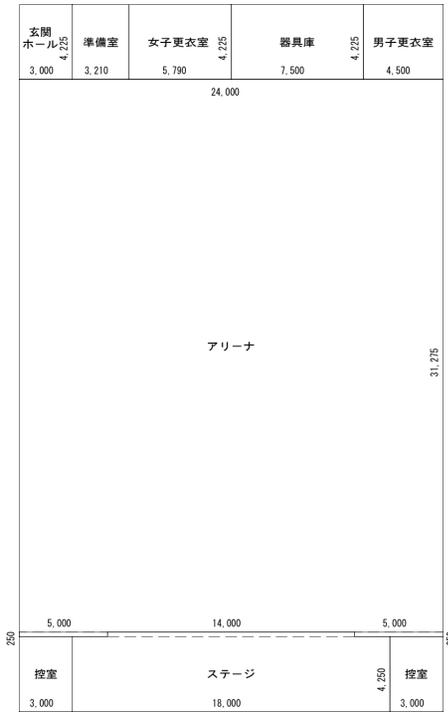
【渡り廊下棟 求積図】



【室面積表】

階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
1階	渡り廊下	$23.245 \times 2.400$	55.79
	職員休憩室	$7.025 \times 5.000 + 7.275 \times 1.300$	44.58
	クラブ室	$3.000 \times 5.000$	15.00
	クラブ室	$3.000 \times 5.000$	15.00
	クラブ室	$3.000 \times 5.000$	15.00
	クラブ室	$3.000 \times 5.000$	15.00
	クラブ室	$3.000 \times 5.000$	15.00
	クラブ室	$3.000 \times 5.000$	15.00
	PS	$1.220 \times 5.000$	6.10
	合計		181.47

【体育館棟 求積図】



【室面積表】

階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
1階	玄関ホール	$3.000 \times 4.225$	12.68
	準備室	$3.210 \times 4.225$	13.56
	女子更衣室	$5.790 \times 4.225$	24.46
	器具庫	$7.500 \times 4.225$	31.69
	男子更衣室	$4.500 \times 4.225$	19.01
	アリーナ	$24.000 \times 31.275 + 0.250 \times 5.000 \times 2$	753.10
	控室	$3.000 \times 4.250$	12.75
	ステージ	$18.000 \times 4.250 + 14.000 \times 0.250$	80.00
	控室	$3.000 \times 4.250$	12.75
合計		960.00	

【第二教室棟 求積図】



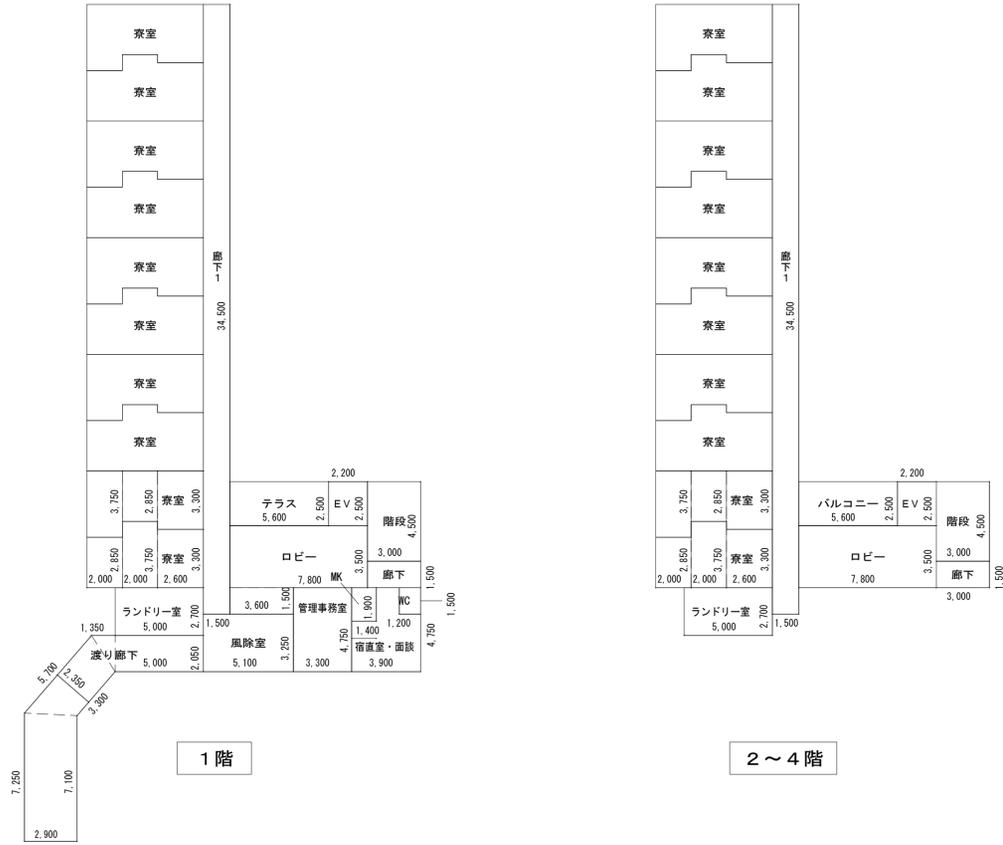
【室面積表】

階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
1階	廊下	$20.930 \times 1.820$	38.09
	108研究実験室	$12.740 \times 7.280 + 5.460 \times 1.820$	102.68
	109研究実験室	$13.650 \times 7.280$	99.37
	110研究実験室	$15.470 \times 9.100$	140.78
	合計		380.92

特記事項	

確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号 30319 号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号) 酒井 勲	代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	工事名称 (プロジェクトNo. 160613 ) 公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)	図面名称 求積図・面積表 (4)
確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462 号)						年月日 2018 . 03 .	図面番号 A-14

【学生寮 求積図】

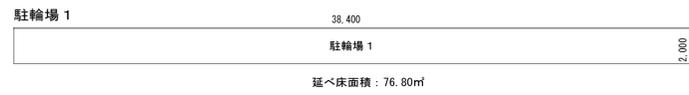


【室面積表】

階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
2~4階	ロビー	7.800 × 3.500	27.30
	EV	2.200 × 2.500	5.50
	階段	3.000 × 4.500	13.50
	廊下	3.000 × 1.500	4.50
	バルコニー	5.600 × 2.500	14.00
	廊下1	1.500 × 34.500	51.75
	寮室 (各階10室)	(2.000 × 2.850 + 2.000 × 3.750 + 2.600 × 3.300) × 10	217.80
	ランドリー室	5.000 × 2.700	13.50
小計			347.85

1階	渡り廊下	5.000 × 2.05 + 2.05 × 1.35/2 + (3.30 + 5.70) × 2.35/2 + (7.10 + 7.25) × 2.90/2	43.02
	風除室	5.100 × 3.250	16.58
	ロビー	7.800 × 3.500 + 3.600 × 1.500	32.70
	EV	2.200 × 2.500	5.50
	階段	3.000 × 4.500	13.50
	廊下	3.000 × 1.500	4.50
	宿直・面談室	3.900 × 4.750 - 1.400 × 1.900 - 1.200 × 1.500	14.06
	WC	1.200 × 1.500	1.80
	MK	1.400 × 1.900	2.66
	管理事務室	3.300 × 4.750	15.67
	テラス	5.600 × 2.500	14.00
	廊下1	1.500 × 34.500	51.75
	寮室 (10室)	(2.000 × 2.850 + 2.000 × 3.750 + 2.600 × 3.300) × 10	217.80
	ランドリー室	5.000 × 2.700	13.50
小計			447.04

合計	347.85 × 3F + 447.04	1490.59
----	----------------------	---------



$3.14 \times 10 \times 1040 / 360 - 1/2 \times 6.82 \times 9.4 = 2.83$

延べ床面積：207.48m<sup>2</sup>  
建築面積：210.31m<sup>2</sup>

【室面積表】

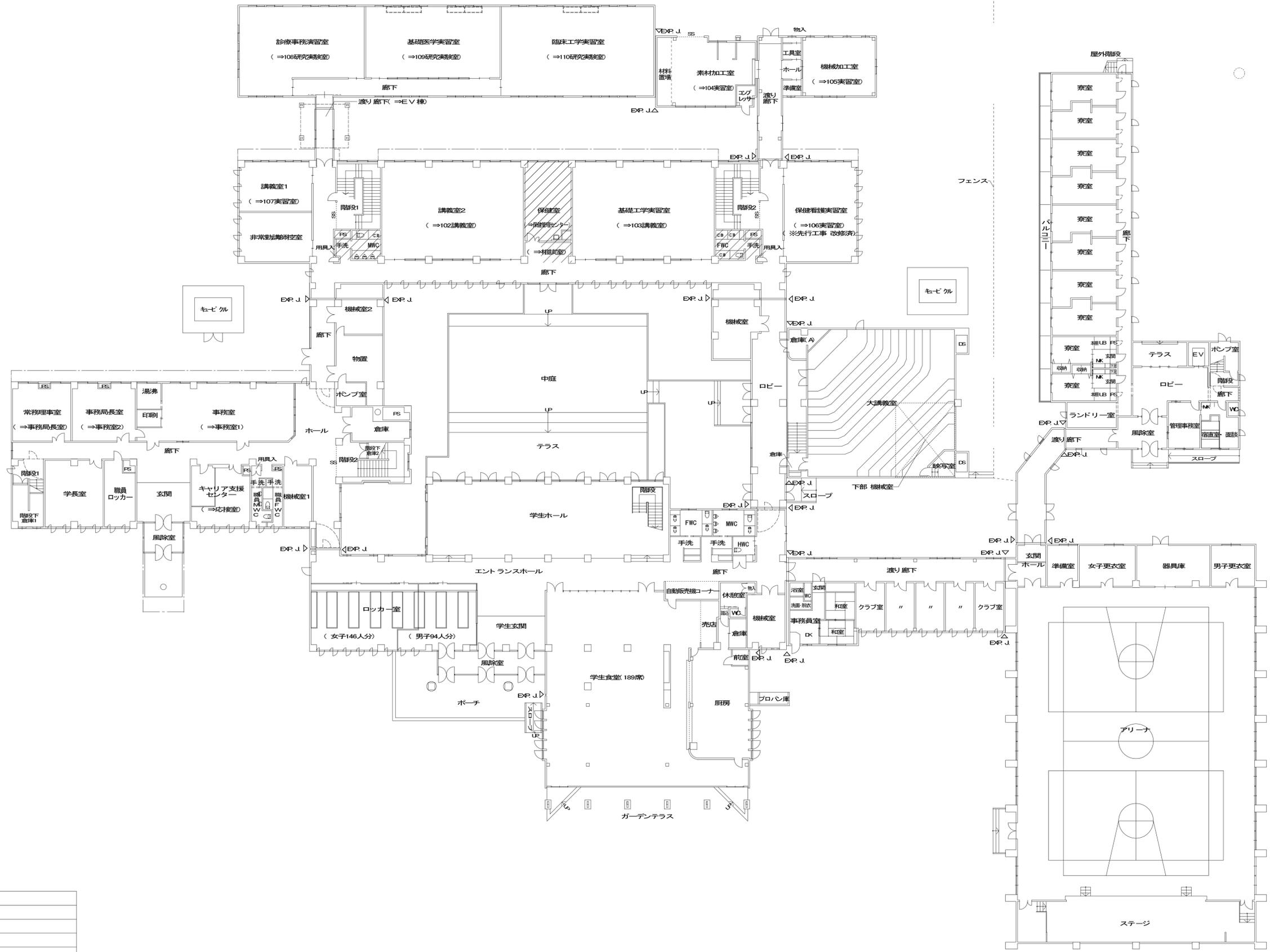
階	室名	計算式	面積[m <sup>2</sup> ]
1階	クラブ室1	4.600 × 5.600	25.76
	クラブ室2	4.600 × 5.600	25.76
	クラブ室3	4.600 × 5.600	25.76
	クラブ室4	4.600 × 5.600	25.76
	クラブ室5	4.600 × 5.600	25.76
	クラブ室6	4.600 × 5.600	25.76
	倉庫	3.800 × 5.600	21.28
	女子便所	CAD測定	15.56
	男子便所	CAD測定	16.08
合計			207.48

特記事項	

確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号 30319 号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号) 酒井 勲
確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462 号)

<b>雙星設計</b>			
代表	設計監理部長	検証者	主担当
作成			

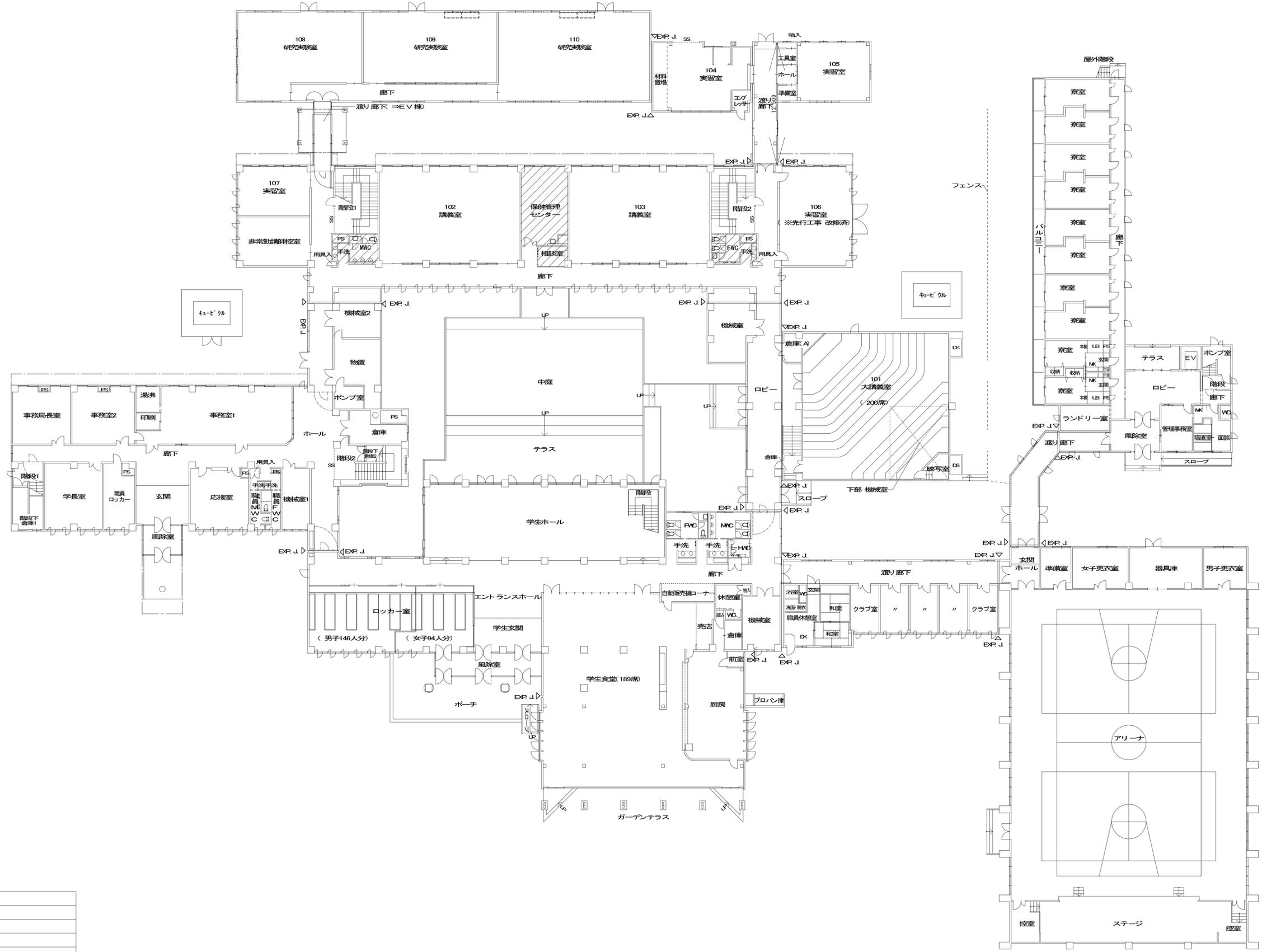
工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	図面名称
公立小松大学 栗津キャンパス校舎整備工事 (1期) (建築)	求積図・面積表 (5)
年月日	図面番号
縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	2018 . 03 . A-15



凡例	
	改修範囲

特記事項	確認日		<b>双星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号) 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 プロジェクトNo. 160613 ) 公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)	図面名称 <b>1階平面図 改修前</b>
	確認者	一級建築士 横道 隆一 (登録番号 209319号) 一級建築士 酒井 豊 (登録番号 2423号)			
		設備設計 一級建築士 塚原 亘 (登録番号 2462号)		縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	年月日 2018. 03 .

改修前

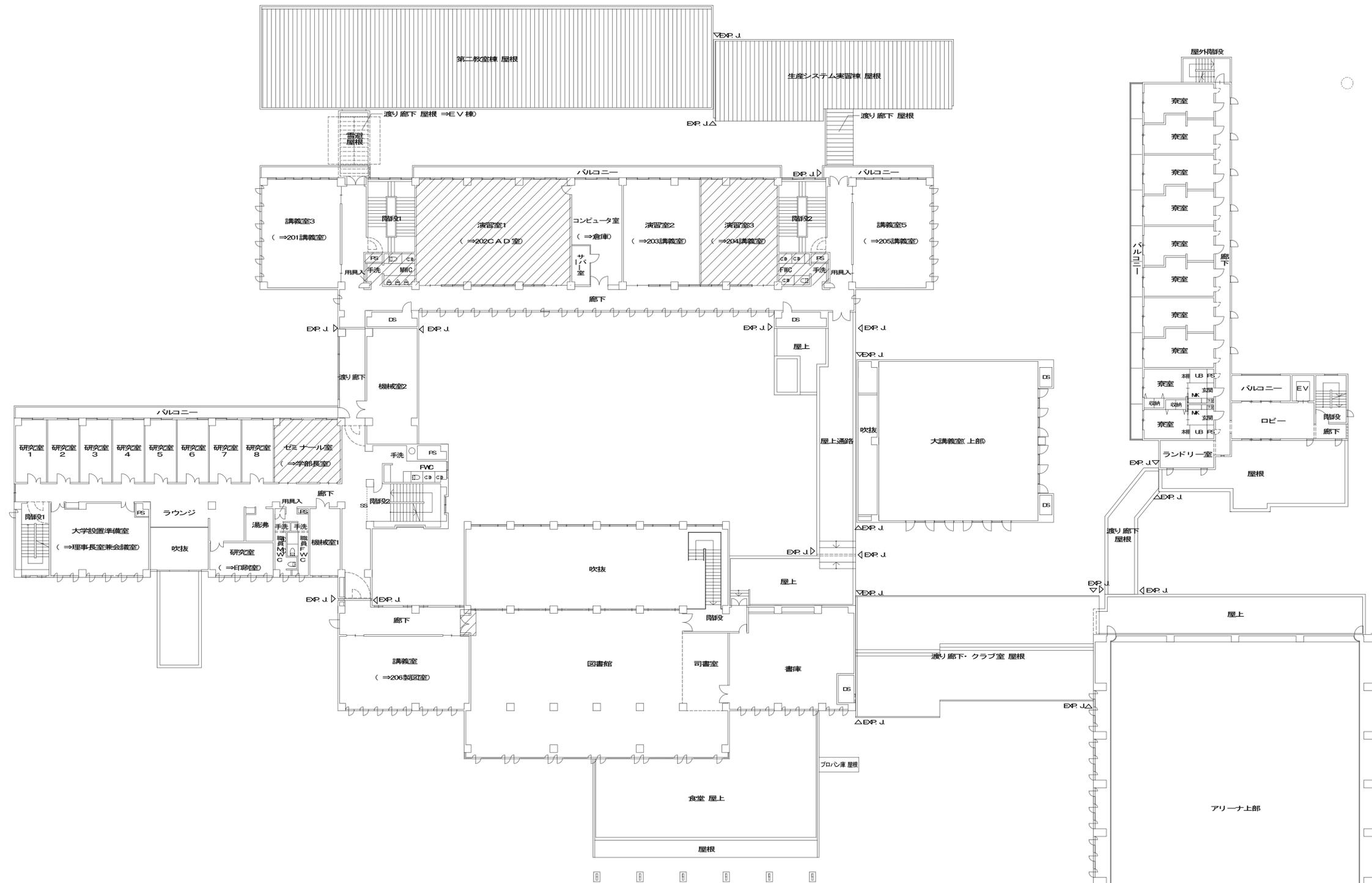


凡例

	改修範囲

改修後

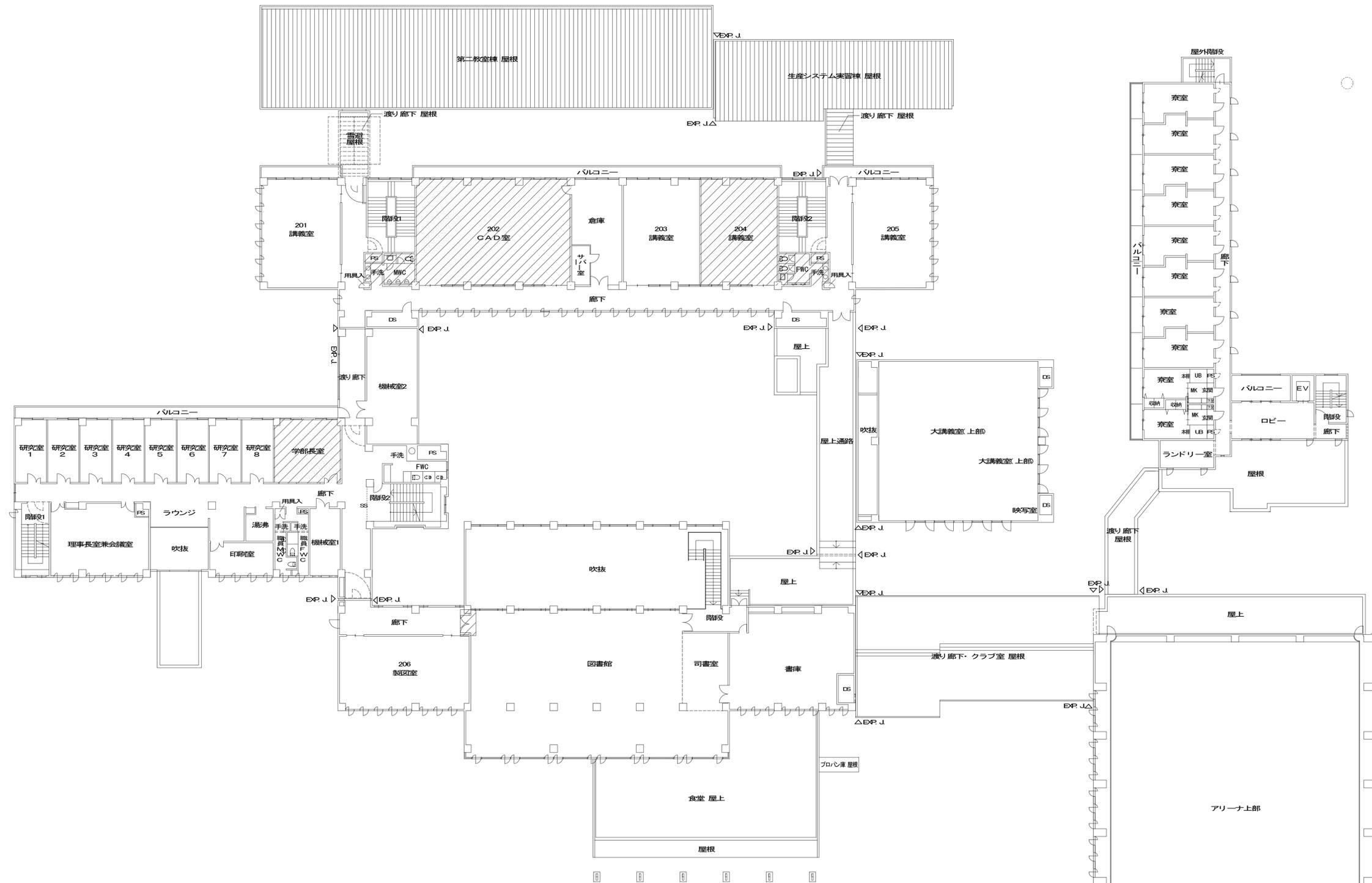
特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号 209319号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423号) 酒井 聡	代表	設計監理部長	確認者	主担当	作成	工事名称 プロジェクトNo. 160613 公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)	図面名称 1階平面図 改修後
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462号)							



凡例	
	改修範囲

改修前

特記事項		確認日		<b>雙星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 プロジェクトNo. 160613 ) 公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)	図面名称 <b>2階平面図 改修前</b>
			確認者 設備設計一級建築士 塚原 亘 (登録番号 2462号)			



凡例

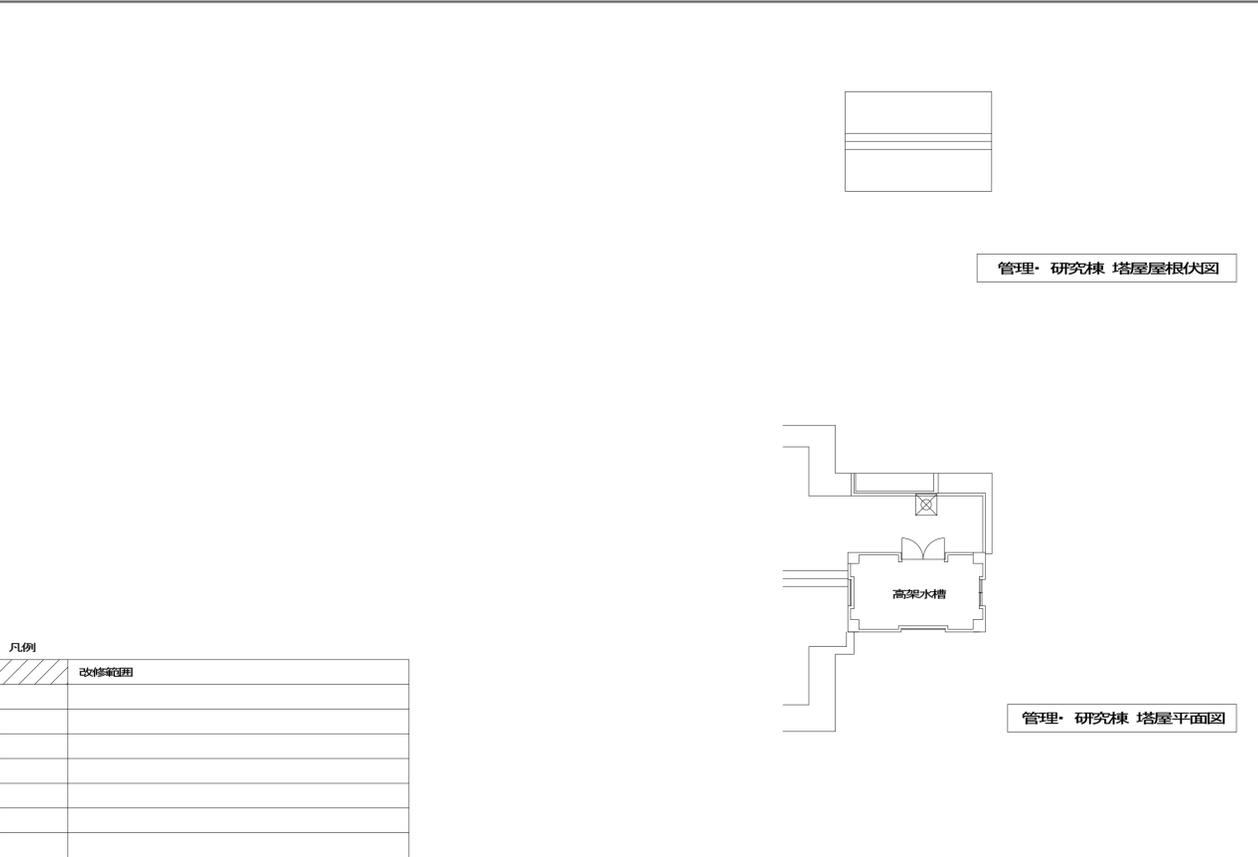
	改修範囲

改修後

特記事項	確認日		<b>雙星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 プロジェクトNo. 160613 ) 公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)	図面名称 2階平面図 改修後
	確認者	一級建築士 構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号 209319号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423号) 酒井 徹			
		設備設計一級建築士 塚原 亘 (登録番号 2462号)	年月日 2018. 03 .	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	

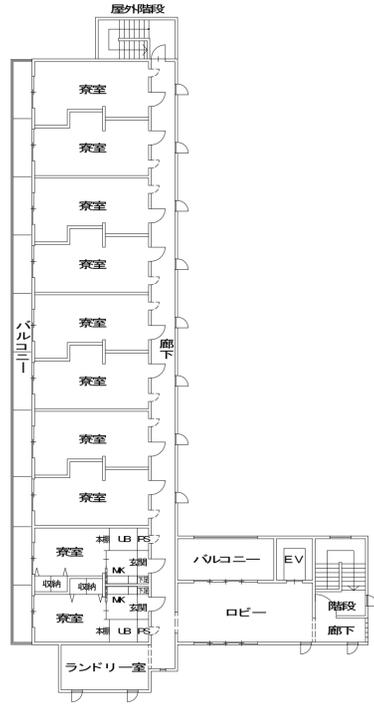
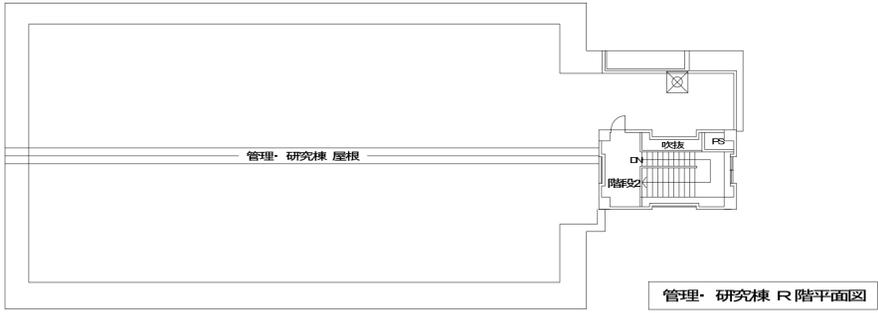
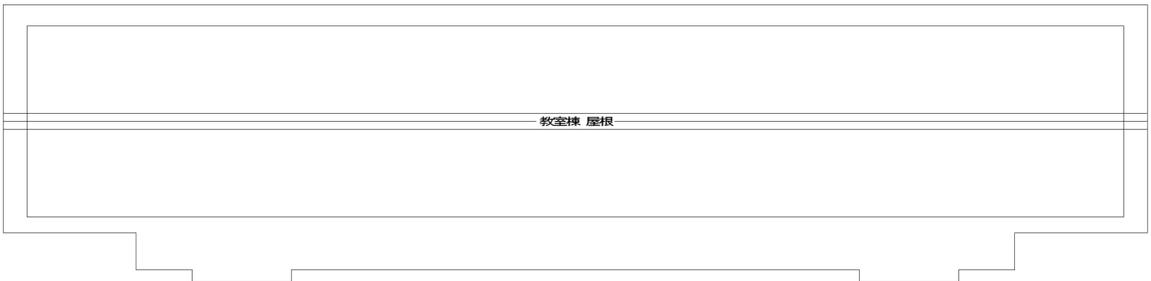






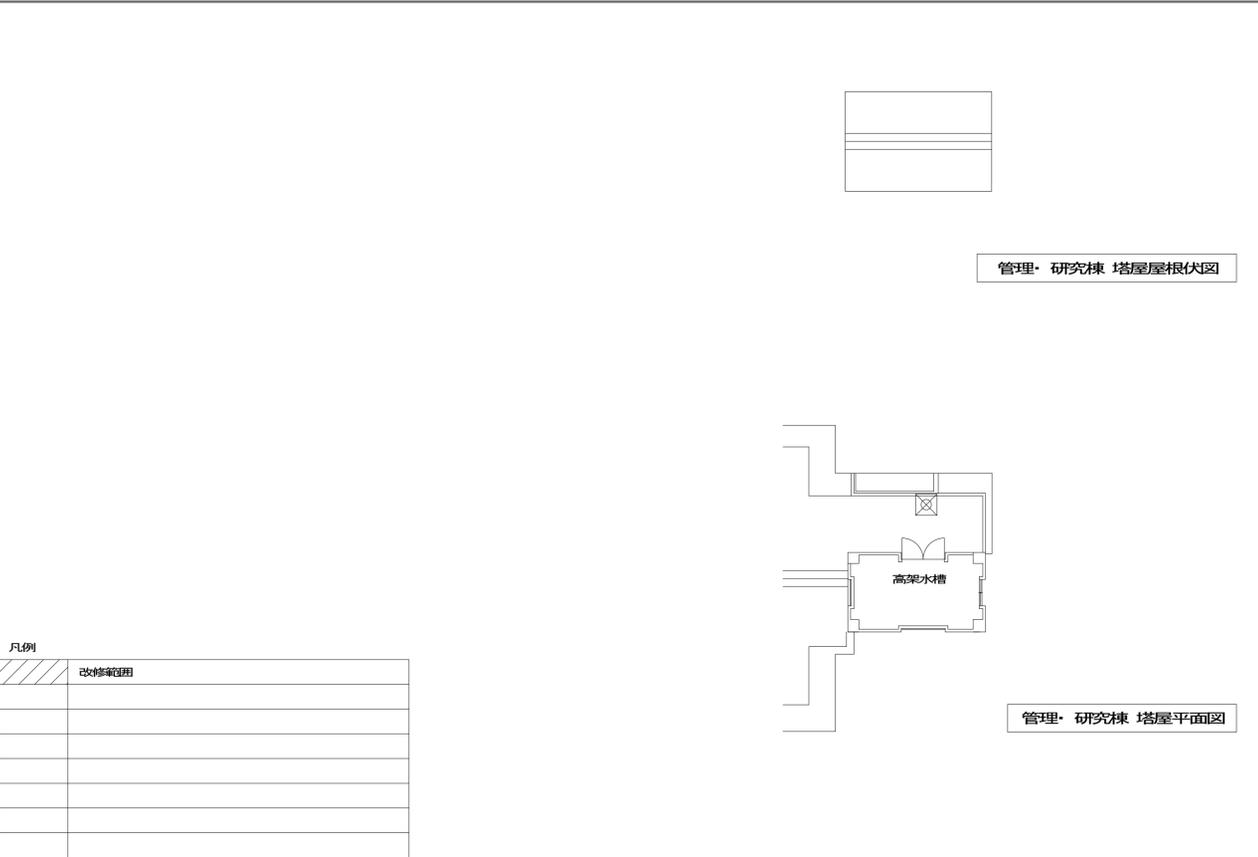
凡例

	改修範囲

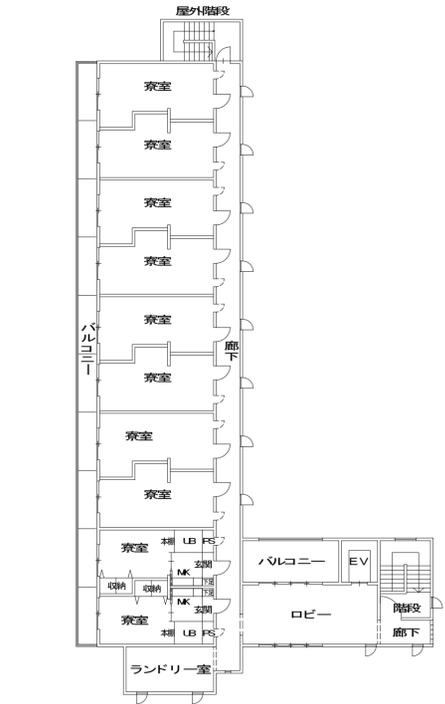
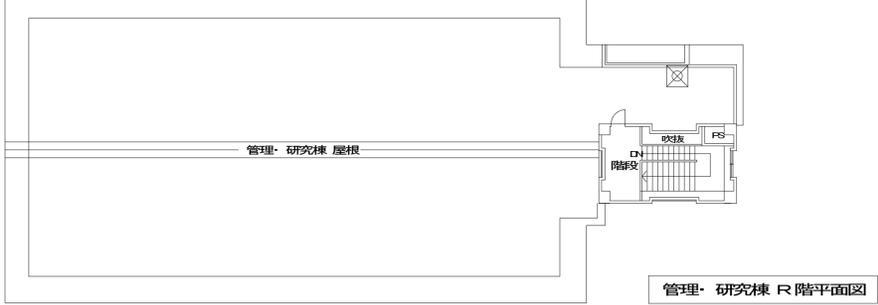
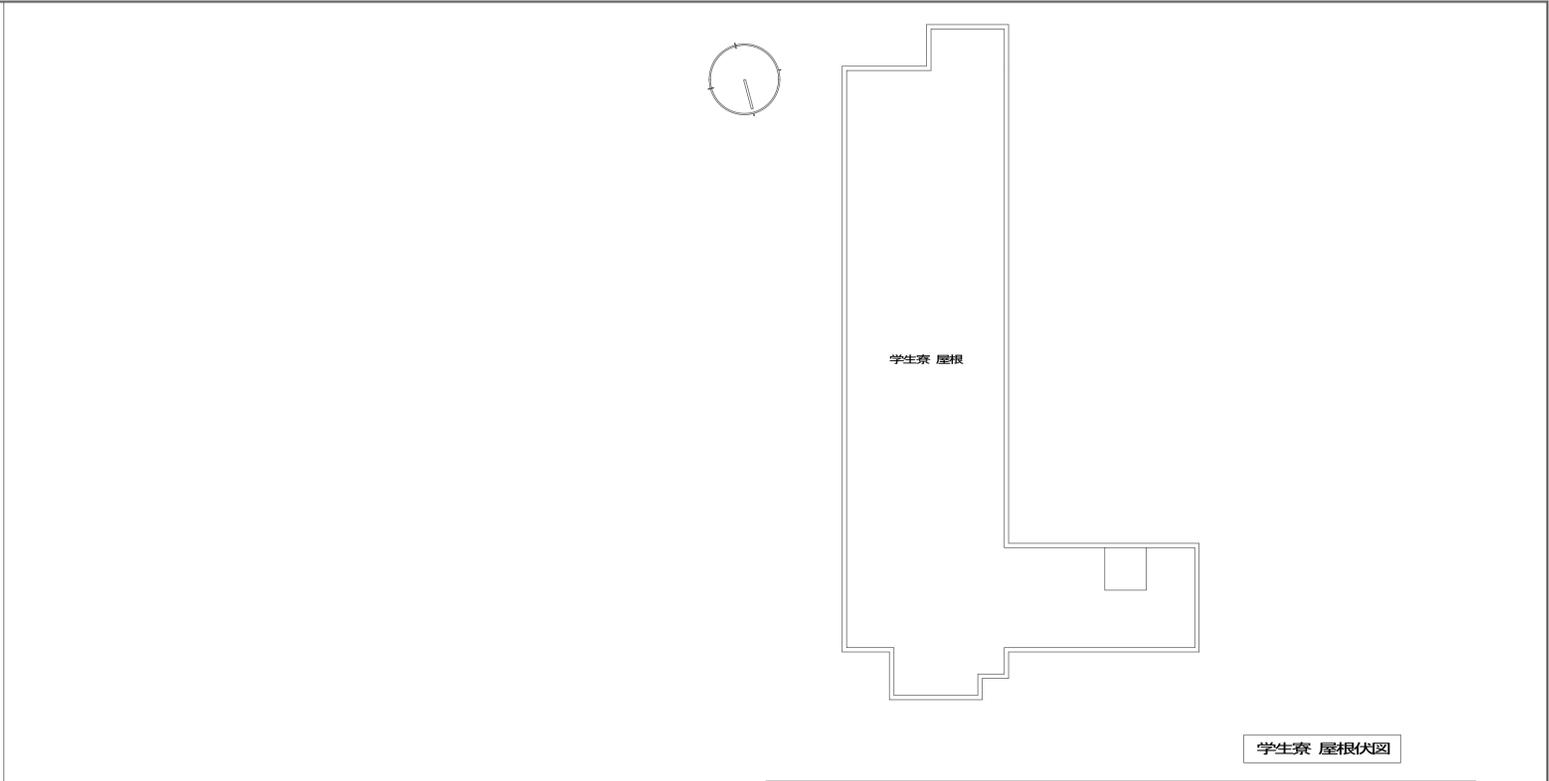


改修前

特記事項		確認日		<b>養社 双星 設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称	プロジェクトNo. 160613 )	図面名称	4階平面図兼屋根伏図 改修前				
					一級建築士 横道 隆一 (登録番号 209319号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423号) 酒井 泉	公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)	年月日	2018. 03 .	図面番号	A-22		
		確認者	設備設計一級建築士 塚原 亘 (登録番号 2462号)	代表	設計監理構成	核証番号	主担当	作成	縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400		



凡例	
	改修範囲

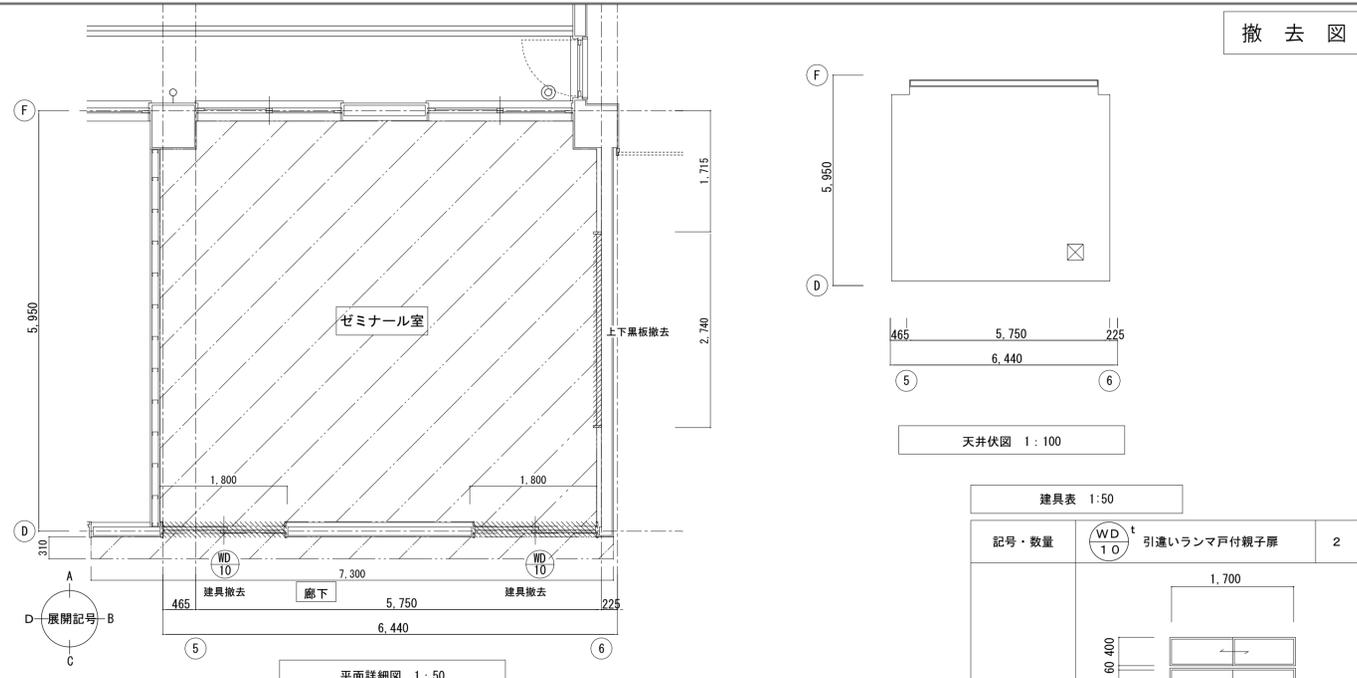


改修後

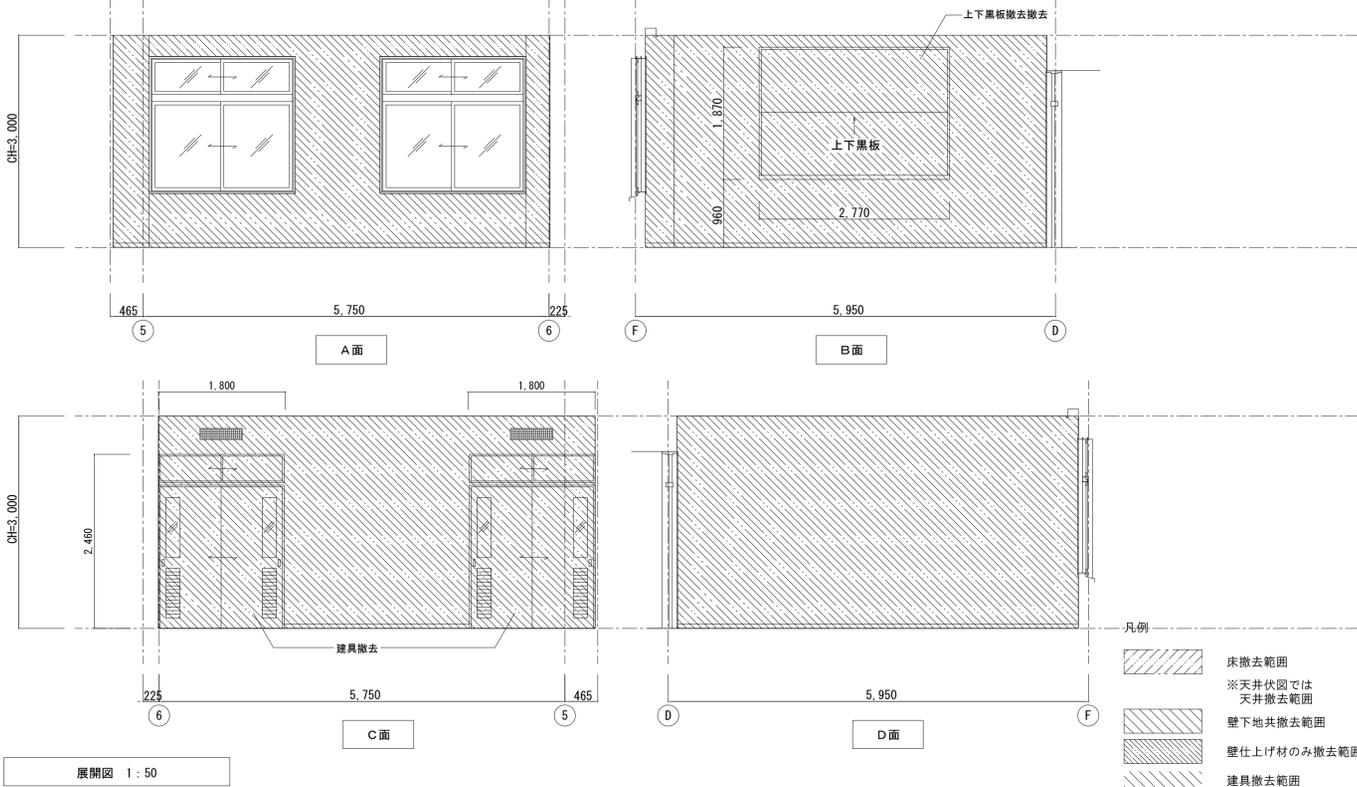
特記事項		確認日		<b>株式会社 双星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称	プロジェクトNo. 160613	図面名称	4階平面図兼屋根伏図 改修後
					一級建築士 構造設計一級建築士 (登録番号 20919号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423号) 酒井 晃	公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)		
		確認者	設備設計一級建築士 塚原 亘 (登録番号 2462号)	代表		年月日		図面番号
						縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	2018. 03 .	A-23



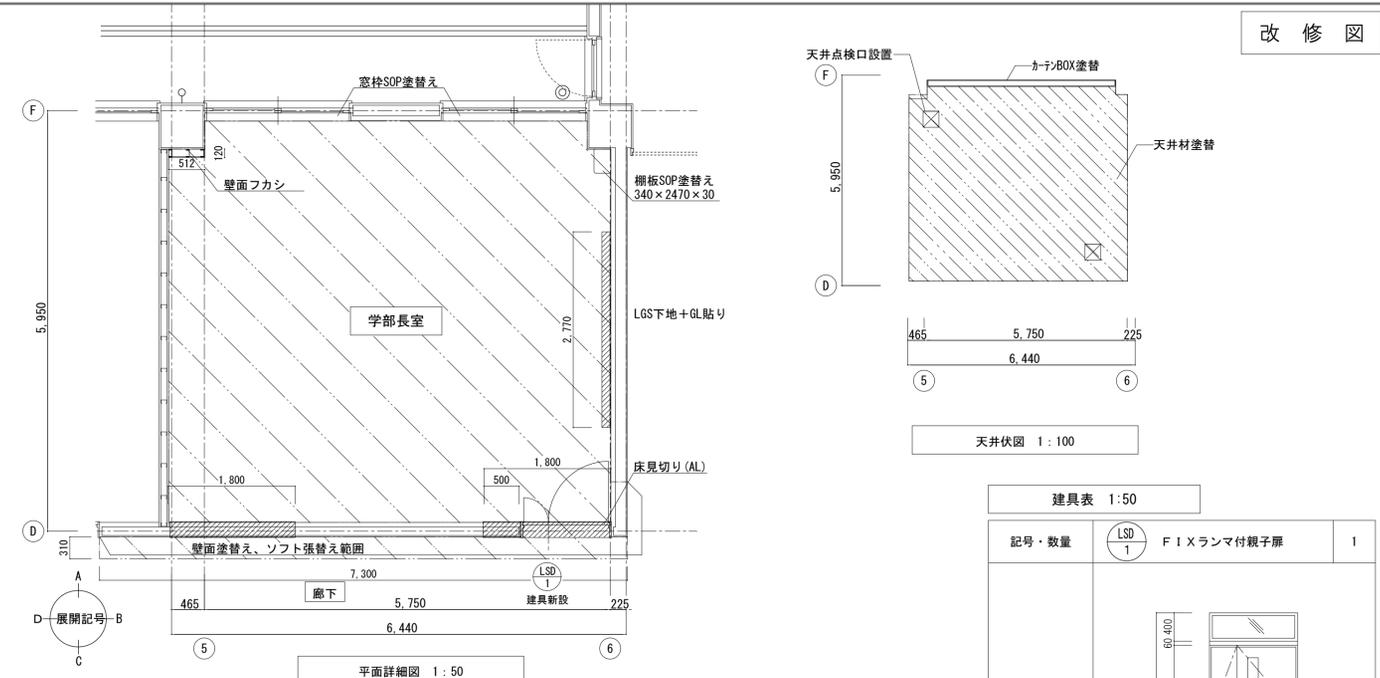
撤去図



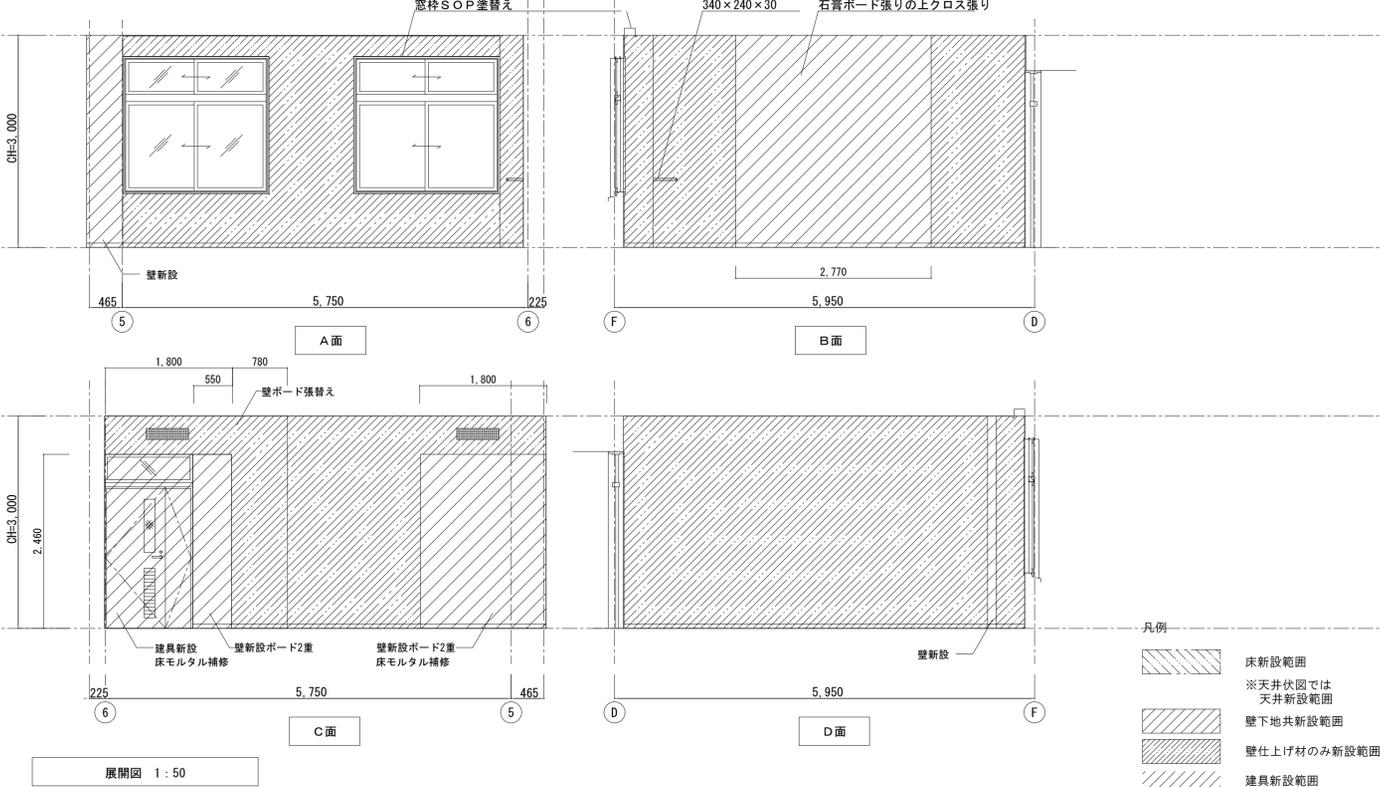
既存仕上表	ゼミナール室 (現状)	→	学部長室 (改修)	存置	撤去
床	下地: モルタル金ゴテ押え 仕上: ビニル床シート t2.5			○	●
巾木	ビニル巾木 H=60			○	●
壁	下地: GB-R t12 (間仕切壁部: GB-R t12二重張) 仕上: ビニルクロス			○	○
窓枠					
天井	下地: LGS, GB-R t9.5 仕上: DR t9			○	○
備考	上下黒板				●



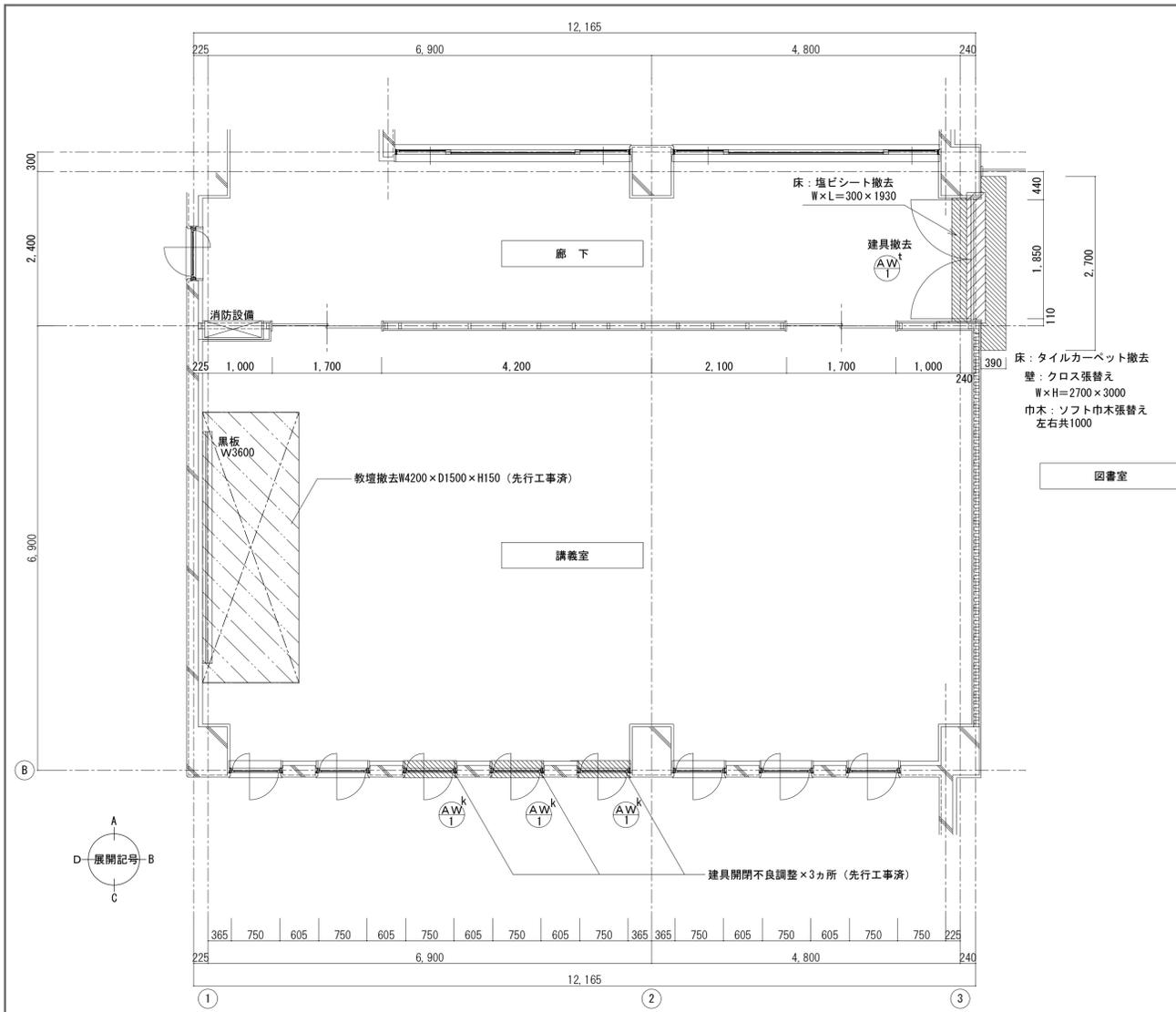
改修図



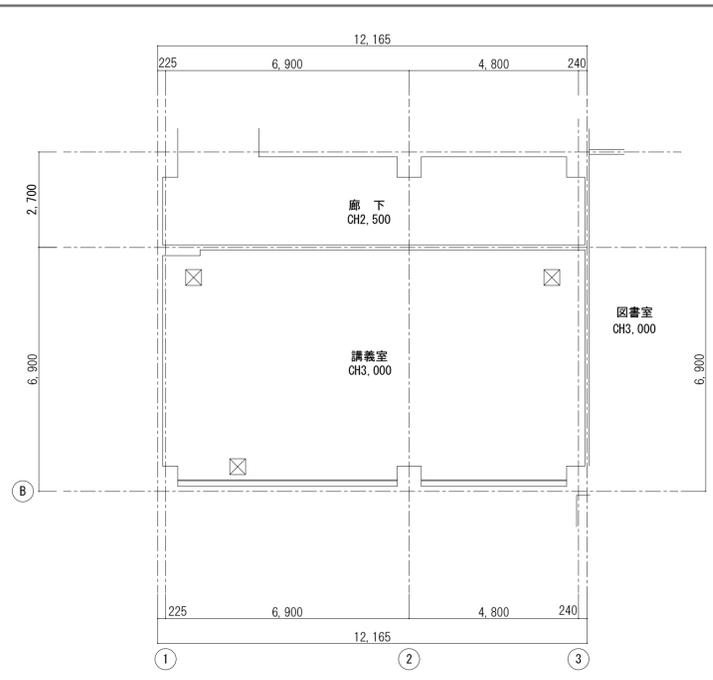
改修仕上表	ゼミナール室 (現状)	→	学部長室 (改修)	既設	新設
床	下地: モルタル金ゴテ押え 仕上: タイルカーペット t6.0・ビニル床シート t2.5			○	●
巾木	ビニル巾木 H=60			○	●
壁	下地: GB-R t12 (間仕切壁部: GB-R t12二重張) LGS下地+GB-F t12.5+t12.5			○	○
窓枠	仕上: ビニルクロス (学部長室) EP塗り (廊下)			○	●
天井	下地: LGS下地, GB-R t9.5, DR t9 仕上: EP塗り			○	○
備考	ドア下アルミ見切り, 天井点検口増設 黒板撤去後壁面下地新設+GB-Rt12.5				●



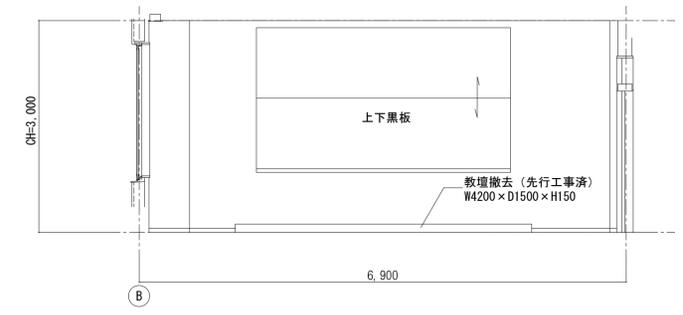
特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 一級建築士 (登録番号 209319号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423号) 酒井 勲	<b>雙星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	図面名称
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462号)		代表   設計監理部長   検証者   主担当   作成	公立小松大学 栗津キャンパス 校舎整備工事 (1期) (建築) 学部長室 (撤去・改修図)
	縮尺	A1 1/50 A3 1/100	年月日	2018. 03 .	図面番号
					A-25



平面詳細図 1:50



天井伏図 1:100



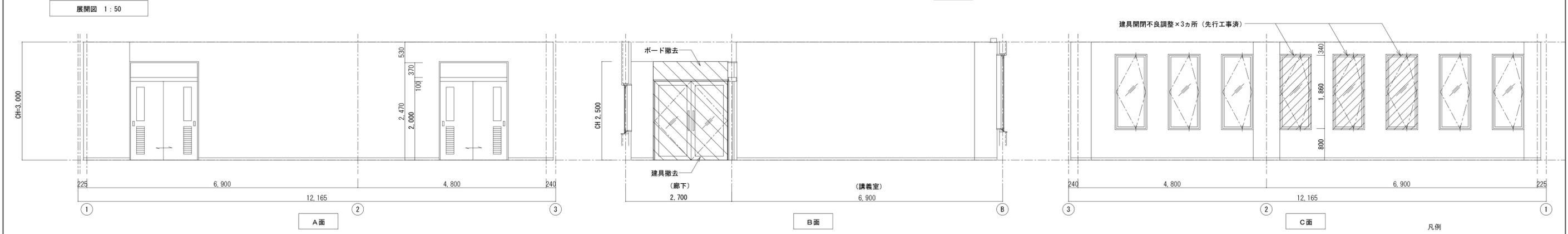
D面

既存仕上表	講義室 (現状)	図書室 (現状)	存置	撤去
床	下地: モルタル金ゴ押し 仕上: ビニル床シート t2.5	206製図書 (改修)	○	○
巾木	ソフト巾木 H=60		○	○
壁	下地: GB-R t12 2重張り 仕上: クロス張		○	○
廻縁				
天井	下地: LGS下地、GB-R t9 仕上: 岩綿吸音板 t9		○	○
備考	教壇 (先行工事で撤去済み)			●

既存仕上表	廊下 (現状)	図書室 (現状)	存置	撤去
床	下地: モルタル金ゴ押し 仕上: ビニル床シート t2.5	廊下 (改修)	○	○
巾木	ソフト巾木 H=60		○	●
壁	下地: LGS下地、FKt8.0 2重張り+GB-R t9.5 仕上: EP		○	●
廻縁				
天井	下地: LGS 仕上: GB-D t9.5		○	○
備考				

建具表 1:50		AD	両開き戸	1
記号・数量	AD 1	t		
姿図				
材料	アルミ			
特見込	建具見込			
仕上	シルバー			
ガラス	FL-5			
金物	本締円筒錠、フロッピング、押棒、ステンレス番指			
備考				

※記号の凡例及び仕様は「共通凡例・仕様」による



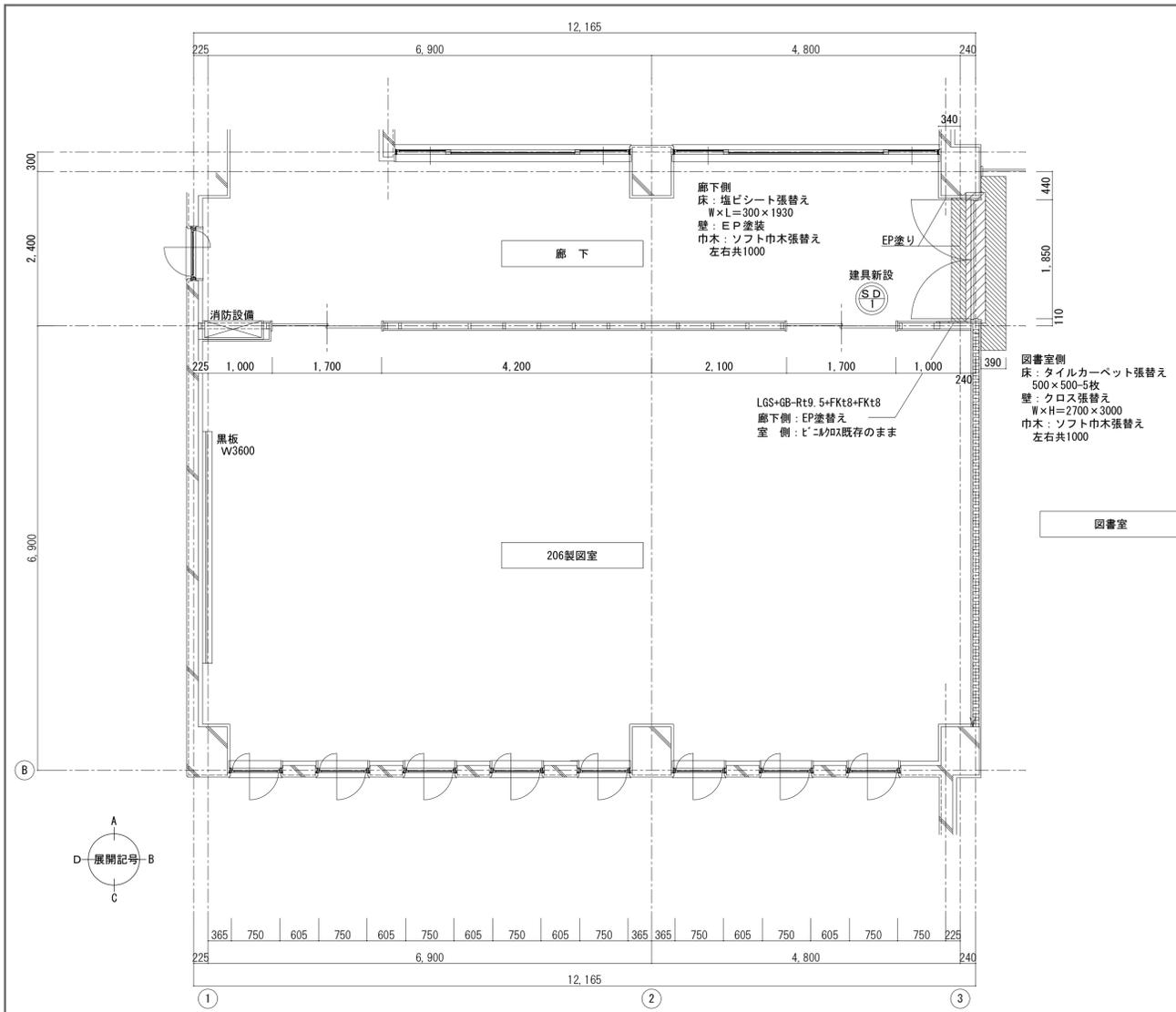
A面

B面

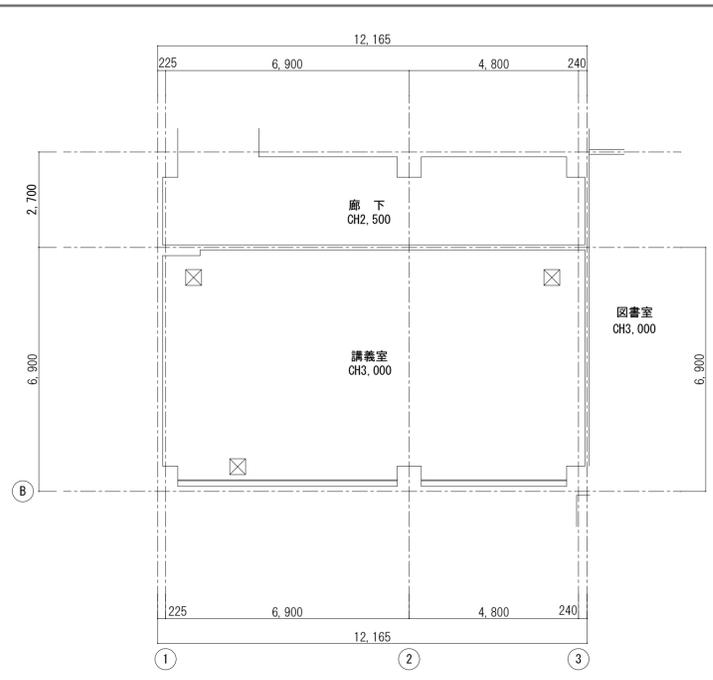
C面

凡例	
	床撤去範囲
	※天井伏図では天井撤去範囲
	壁下地共撤去範囲
	壁仕上げ材のみ撤去範囲
	建具撤去範囲

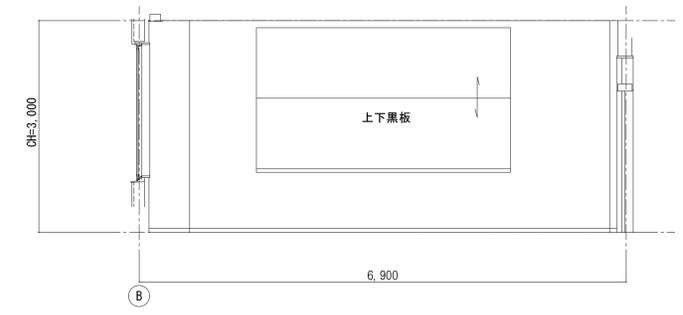
特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 (登録番号 209319 号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号) 酒井 勲	<b>雙星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)			工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	図面名称
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462 号)	代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成
	縮尺	A1 1/50 A3 1/100	年月日			2018. 03 .	図面番号 A-26



平面詳細図 1:50



天井伏図 1:100



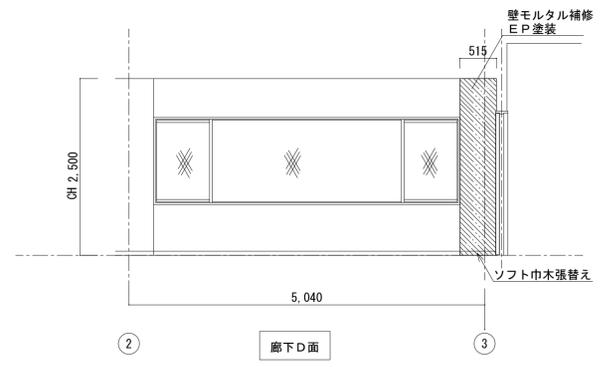
D面

改修仕上表	廊下・図書室 (現状)	廊下・図書室 (改修)	存置	新設
床	下地: モルタル金ゴ子押え	下地: モルタル金ゴ子押え	○	○
	仕上: ビニル床シート t2.5 (廊下側) タイルカーペット t6.0 (図書室側)	仕上: ビニル床シート t2.5 (廊下側) タイルカーペット t6.0 (図書室側)	○	●
巾木	ソフト巾木 H=60	ソフト巾木 H=60	○	●
壁	下地: FK t8+FK t8+GB-R t9.5 (両面)	下地: FK t8+FK t8+GB-R t9.5 (両面)	○	●
	仕上: EP (廊下側) ビニルクロス (図書室側)	仕上: EP (廊下側) ビニルクロス (図書室側)	○	●
廻縁				
天井	下地: LGS	下地: LGS	○	○
	仕上: GB-D t9.5	仕上: GB-D t9.5	○	○
備考				

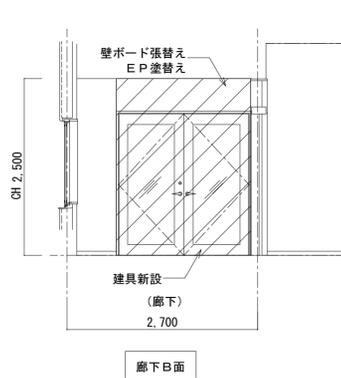
記号・数量		(SD 1) 両開き戸	1	(AW 1) 縦軸回転窓	3
姿	図				
材	料	スチール t1.6		アルミ	
特	見	込	建	具	見
			込		込
			170		50
仕	上	アクリル撥付塗装		シルバー	
ガ	ラ	ス耐熱強化ガラス t6.5		FL-5	
金	物	LH、S、DC、T、SK、TA、付属金物一式		縦軸回転窓用金物一式、水切 (B=90)	
備	考	特定防火設備 (遮煙)		閉閉不良調整有り	

※記号の凡例及び仕様は「共通凡例・仕様」による

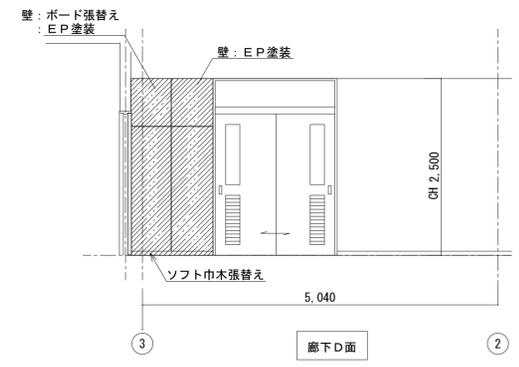
展開図 1:50



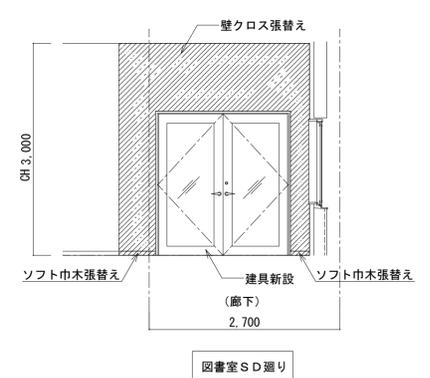
廊下 D面



廊下 B面



廊下 D面

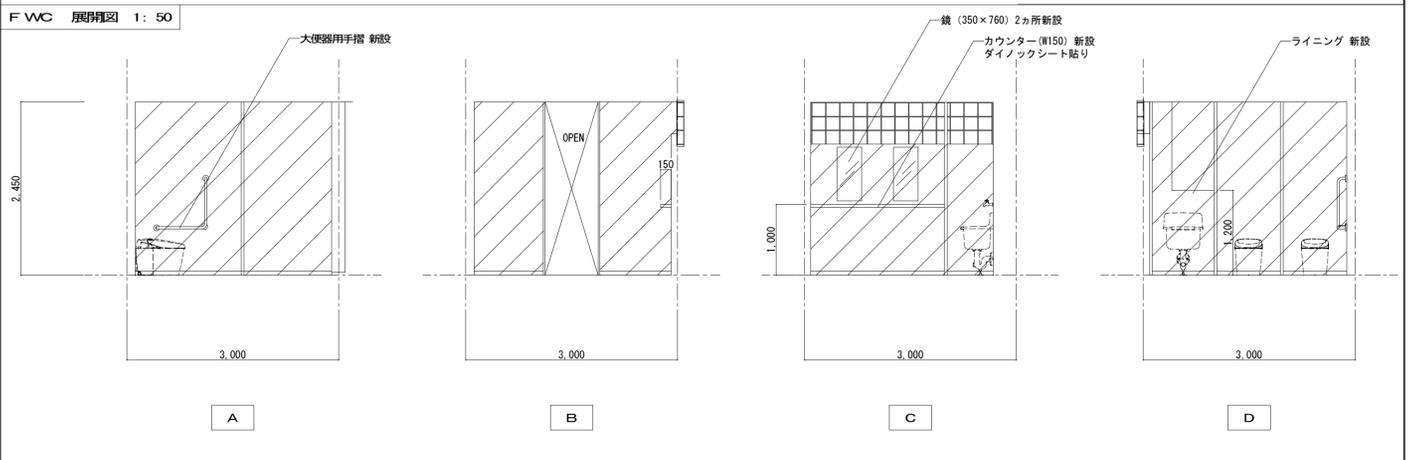
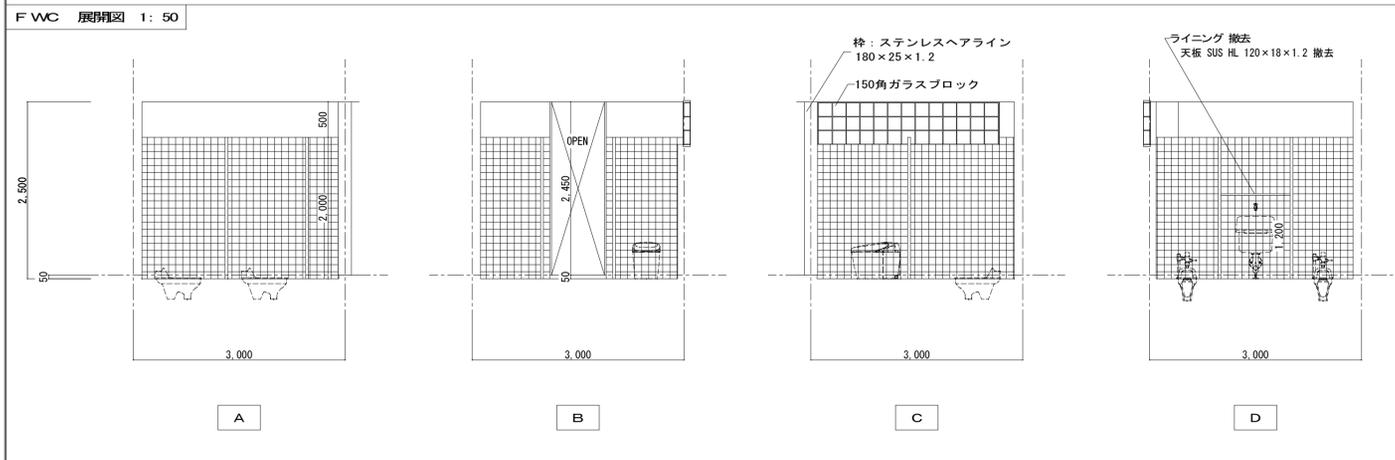
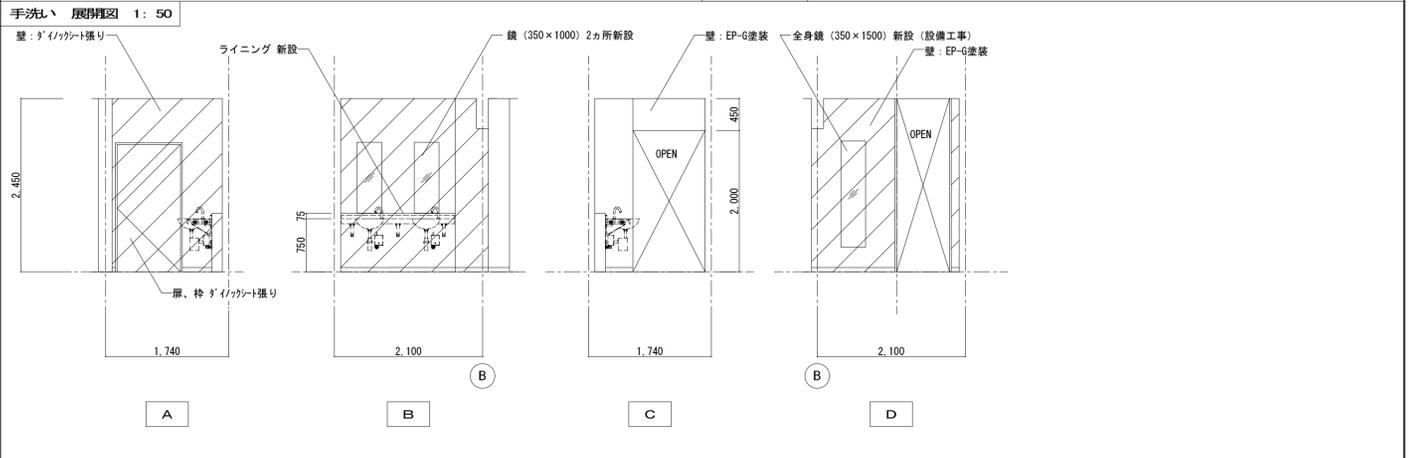
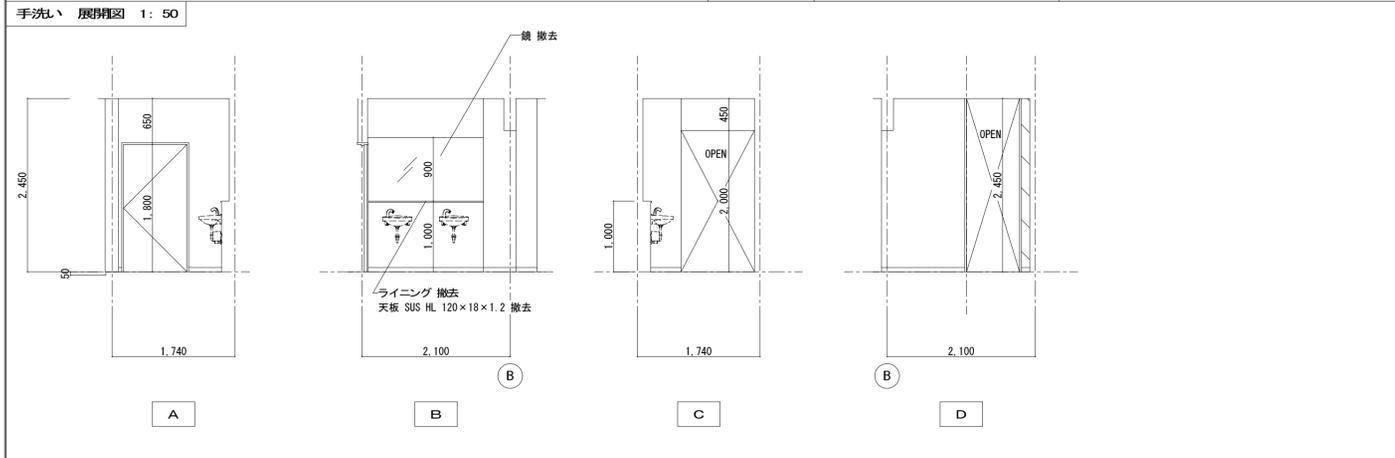
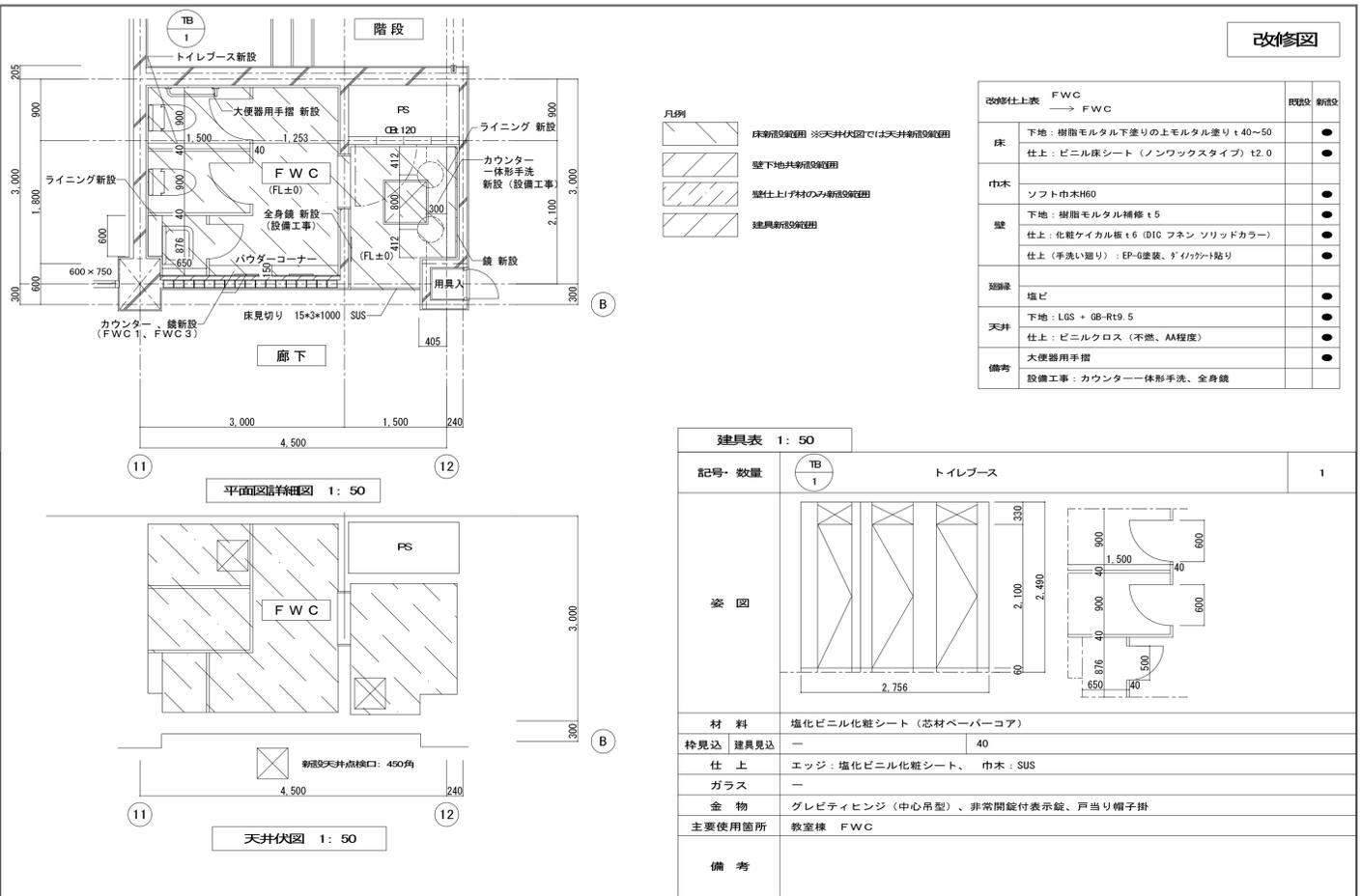
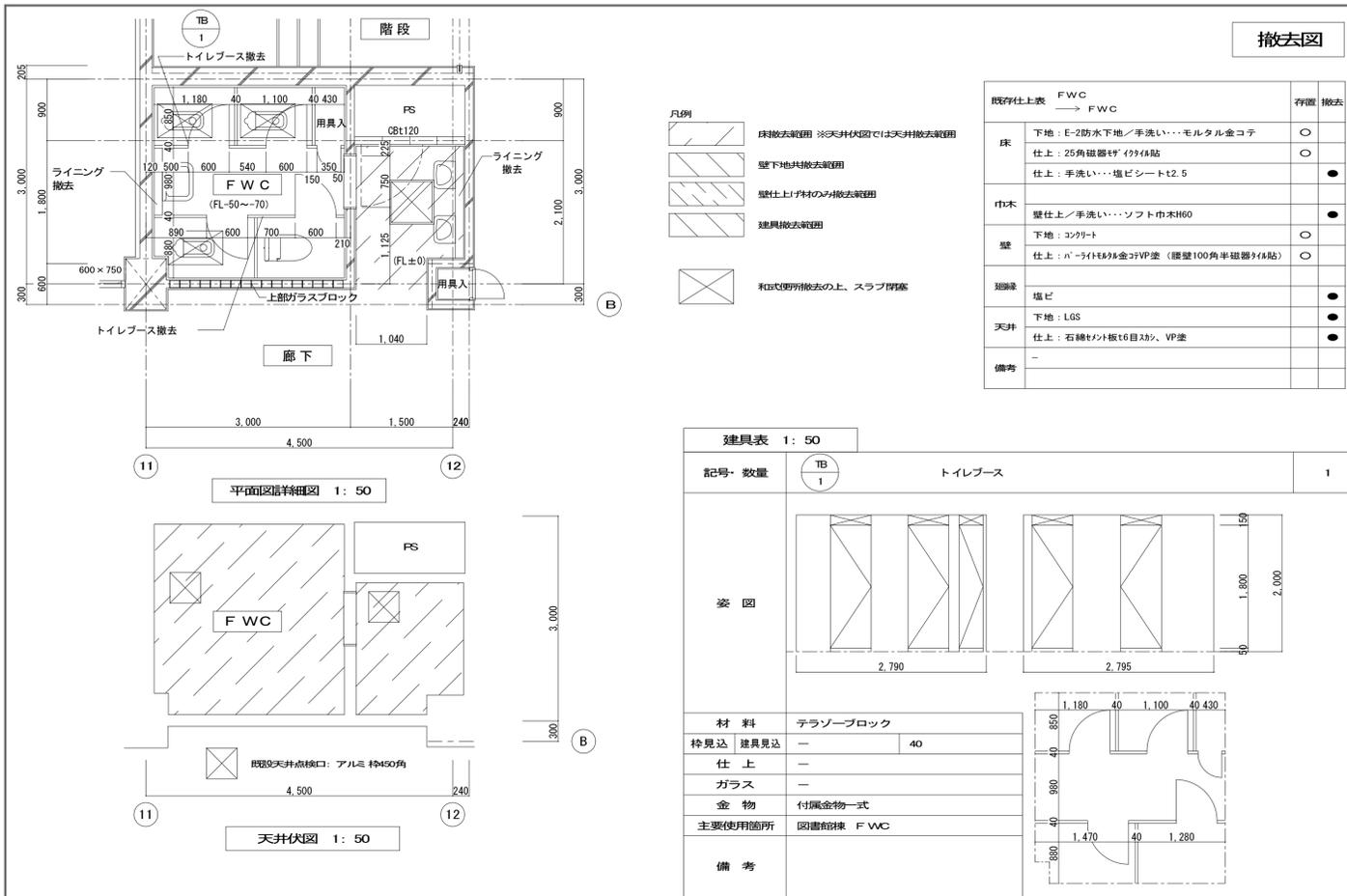


図書室 SD廻り

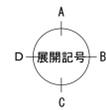
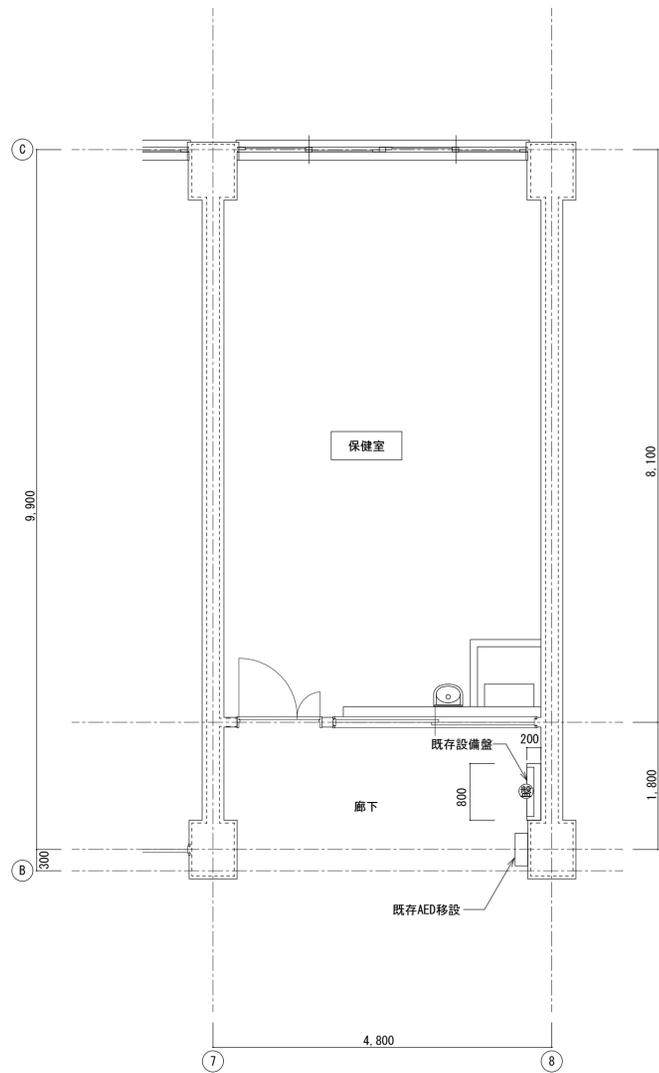
凡例	
	床新設範囲
	※天井伏図では天井新設範囲
	壁下地共新設範囲
	壁仕上げ材のみ新設範囲
	建具新設範囲

特記事項	確認日	一級建築士・構造設計一級建築士 (登録番号 209319 号) 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号) 酒井 勲	<b>雙星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)			工事名称 (プロジェクト No. 160613)	図面名称			
	確認者	設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号 2462 号)	代表	設計監理部長	検証者	主担当	作成	図面番号		
						縮尺	A1 1/50 A3 1/100	年月日	2018. 03 .	A-27

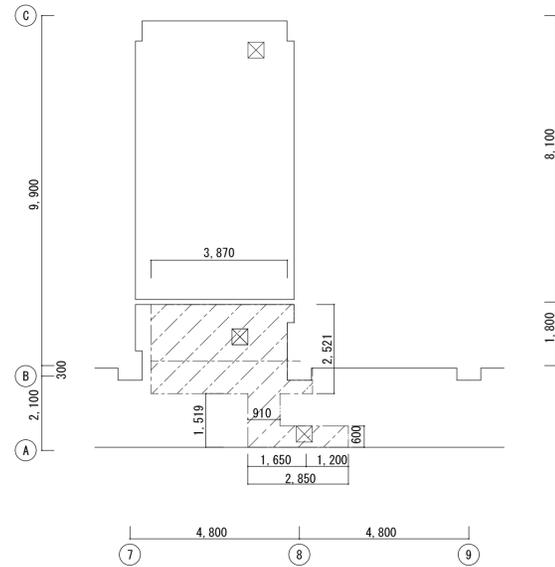




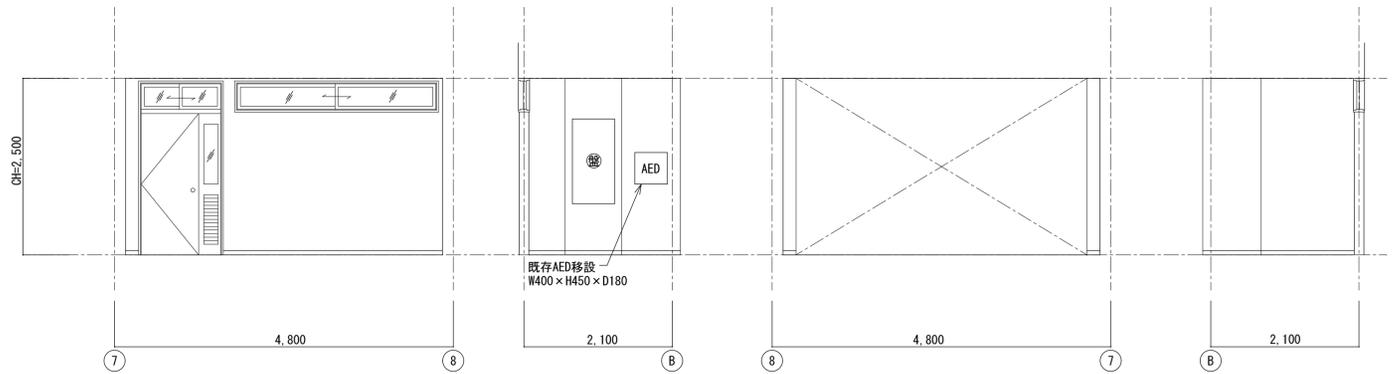
<b>特記事項</b> 		<b>雙星設計</b> <small>一級建築士 中村 武嗣 (登録番号 174376号)</small>	工事名称(プロジェクトNo. 160613) 公立小松大学 薬津キャンパス校舎整備工事(1期) (建築)	図面名称 教室棟 1~3階 FWC 撤去・改修図
		代表 設計監理部長 棟正 浩司 主任 中村 武嗣 作成	年月日 2018. 03 .	図面番号 A-29



平面詳細図 1:50



天井伏図 1:100



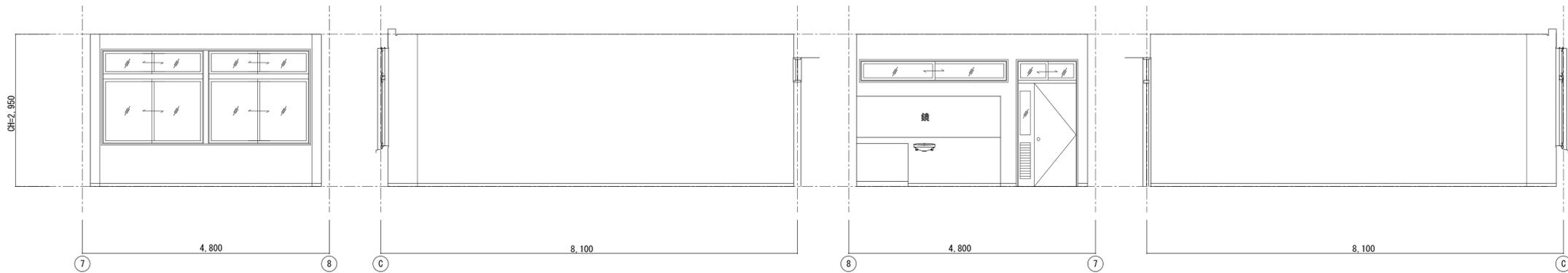
廊下展開図 1:50

A 面

B 面

C 面

D 面



保健室展開図 1:50

A 面

B 面

C 面

D 面

保健室 (現状)		存置	撤去
既存仕上表	→ 保健管理センター (改修)		
床	下地: モルタル金ゴテ押え	○	
	仕上: ビニル床シート t2.5	○	
中木	ソフト巾木 H=60	○	
壁	下地: GB-R t12.5	○	
	仕上: ビニルクロス	○	
遊縁			
天井	下地: LGS	○	
	仕上: GB-R t9.5+DR t9.0	○	
備考			

廊下 (現状)		存置	撤去
既存仕上表	→ 相談室 (改修)		
床	下地: モルタル金ゴテ押え	○	
	仕上: ビニル床シート t2.5	○	
中木	ソフト巾木 H=60	○	
壁	下地: パーライトモルタル金ゴテ押え t12	○	
	仕上: VP	○	
遊縁			
天井	下地: LGS	○	●
	仕上: 吸音あなきせつこうボード t9.5 EP塗り		●
備考			

凡例

- 床撤去範囲
- ※天井伏図では天井撤去範囲
- 壁下地共撤去範囲
- 壁仕上げ材のみ撤去範囲
- 建具撤去範囲

特記事項	

確認日	
確認者	

一級建築士・構造設計一級建築士 <small>(登録番号 209319 号)</small> 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号) 清井 聡		<b>藝登 双星 設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)	
代表	設計監理部長	検証者	主担当

工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	
公立小松大学 栗津キャンパス 校舎整備工事 (1期) (建築) 保健管理センター-相談室(撤去図)	
縮尺	A1 1/50 A3 1/100
年月日	2018. 03 .

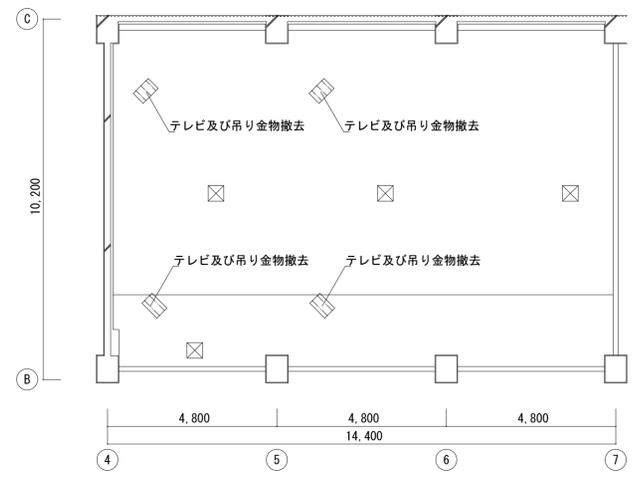
図面名称	教室棟 1階 保健管理センター-相談室(撤去図)
図面番号	A-30



撤去図

演習室1 (現状)		既存	撤去
改修仕上表 → 202CAD室 (改修)			
床	下地: フリーアクセスフロー	○	
	仕上: カーペットタイル敷	○	
巾木	木製巾木 SOP H=60	○	
	下地: GB-R t12.5	○	
壁	仕上: ビニールクロス貼	○	
	廻縁		
天井	下地: LGS	○	
	仕上: GB-D t9.5	○	
備考	テレビ吊り金物撤去 4カ所		●

- 凡例
- 床撤去範囲
  - ※天井伏図では天井撤去範囲
  - 壁下地共撤去範囲
  - 壁仕上げ材のみ撤去範囲
  - 建具撤去範囲

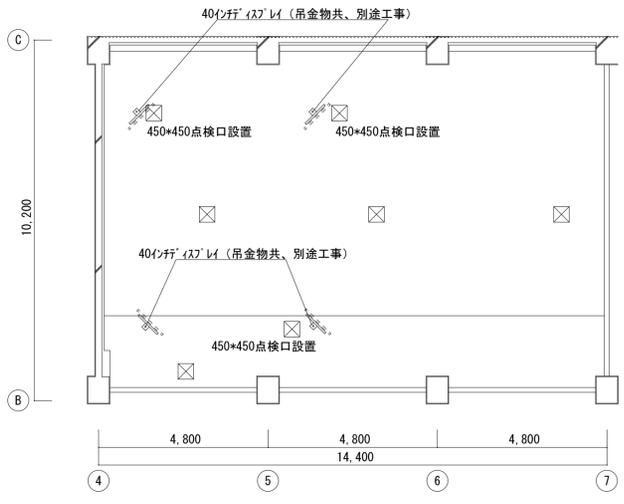


天井伏図 1:100

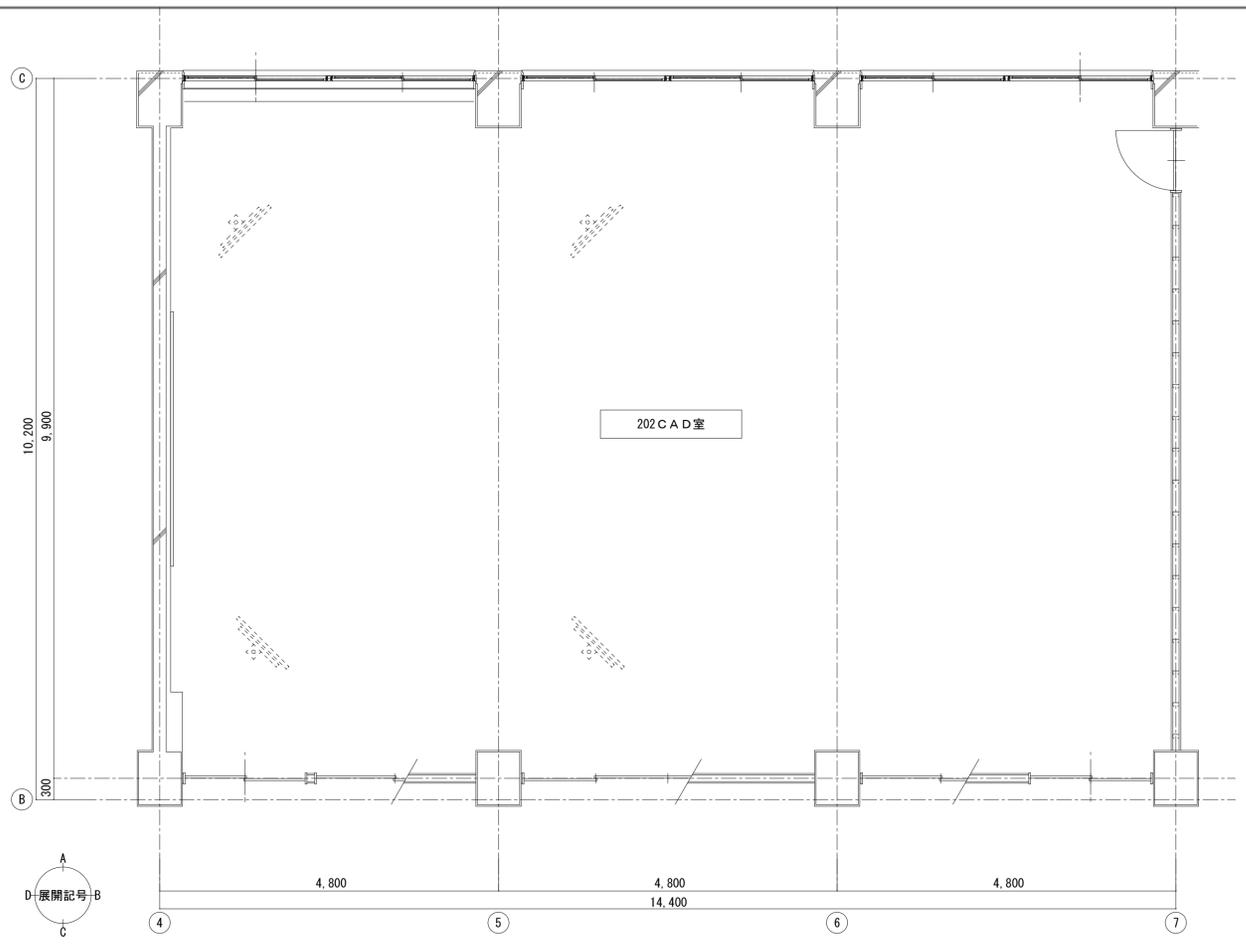
改修図

演習室1 (現状)		既存	新設
改修仕上表 → 202CAD室 (改修)			
床	下地: フリーアクセスフロー	○	
	仕上: カーペットタイル敷	○	
巾木	木製巾木 SOP H=60	○	
	下地: GB-R t12.5	○	
壁	仕上: ビニールクロス貼	○	
	廻縁		
天井	下地: LGS	○	
	仕上: GB-D t9.5	○	
備考	天井点検口設置-3カ所		●
	40インチディスプレイ (吊金物共、別途工事)		

- 凡例
- 床新設範囲
  - ※天井伏図では天井新設範囲
  - 壁下地共新設範囲
  - 壁仕上げ材のみ新設範囲
  - 建具新設範囲

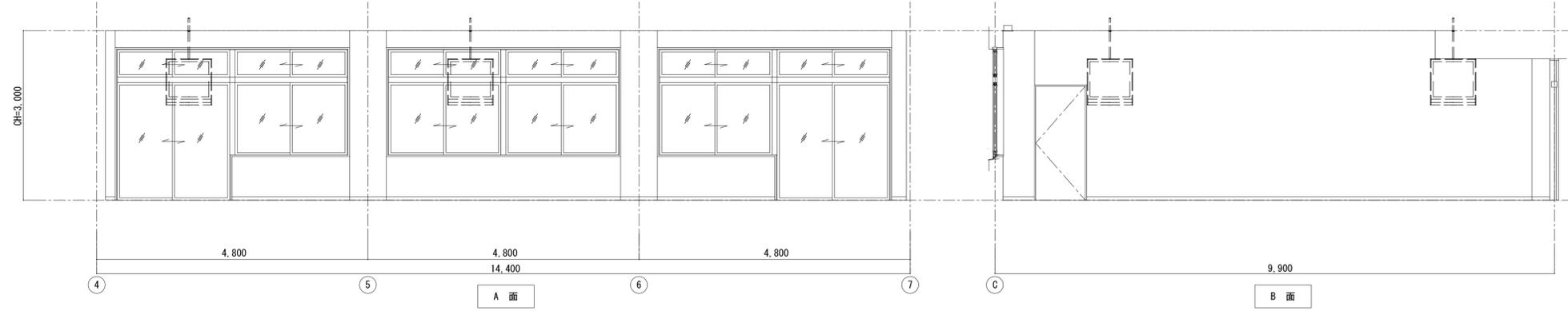


天井伏図 1:100

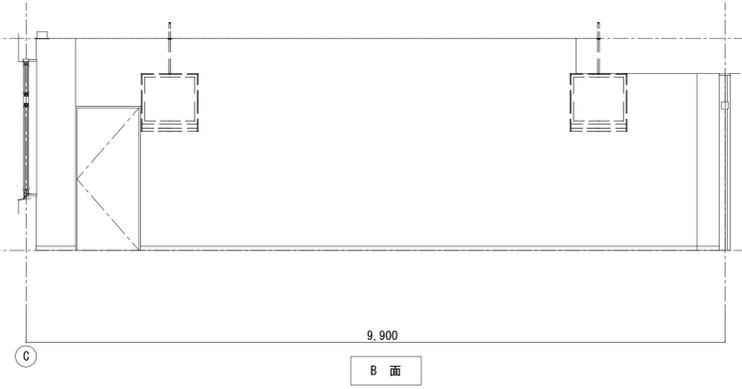


平面詳細図 1:50 ※新設モニター吊下げ位置は既存吊下げ位置と同じ位置とする。

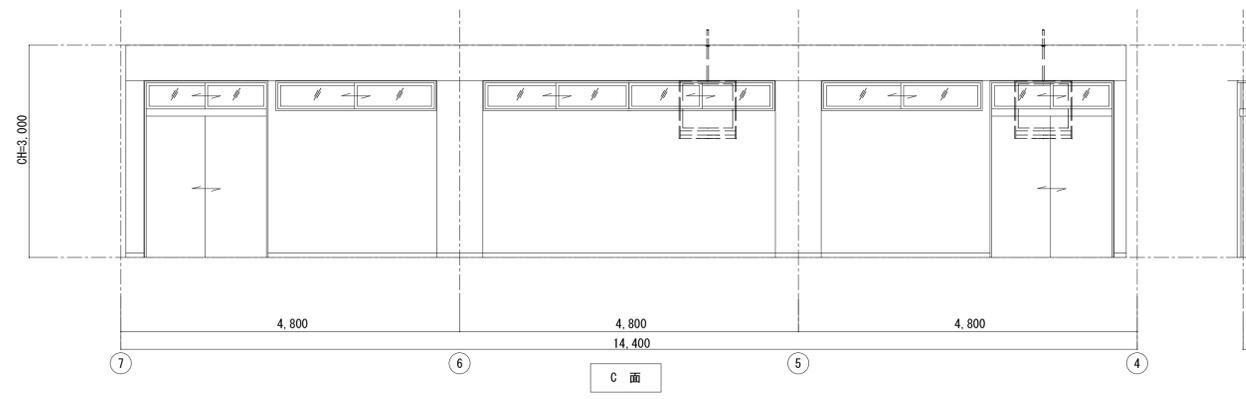
展開図 1:50



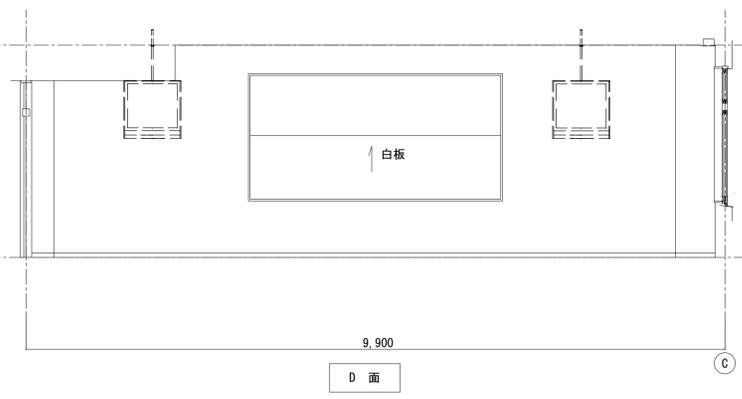
A面



B面



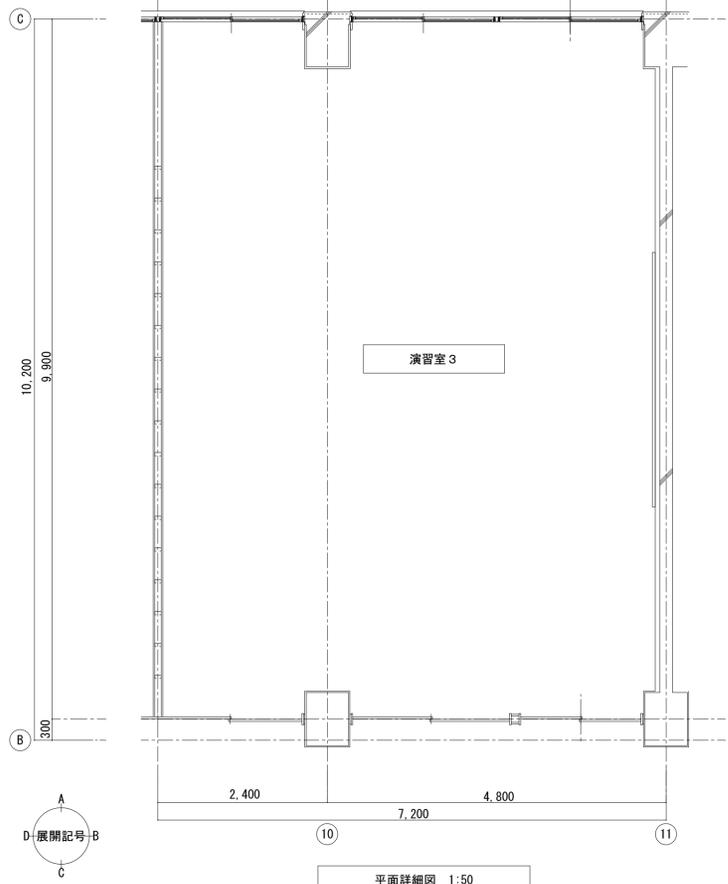
C面



D面

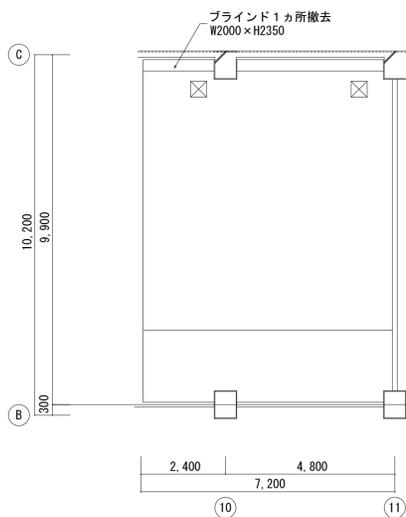
特記事項		確認日	<b>雙星設計</b> 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号) 一級建築士 酒井 勲 (登録番号2423号)				工事名称 (プロジェクトNo. 160613)	図面名称
		確認者	代表	設計監理部長	検証者	主担当	公立小松大学 栗津キャンパス 校舎整備工事 (1期) (建築) 202CAD室 (撤去・改修図)	教室棟 2階
		設備設計一級建築士 塚原 直 (登録番号2462号)	設備設計一級建築士			縮尺	年月日	図面番号
						A1 1/50 A3 1/100	2018. 03 .	A-32

撤去図

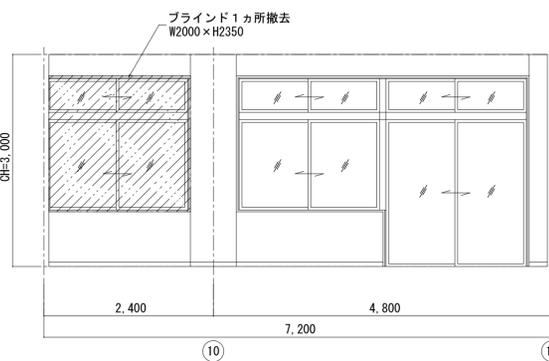


平面詳細図 1:50

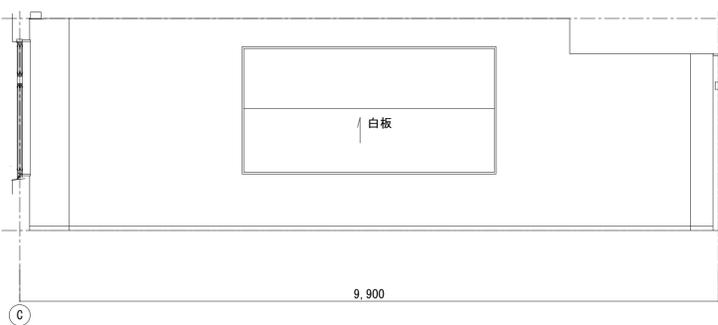
演習室3 (現状)		既存	撤去
既存仕上表 → 204講義室 (改修)			
床	下地: フリーアクセスフローア	○	
	仕上: カーペットタイル敷	○	
巾木	木製巾木 SOP H=60	○	
	間仕切り壁部分 ビニル巾木 H=60	○	
壁	下地: GB-R t12.5	○	
	仕上: ビニールクロス貼	○	
廻縁			
天井	下地: LGS	○	
	仕上: GB-D t9.5	○	
備考	ブラインド	○	●



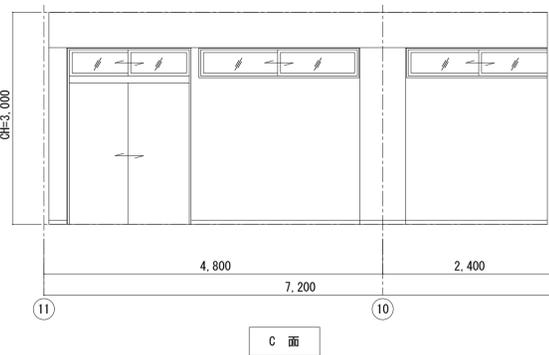
天井伏図 1:100



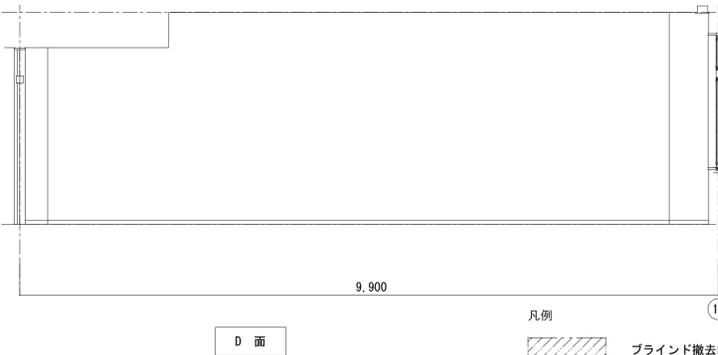
A 面



B 面



C 面

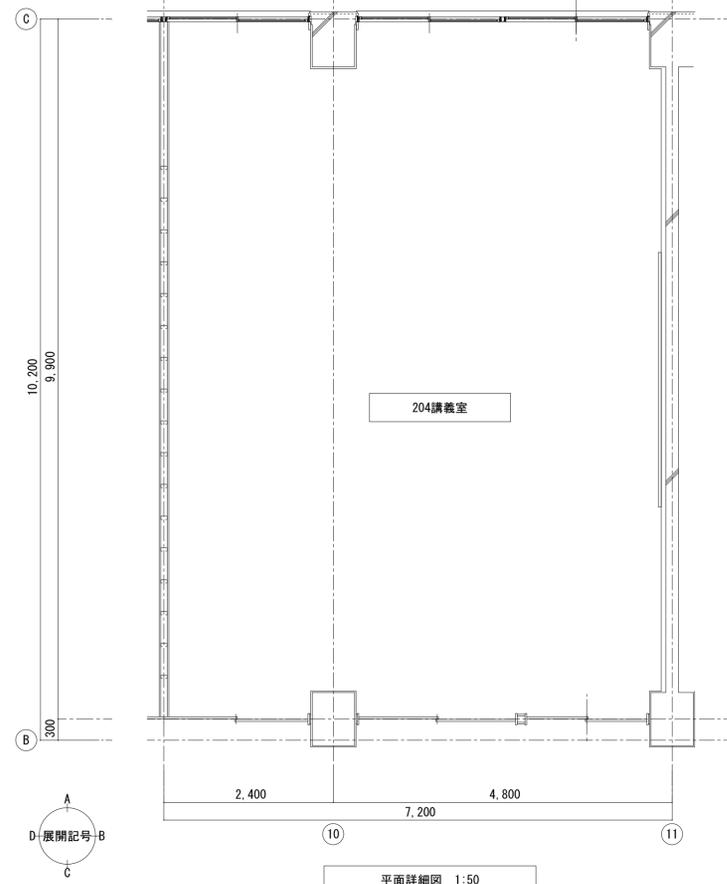


D 面

凡例  
 ブラインド撤去範囲

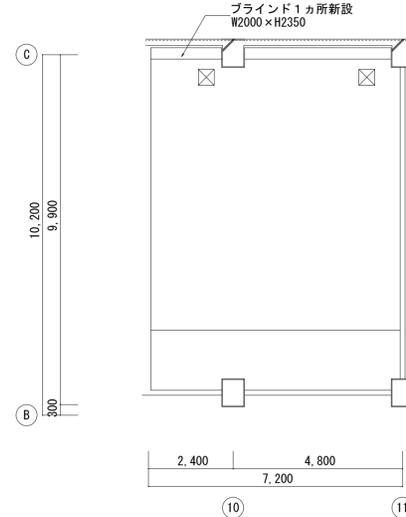
展開図 1:50

改修図

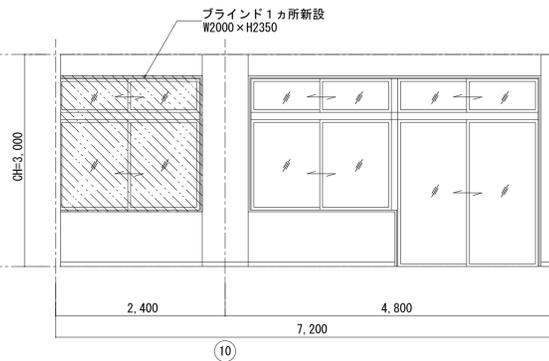


平面詳細図 1:50

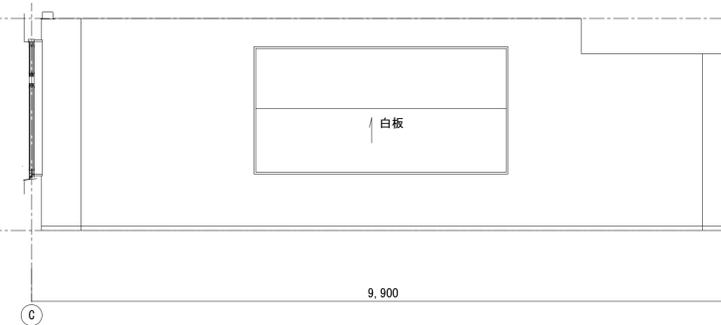
演習室3 (現状)		既設	新設
改修仕上表 → 204講義室 (改修)			
床	下地: フリーアクセスフローア	○	
	仕上: カーペットタイル敷	○	
巾木	木製巾木 SOP H=60	○	
	間仕切り壁部分 ビニル巾木 H=60	○	
壁	下地: GB-R t12.5	○	
	仕上: ビニールクロス貼	○	
廻縁			
天井	下地: LGS	○	
	仕上: GB-D t9.5	○	
備考	ブラインド	○	●



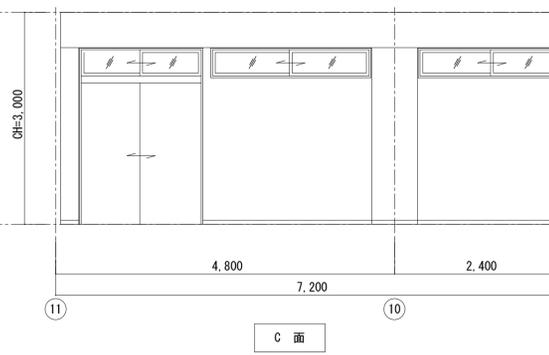
天井伏図 1:100



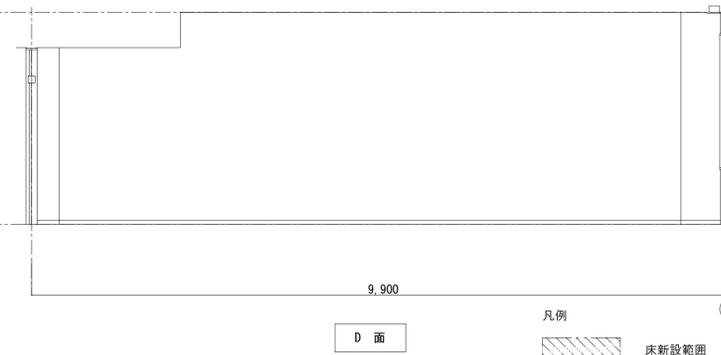
A 面



B 面



C 面



D 面

凡例  
 床新設範囲  
 ※天井伏図では天井新設範囲  
 壁下地共新設範囲  
 壁仕上げ材のみ新設範囲  
 建具新設範囲

展開図 1:50

特記事項

確認日

確認者

一級建築士・構造設計一級建築士  
 (登録番号 209319 号)  
 構造設計一級建築士 (登録番号 2423 号)  
 酒井 勲

設備設計一級建築士  
 塚原 亘 (登録番号 2462 号)

代表 設計室理部長 検証者 主担当 作成

雙星設計  
 一級建築士 中村 武嗣 (登録番号174376号)

工事名称 (プロジェクトNo. 160613)  
 公立小松大学 栗津キャンパス 校舎整備工事 (1期) (建築)

縮尺 A1 1/50  
 A3 1/100 年月日 2018. 03 .

図面名称  
 教室棟 2階  
 204講義室 (撤去・改修図)

図面番号  
 A-33